

發第六〇七號
昭和七年五月十日

南洋協會々頭

侯爵 蜂須賀 正韶〔印〕

外務省通商局長

武富 敏彦殿

拜啓愈々御清榮ノ段奉大賀候 陳者本會ハ多年南洋ニ於ケル我商權ノ擴張、企業及移植民ノ助成、彼我事情ノ紹介等ニ盡瘁シ來リ候モ資金ノ不足ニ依リ充分ノ活動ヲ爲シ得ズ遺憾ニ存居候處過般本會飯泉幹事ニ御内談有之候排日防遏方ノ件ハ大體左記要項ニ基キ本會商品陳列所、本會支部、本會通信員等本會ノ在南全機關ヲ督勵シ關係在外公館御諒解ノ下ニ最善ヲ盡スコトト致度尙右本會ノ活動及支出金等ニ就テハ隨時及御報告可申候就テハ此ノ際至急本件實行取運相叶フ様特別ノ御配慮相煩度此段得貴意候

記

一、華僑排日ノ余地ヲ減殺スル爲メ我小賣商網ノ組織的擴大ガ圓滑ニ推移スル様一層ノ配慮及施設ヲ爲スコト
二、排日ノ原因ヲ醸ス處レアル困窮移民ノ救濟策ヲ講ズルコト

本支給金中ノ壹千円ヲ右ニ補充ス、命令第二条後段ハ此ノ趣旨ニ出ツ

(三) 困窮移民ニシテ排日ノ種子ヲ蒔クモノアルニ鑑ミ南洋協會ヲシテ之ヲ救濟セシムル爲メ金壹千円ヲ豫定セリ、右ヲ以テ不足ノ場合ハ一般事情宣傳費ノ分ヨリ補充シ又右ヲ以テ餘剩アル場合ハ同費ノ分ニ残額ヲ繰リ入ル、筈ナリ、本件ニ関シテハ目下在「スラバヤ」領事ニ於テ研究中

(四) 一般事情宣傳費ハ其ノ支出宜敷シキヲ得サル時ハ效果ナキニ鑑ミ充分監督ノ要アルヲ以テ命令書第五条ニ於テ特ニ之ニ言及セリ

(五) 命令書ハ極メテ嚴格ナルモ本支給金ノ性質ニ鑑ミ機宜ノ措置ヲ執ルヘキ余裕ヲ存ス

(欄外記入)

五月二日飯泉南協幹事ニ示シ坂本課長婦京後篤ト具体案ヲ協議スヘキ旨話シ置タリ(武富通商局長サイン)

(付記一)

ト

三、排日防遏ノ一般的手段トシテ電報其他ノ方法ニ依リ有効適切ナル宣傳ヲ行フコト、特ニ滿州事件ニ關シテハ正確ナル報道ヲ速ニ本會各機關ヲ通シ南洋各地内外人ニ供給シ之ガ啓發ニ努ムルコト

以上

(付記二)

昭和七年八月拾七日

外務省通商局長 武富 敏彦

南洋協會々頭

侯爵 蜂須賀 正韶殿

南洋方面ニ於ケル排日防遏宣傳其ノ他実行方南洋協會ニ囑託ノ件

拜啓陳者本年五月十日附發第六〇七号貴翰ヲ以テ御申越ノ趣了承致候、就テハ右御來示ノ要項ニ依リ南洋地方ニ於ケル排日防止策実行方ヲ貴會ニ囑託シ之カ手当トシテ金參千円也ヲ支給スルコトニ決定相成候ニ付該要項ニ從ヒ御実行相成様致度右依命得貴意候 敬具

727 昭和7年3月29日

在芝罘内田領事より
芳沢外務大臣宛

威海衛において日貨排斥に關連し学生の反日

運動暴動化について

普通第七四號

(接受日不明)

昭和七年三月二十九日

在芝罘領事 内田 五郎

外務大臣 芳澤 謙吉殿

威海衛ニ於ケル排日貨狀況報告ノ件

當館管内威海衛ニ於ケル排日狀況ニ付テハ客年八月維持國貨會ノ組織ヲ見日貨新規輸入禁止及手持日貨ノ登記等數項ノ決議ヲ爲シ日貨排斥ニ着手シタルカ十月當館ノ威海衛管理公署ニ對スル抗議ニ依リ國貨維持會ハ一時閉鎖セラレタルモ昨年末更ニ國貨陳列所籌備委員會ナルモノ顯レ日貨ノ新規輸入ヲ禁シ既輸入品ニ對シテハ從價百分ノ十ヲ徵收シ販賣ヲ許シ時々検査員ヲ派シテ日貨新規輸入ヲ監視スル等ノ舉ニ出テタルカ右ハ素ヨリ商民ノ眞意ニ非スシテ黨部又ハ學生等ニ強要セラレ表面之ニ反抗セサルノミニシテ各商

店ハ密ニ大連又ハ青島ヨリ日貨ヲ仕入レ販賣シ居タル處最近同地一支那商カ青島ヨリ帆船ニテ仕入レ來リタル日貨發見セラレタル事件アリ三月十六日ノ國貨陳列所籌備委員會ニ於ケル右日貨處分討議ノ席上學生代表ハ強硬ニ該品ノ燒却ヲ主張シ商界側委員ト激論ノ末學生ハ商會常務委員戚某ニ毆打セラレ負傷シタル爲メ學生團ハ激昂シ大舉加害者戚某ヲ福山地方法院威海衛分院ニ送致シ其處罰ヲ求メ越ヘテ十八日多數學生ハ法院ニ殺到加害者ハ學生側ニ於テ處分スヘシトテ其引渡ヲ要求シタルモ法院ハ法ニ依リ處分スヘキモノナリトテ其要求ヲ拒絕シ學生團ハ法院ノ窓硝子什器ヲ破壞亂暴ノ限リヲ盡シ歸途日貨販賣業者ト目サル、裕昌仁、福順隆、雙順公ノ三商店ヲ襲ヒ同店ノ日貨ヲ運動場ニ持出シ燒却スル等ノ暴舉ニ出テ商會側對學生團ノ反目愈々擴大シ全市各商店ハ三月十八日ヨリ一切ニ營業ヲ停止シ罷市スルニ至リタルカ同月二十日威海衛管理公署及東北艦隊司令沈鴻烈ハ學生等ノ軌外行動ハ嚴重取締ルヘキニ付即日開市スヘキ旨通達スル處アリ各商店ハ同日ヨリ開業シ法院側ハ在當地福山地方法院ニ速報檢察官ノ派遣ヲ求メ審理ニ取掛リタル趣ナリ

外務大臣 芳澤 謙吉殿
 濟南總商會ノ對日經濟絕交計畫並ニ省黨部等ノ惡況ニ關スル件
 上海事件ノ發生ニ伴ヒ同地商會並ニ上海市民維持會等ハ對日經濟絕交ヲ計劃シ之カ實行方山東並ニ各省主要都市商會ニ懇懇セシ次第並ニ韓主席ニ右取締方要求シ同主席ニ於テ取締方實行シ居レル次第ハ屢次既電ノ通りナル處右ニ關シ當館牒報者カ總商會關係者ヨリ得タル情報ニ依レハ一、當地總商會ハ三月一日上海市民維持會ヨリ對日經濟絕交即時斷行方勸告アリシヲ以テ同會ハ之ヲ山東省黨務整理委員會ニ措置方ヲ呈請セシカ委員會ヨリハ何等ノ指示ナキ爲商會ニ於テ辦法ヲ協議決定出來難キニ付本件ハ各商賈ノ自由意思ニ任セ不干涉主義ヲ執リ居レリ
 尤モ當地商會ハ過般來城內總商會ト商埠商會トノ合流計劃運動惹起シ屢次協議ノ結果合併シテ一總商會ヲ組織スルニ決シ目下會長及常務執行委員等ノ選舉中ニシテ商會ノ事務ハ措置スル者ナク停頓ノ状態ナリ
 尙ホ目下本邦品ノ賣行キ状態ハ砂糖、綿糸、燐寸、昆布、鐵及鐵器ヲ初メトシ日用品並ニ雜貨類殊ニ「ゴム」靴等

威海衛在留邦人ハ夏期艦船賣込ノ爲メ特ニ入込ムモノヲ除キ各期間ハ支那人護謨工場従業員及發動漁船乘組員等七戸(朝鮮人ヲ含ム)ニ過キス普通商業ニ從事スルモノ全クナク日貨ノ排斥ハ直接在留邦人ニ影響スルコトナキモ日貨排斥風潮ノ存在ハ甚夕面白カラサルノミナラス大局ニ於テ本邦商權ヲ阻止スル不都合事件ナルヲ以テ早速本件反日機關(解カ)ノ開散及反日運動取締方公文ヲ以テ威海衛管理專員ニ對シ嚴重抗議要求シ置キタリ
 右不取敢報告ス
 本信寫送付先
 公使 青島 濟南

728 昭和7年3月30日 在濟南西田總領事より
 芳沢外務大臣宛

濟南總商會は不干涉主義をとり日貨排斥の氣配なき現状について

機密第一三七號 (接受日不明)

昭和七年三月三十日 在濟南總領事 西田 畊一

ハ相當市場ニ活躍シ日貨抵制ノ如キ氣配ナシ
 三、現在省黨部ハ何等積極的行動ヲ執ラス單ニ各縣黨務整理委員ノ任命更迭ヲ取計フ外定例開會日ニハ大禮堂ニ於テ重要黨員ノ演說アルノミニシテ有名無實ノ觀アリ又歷城縣黨部ハ客年九月以來內部ニ南北兩派ノ軋轢發生シ事務溢滞シ居ル爲省黨部ハ客年十二月二十日縣黨部ノ重要人員更迭ヲ行ヒ陣容ヲ整ヘタリト雖モ是亦單ニ存在シ居ルニ過キス時時會ヲ開キ演說ヲ爲シ之ヲ新聞ニ掲載シ居レル位ニテ何等實行力ナキ状態ナル趣ナリ
 右御參考迄報告ス

本信寫送付先 公使、北平、青島、天津、上海、南京
 張店、博山、坊子

729 昭和7年3月30日 在シンガポール伊藤(憲)三總領事代
 理より
 芳沢外務大臣宛

シンガポール華僑の排日状況について

機密第四六號 (4月28日接受)

昭和七年三月三十日 在新加坡

外務大臣 芳澤 謙吉殿

排日狀況報告ノ件

當方面ニ於ケル排日狀況ニ関シテハ隨時電報ノ通り二月中ニ於テ上海戦況ノ進展ニ連レ支那人ヨリ二三邦人ノ毆打セラレタルモノアリタルカ官憲ノ取締嚴重トナリ且在留邦人ノ自重トニ依リ幸ヒ其後新嘉坡ニ於テハ事ナキヲ得タルモ三月四日夜白川大將戦死、支那軍大勝ノ虚電ノ入ルニ及ヒテ華僑ハ舉ケテ興奮シ法規ヲ無視シ終夜爆竹ヲ揚ケテ祝勝騒キヲ演シタリ、警察署ニ於テハ四日夜半ヨリ五日ニ懸ケ徹宵警戒ニ當リ爆竹ヲ弄スル華僑ヲ片端ヨリ之ヲ拘束スルノ峻嚴ナル取締ヲナセル爲メ五日夕刻ニ至リ右情報ノ虚電ナル事判明スルト共ニ次第二鎮靜ニ向ヒ拉致セラレタルモノモ戒告ノ上釋放セラレ幸ヒ邦人ニ對シテノ暴行沙汰モナク経過スルヲ得タリ、半島方面ニ於テモ同様右情報ニ依リ彼南、太平一保、「クアラランプール」、「スレンバン」等半島一圓ニ亘リ華僑ノ爆竹騒キアリ北「ボルネオ」「サラワク」ニ於テモ同様ナリシカ各地何レモ官憲ノ取締宜敷ヲ得タル爲メ彼南ヲ除ヒテハ邦人ニ對スル危害事故ナク虚電ナル事

不祥事ノ發生ヲ見ルヲ保シ難キ狀況ナルヤニ感知サレタル由ナルモ前日ノ出来事モアリ官憲ノ取締リ嚴重ヲ極メタル爲メ幸ヒ其ノ事モナク旁々前記情報ノ虚電ナル事判明セル爲メ群集モ漸次蔭ヲ潛メ十時頃ニハ全ク離散シ平靜ニ歸シタリ

先之同市「キヤンベル」街魚住理髮店雇人某ハ六日夕刻右群集ヲ見物セントテ家人ノ引止ムルヲモ聴カス外出シ前記群集トハ全然別箇ノ場所ニテ華僑ノ爲メ毆打セラレ輕傷ヲ受ケタリ、

要之今回ノ騒キハ一ニ漢字紙カ上海方面ヨリノ誇大無責任極マル入電ヲ發表セルニ原因スルモノナルヲ以テ五日及七日事件發生當初小官ヨリ口頭ヲ以テ當局ニ可然取締ノ方途ヲ考慮セラレ度キ旨申入レ置キタルカ三月十五日附ヲ以テ當地民政長官ヨリ各漢字紙各個ノ入電ハ英人當局トシテハ豫メ眞偽ノ判定ニ困シムモノナルヲ以テ今之ヲ檢閲スルカ如キコトハ考ヘ難キモ上海問題ニ関スル記事ニ對シテハ成ルヘク注意ヲ拂ヒ煽動ノ二亘ラサル様各漢字紙主筆ヲ招致シ警告ヲ發シ置キタル旨通報越セリ、

勿論當方面華僑ノ反日感情ハ急ニ如何トモナシ難ク現在排

ノ判明スルト共ニ漸次鎮靜ニ歸シタリ、彼南ニ於テハ五日午后右虚報ヲ各漢字紙カ赤紙刷リ號外發行等ニ依リ大々的ニ傳ヘタル爲メ華僑ハ爆竹ヲ揚ケテ祝シタルカ偶々警察本部ニ近接シ居ル市場附近ニ於テ馬來人巡查カ華僑ノ爆竹ヲ揚クルヲ制止セル事ヨリ端ヲ發シ華僑次第ニ群集シ「中國ノ戦勝ヲ祝セントスル爆竹ヲ制止スルハ压迫モ甚シ」ト爲シ慷慨セル群集ハ遂ニ警察本部ヲ襲フニ至レリ、警察側ニ於テハ直ニ武装警官隊及消防隊ヲ出動セシメ同日午后十時漸ク群集ヲ離散セシムルヲ得タルカ其ノ際華僑十一人負傷入院セル由ニテ警察側ニ於テモ歐人及馬來人巡查二、三名毆打セラレ負傷セリ、翌六日ハ早朝ヨリ華僑ハ全市ヲ舉ケテ各自門戸ヲ閉シ一般交通機關モ電車ヲ除キ停止シ日頃街頭ニ蟻集シ居ル人力車モ其影ヲ絶チ他國人ニシテ其業ニ就カントスルモノハ之ヲ压迫スル等ノ舉ニ出テ全ク罷市状態ニ陥入りタルカ折良ク當日ハ日曜ノ事トテ一般人ニハ些シテ影響ヲ感セサリシ由ナリ、サレド華僑ハ前日同様警察附近ニ群集シ居リ一方前日馬來人巡查華僑ニ毆打セラレ負傷セリトノ報同人種間ニ傳ハリタル爲メ馬來人モ相當ニ群集シ居リ何等カノ切懸ケアラハ兩人種間ニ意外ノ

日貨モ行ハレ居リ上海救民基金モ募集サレ居ルモ在貨不足等ニヨリ邦品ヲ欲スル者アル模様ニテ或ハ排貨モ多少緩和スルニ至ルナキヤト見ルモアリ兎モ角當面ノ狀況ハ上海方面其ノ他ニ於テ新ナル事態ノ發生セサル限り有効ナル當地官憲ノ取締警戒ト相俟テ漸次平靜ニ向フモノト觀測セラ

- 右報告ス、
- 在英大使
- 本信寫送付先
- 在中華民國公使
- 在暹公使
- 在バタバピヤ総領事
- 在スラバヤ領事
- 在メダン領事
- 在蘭貢領事

730

昭和7年4月7日

在中國矢野大使館參事官より
芳沢外務大臣宛

排日運動取締りに関する周北平市長との交渉
経過について

機密第一七九號

(4月15日接受)

昭和七年四月七日

在中華民國日本公使館

大使館參事官 矢野 眞(印)

外務大臣 芳澤 謙吉殿

排日運動取締方ニ關スル件

本件ニ關シテハ客月二十二日附機密第一四二號往信ヲ以テ報告ノ次第アリタル處其ノ後三月二十八日ニ至リ北平市長周大文本官ヲ來訪シ先般貴官ニ對シ日本人ニ限ラス一般商人ノ取扱貨物ニ對シ検査及妨礙ヲ爲ササル様省市黨部ニ申入レ且新聞ニ發表スルコトヲ約束セシモ此ノ種余リ過激ノ措置ニ出ツルコトハ却テ事ヲ荒立テ結果ハ豫期ニ反スルニ至ルヘキニ付商人ノ一般貨物取扱自由タルヘキ旨總商會ニ傳達シ商會ヨリ一般商人ニ周知セシメ且其ノ寫ヲ貴館ニ送付スヘク又各種抗日團體ノ活動ニ就テハ夫々自發的ニ工作停止方申入レ濟ニテ效果ナキ場合ハ更ニ有效ナル方法ヲ講スヘキニ付右様承知アリ度旨申出タリ

右ニ對シ本官ハ方法如何ハ兎ニ角要スルニ各種排日運動禁遏セラレ日本貨物ノ取引圓滑ニ行ハルコトトナレハ可ナ

(譯文)

北平市政府ノ總商會宛訓令

査スルニ本國商人カ外國貨物ヲ輸送販賣シ通商貿易以テ有無相通スルハ中外古今ノ通例ニシテ苟クモ常軌ヲ踰越セサル限り自由ナルヘシ就テハ商會ニ於テ即時各商店ニ對シ安心シテ平常通營業スル様一律轉達スヘシ若シ妄ニ干涉ヲ爲スモノアルニ於テハ直ニ本市政府ニ報告スヘク本市政府ハ切實保護シ以テ商難ヲ救恤ス此ニ令ス

(別紙)

拜啓陳者當地排日運動取締ニ付テハ從來當館ヨリ屢次貴方ノ注意ヲ喚起シタルニ拘ハラズ該運動ハ未タ完全ニ終熄ヲ見ルニ至ラス本官ノ頗ル遺憾トスル次第ナル處客月二十八日日本官貴市長ト面會ノ節本官ヨリ一、各種反日會ノ活動禁止二、一般商人ノ輸送買賣貨物ニ對スル検査及妨害禁止方新聞ニ發表スルコトヲ要求シタルニ對シ貴市長ハ第一項ニ付テハ既ニ各界抗日救國會ニ對シ自發的ニ工作停止方申入レ濟ニテ右效果ナキニ於テハ更ニ有效ナル方法ヲ講スヘキ旨又第二項ニ付テハ市政府ヨリ總商會ニ右ノ趣旨ヲ傳達シ

ル次第ニテ右ハ天津ニテハ既ニ殆ト完全ニ勵行セラレ居ル模様ナレハ當地ニ於テモ是非同様措置セラレ度旨嚴重要求シ置ケルカ四月四日ニ至リ周市長ヨリ別添原文(譯文添附)ノ如キ三月卅一日附總商會宛訓令寫ヲ送付シ來レリ

然ルニ他方天津日本商業會議所松尾會頭ヨリ三月二十九日附文書ヲ以テ北平方面反日團體ノ活動引續キ行ハレ居リ華商ニ依ル日本品取引ハ依然斷絶ノ狀態ニ付右取締方支那側當局ニ交渉アリ度旨申出アリタルヲ以テ本月五日周市長宛別紙寫ノ通申入レ置キタリ

本信寫送付先 公使

天津

(別添)

訓令北平市商會

査本國商人販運各國貨物通商貿易懋遷有無原屬中外古今之通例苟不踰越常軌皆當予以自由爲此令仰該商會即便轉知各商號一體知照安心照常營業如果敢有妄加干涉應即呈報本府自應切實保護以恤商難此令

一般商人ニ周知セシメ且其ノ寫ヲ當館ニ送付スヘキ旨申出ノ次第有之候

然ルニ今般天津日本商業會議所ヨリ「最近同地青果同業組合、金物取扱商、工業藥品取扱商、「ゴム」靴製造業者、燐寸製造業者等ノ報告ニ依レハ其ノ取扱又ハ製造ニ係ル貨物ノ北平移入ハ北平反日團體ノ妨害脅迫ニ依リ引續キ全然不可能ノ狀態ニ在ル由ニ付北平反日團體ノ工作停止方中國當局ニ對シ嚴重交渉セラレ度」趣申請ノ次第有之候就テハ右御承知ノ上最短期間内ニ反日諸團體ノ各種活動完全停止方嚴重御措置相成度此段照會得貴意候 敬 具

昭和七年四月五日

大使館參事官 矢野 眞

北平市長 周大文殿

731

昭和7年4月15日

在南京上村總領事代理より
芳沢外務大臣宛(電報)

南京市總商會の抗日會參加撤回について

南京 4月15日後發
本省 4月15日後着

上海事件發生以來活動ヲ停止シ居タル首都各界抗日救國會ハ最近上海及漢口方面ニ多量ノ日貨輸入セラレ當地ニモ弗々輸入セラレツツアリトノ新聞報道ニ刺戟セラレタルモノノ如ク從來各商人カ自宅ニ封存セル日貨ヲ此際特定ノ部署ニ取纏メ封存シ奸商ノ密賣ヲ防遏スヘシト決議セル趣ニテ成行注視中ノ處十五日ノ民聲報ニ依レハ南京市總商會ハ市政府、市黨部及社會局ニ對シ抗日會ノ日貨再検査ニ反對シ從來抗日會ニ參加セシメ居タル總商會代表ヲ撤回スル旨申出テタル趣ナリ

732 昭和7年4月16日

在上海村井総領事より
芳沢外務大臣宛(電報)

租界における中国人による邦人への暴行事件
続出につき工部局参事會議長宛取締り方要請
について

對シ十五日各受持警備區域内ノ邦人保護方ニ關シ夫々申入ヲ爲シタル趣ナリ
公使ニ轉報シ、北平、奉天、天津、青島、濟南、南京、漢口、廣東ニ轉電セリ

733 昭和7年4月18日

在青島川越総領事より
芳沢外務大臣宛(電報)

青島における対日貿易の好況持続について

青島 4月18日後発
本省 4月18日後着

第七四號
横竹ヨリ

一、金融並ニ爲替ハ茲數箇月間綿絲布砂糖其他諸雜貨ノ輸入旺盛ナリシニ反シ土產品ノ輸出振ハス爲ニ在銀高増加シ十二日現在弗銀千四百萬弗ト平時ノ四五十「パーセント」増金融頗ル緩慢ニシテ支那側金利一割内外ニ低落爲替亦折柄ノ銀安モ入レ氣配軟調ニシテ對日爲替金六十六圓五十錢ニ下押

二、紡績生産状態至極順調一箇月生産高約一萬八千俵現在ノ

第六〇〇號
往電第五八九號ニ關シ

一、十四日午後九時半頃共同租界浙江路人力車ニテ通行中ノ内外綿第六工場従事員山口倉松(二十七才)ハ支那群衆ノ袋叩キニ遭ヒ輕傷ヲ負ヒタルヲ巡邏中ノ工部局外支人警察官ニ依リ保護セラレタル事件アリ加害者中一名ハ其場ニテ逮捕セラレタルモ山口カ本件内濟方ヲ懇請セル爲不起訴トナレリ

二、舊英租界及佛租界方面ニ於ケル支那人ノ對邦人暴行事件猶ホ跡ヲ斷タス在留民ノ間ニ租界警察當局ニ對スル不滿ノ聲アル際ナルニモ顧ミ重ネテ租界當局ノ注意ヲ喚起スル爲共同租界工部局参事會議長「ベル」宛十五日附書面ヲ以テ是迄發生セル被害事件ヲ例示シ工部局當局ノ取締勵行方ヲ要求シ又十六日日本官「ベル」ヲ往訪シ右書面ノ趣旨ヲ述ヘ其深甚ナル考慮ヲ求メタル處事件發生ヲ遺憾トシ今後一層嚴重取締ヲ勵行セシムヘキ旨答ヘタリ

三、陸戰隊植松指揮官ヨリモ英、米、佛、伊各國軍指揮官ニ

市價ヨリ採算スレハ平均約三十弗ノ「マーヂン」アリ賣行良好ニシテ殊ニ上海事件以來荷動活潑ニシテ供給不足ノ活況ヲ呈シタカ最近上海邦人紡績開工氣構並ニ奧地織布業者ノ採算不引合ニ高値ハ見送ラレ商内閑散相場十六番手限月當地渡稅込銀二百四十弗二十番手二百四十二弗三十二番手二百九十四弗ニ先行猶ホ多少ノ下押ヲ想像セラルルモ何分ニモ春季大需要季ヲ目睫ニ控エ旁々在荷薄テモアリ深押無カル可ク生地綿布ハ舊臘以來相當ノ賣行ヲ見セ相場細布八弗五七十仙見當ト延ヒサルモ天津其他ヘノ賣行旺盛ニシテ八九月頃迄ノ先物取引出來茲ニ特筆スヘキハ加工綿布輸入ノ「レコード」的數字ヲ示シタルコトニシテ本品ハ從來大阪川口支商ニ依リ輸入セラレタル處該支商等ノ引揚以來邦商獨占ノ姿トナリ去一月以來一萬四五千箱約六百萬弗ノ商内出來尙冬夏物共ニ買氣アリ

三、砂糖ハ昨年下半年以來排日貨ヲ懸念シ買控ヘタル奧地筋カ歲始メ以來荷掠レ旁々買氣指シ搗テテ加ヘテ關稅見越シ輸入モアリ三月末現在迄ニ冲着キ五圓五十錢乃至六圓見當ニテ精糖約二十萬擔赤糖約四、五萬擔ト例年ノ倍以

上ノ輸入アリ商内一服ノ貌ニテ相場日本糖標準物十七元
 香港糖十八弗五十仙赤糖十一弗四、五十仙ト仲ヒ惱ミ居
 ルモ今輸入スルトセハ日本糖標準物二十弗以上トナリ需
 要喚起ト共ニ昂騰ヲ豫想サレ其他諸雜貨ノ輸入亦増大
 四、只本邦向ケ輸出落花生ハ大連物ノ安値本邦引合並ニ綿實
 油ノ格安ニ押サレテ茲許商内出來惱ミ不振相場五月渡シ
 穀無シ擔當リ十弗五十仙、油同二十弗五十仙見當、在荷
 穀無シ二十萬袋穀付七、八萬袋油三千餘噸、石炭亦上海
 事件以來輸出振ハス生牛其ノ他土產物ノ輸出閑散
 五、⁽³⁾之ヲ要スルニ當港ニ於テモ滿洲事件後各地ノ排日貨運動
 ノ猛烈トナリタルト同様一時懸念セラレタルカ蔣主席、
 韓復榘氏並ニ當市々長沈鴻烈氏ノ排日及共產運動取締ハ
 嚴重ニテ一般支商ハ邦商トノ取引ヲ平常通行行ヒ特ニ天
 津、上海、漢口等ノ諸港全ク邦品ノ輸入封鎖サレタル爲
 奧地客筋ハ當地經由何レモ買付ヲ見ルニ至レリ即チ從來
 天津、上海、漢口諸港ノ勢力範圍タル河南、山西、江蘇
 ノ北部、河北及甘肅地方ノ客筋迄當地ニテ買付ケタル爲
 臨時船ヲ配船スル等非常ノ好況ヲ呈シ邦商何レモ相當ノ
 成績ヲ收メ居レリ

734 昭和7年4月19日 在福州田村總領事より
 芳沢外務大臣宛(電報)

日貨取扱いの中国商人射殺事件発生について

福州 4月19日後発
 本省 4月19日後着

第一〇二號
 十七日午後十一時頃救國會一味ト覺シキ洋服着用ノ支那青
 年四名ハ當地日貨「ブローカー」支那人柳永佛(三十才)ナ
 ル者ノ宅ニ自動車ニテ乘着ケ誘出サントセルモ應セサリシ
 爲拳銃ニテ射殺セリ
 右ハ最近臺灣方面ヨリ相當日貨ノ輸入ヲ見ルニ至リ黨部ノ
 策動ニテ殺人等ノ威嚇手段ヲ用フヘシトノ噂アリタル際ノ
 コトトテ市中日貨取引ハ俄ニ停止スルニ至レリ
 本電汕頭、大臣(第一〇二號)間中繼シ公使(六六)北平(一
 六)廣東(五四)南京(二四)厦門(八五)へ轉電アリ度シ
 聯盟へ轉電セリ

735 昭和7年4月20日 在福州田村總領事より
 芳沢外務大臣宛(電報)

日貨取扱いの中国商人射殺事件に關し省政府へ

抗議申入れについて

福州 4月20日後発
 本省 4月21日後着

第一〇六號

往電第一〇三號日貨「ブローカー」支那人殺害事件ニ關シ
 右ハ反日潛行運動トシテ恐怖手段ヲ用ヒタルハ明カニシテ
 其ノ儘報道サルルニ於テハ直ニ市中日貨取引ニ影響スルヲ
 恐レ省政府ニ對シ新聞記事取締方ヲ要求シ置キタルカ各新
 聞共大々的報道ヲ掲ケタルモ殺害ノ原因ヲ明記スルヲ避ケ
 タルカ翌日青年救國團布告トシテ被害者ハ仇貨ヲ取扱ヒタ
 ルヲ以テ規則第九條ニ照シ極刑ニ處セル旨ノ貼紙ヲ犯行現
 場附近及城内方面ニ爲セル者アリ一小新聞紙ハ奸商ノ末路
 ト題シテ之ヲ掲載シ市中ハ本件發生ノ爲俄ニ日貨取引杜絶
 シ尙一味ノ者ハ更ニ數名ヲ血祭ニ擧クヘシト揚言セリトカ
 ニテ一般ニ匈々先物ノ取消等影響大ナルモノアリ當分取引
 見込無キ状態ニ付本官ハ省政府ニ對シ斯ノ如キ事態ノ發生

ハ人道上眞ニ許容シ難シ治安維持ノ點ヨリスルモ將又一月
 西湖事件解決條件タル反日取締ノ重大違反ナレハ速ニ犯人
 ヲ逮捕シテ妥當ノ善後措置ヲ講シ事件ノ擴大ヲ防止スヘキ
 旨嚴重警告シ引續キ其ノ態度監視中ナルカ一般ニ本件背後
 ニハ黨部ノ指金アリ恐ラク犯人ヲ檢舉セサルヘシトノ噂盛
 ナリ
 公使ヨリ上海、南京へ轉報アリタシ
 本電汕頭ヨリ大臣(一〇六號)、公使(六六)、北平(一七)、
 廣東(五五)厦門(八六)へ轉電アリタシ

736 昭和7年4月28日 在中国重光公使より
 芳沢外務大臣宛

排日商標の登録承認に關し国民政府に抗議申

入れについて

機密公第一三三號 (5月10日接受)

昭和七年四月二十八日

在中華民國

特命全權公使 重光 葵 (印)

外務大臣 芳澤 謙吉殿

支那側排日商標ニ關スル件

本件ニ關シ別添寫(本使發南京宛公信四月二十八日附機密公第一二〇號及附屬書)ノ通外交部ニ申入レ置キタルニ付右ニ御了知相成度關係寫眞各五部相添ヘ報告申進ス

本信寫送付先 北平 奉天 天津 漢口 廣東 上海
南京(奉天ヨリ吉田大使ヘ轉報)

(別 添)

機密公第一二〇號

昭和七年四月二十八日

在中華民國

特命全權公使 重光 葵

在南京

三等書記官 上村 伸一殿

支那側ノ排日商法ニ關スル件

本件公文別添茲ニ送付スルニ付右外交部ニ御轉達相成度シ外第二八號

以書翰啓上致候。陳者、貴國實業部ニ於テハ貴國商人上海南京路虹廟後首四十九號瑞榮廠汪克勤申請ノ白金懷爐ニ對

明ニモ扞格スルモノニシテ、本使ノ全ク了解ニ苦シム所ナリ。

本使ハ貴國政府ニ對シ、右ノ點ニ付深甚ノ考量ヲ促スト共ニ、速ニ之ヲ救正ノ爲必要ナル措置ヲ執ラレンコトヲ要求シ、尙何分ノ儀御回答アラシコトヲ希望致候。

右申進旁本使ハ茲ニ重テ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候。敬具。

昭和七年四月二十八日

日本帝國特命全權公使 重光 葵

國民政府外交部長 羅文幹殿

737 昭和7年5月24日

菊池支那駐屯軍參謀長ヨリ
小磯陸軍次官宛(電報)

天津日本租界にて反日行為とみられる爆彈事

件發生について

天津 5月24日後發

陸軍省 5月24日後着

天電五七

二十二日夜日本租界北旭街夜店附近ニ於テ爆彈一個破裂シ支那人二名重傷ヲ受ケ内一名ハ同夜死亡セリ犯人未夕縛ニ

スル「抗日牌」ナル商標ヲ登録シ、又上海貴州路一四一號中國物產貿易股份有限公司李維城申請ノ毛巾ニ對スル「九一八」ナル商標ヲ登録シタル趣ニテ右ハ執レモ本年二月十五日貴國實業部商標局發行商標公報第六十期ニ公示セラレ居レリ。右商標「抗日牌」及「九一八」ハ共ニ貴國一般民衆ニ對シ排日ヲ宣傳スルモノナル處、斯クノ如キ商標ヲ登録シタルハ貴國政府當局自ラ排日行為ヲ爲スモノニシテ、爲ニ貴國人一般ノ排日感情ヲ刺戟シ、貴我ノ國交ヲ阻害スルモノナリ。凡ソ公ノ秩序ニ害アルモノハ商標ノ客体トシテ登録セサルコトハ、各國法制ノ通義ニシテ、民國十九年五月六日公布ノ貴國商標法第二條第四號ニ於テモ亦之ヲ明定シ居ルニ拘ラス、貴國政府當局カ排日宣傳ノ爲ニスル前記商標ヲ登録シタルハ明ニ國際通義ヲ無視シ且自國法律ノ條章ニ背反スル不法ノ行為ナリ。日本國民ハ條約ノ規定ニ基キ貴國ニ於テ居住シ且各種ノ商工業其ノ他ノ營業ニ從事スルノ自由ヲ享有スルモノナルヲ以テ貴國政府當局ノ右ノ如キ措置ハ明白ナル條約違反ノ行為ニシテ、斷シテ容認セラルヘキモノニ非ス。而ノミナラス右ハ貴國ニ於ケル排日カ何等政府ノ關與スル所ニアラストノ貴國政府屢次ノ辨

就カサルモ右ハ商民救國會ヲ中心トスル反日團體カ五月十五日ヨリ對日封鎖斷交ヲ計畫シタルモ官憲ノ壓迫ニ依リ實施シ得ス數日前ヨリ商民救國會ハ北旭街夜店ノ日貨取扱商人ニ日貨ノ取扱中止ヲ警告センカ爲其ノ住所氏名ヲ調査セシカ如キ事實アリシヲ以テ多分之ニ依リテ日貨取扱支那商ヲ脅威セント欲シタルモノト判斷セラル

支那側ハ本件ニ関シ日本側ノ抗議ヲ豫想シテ救國會過激分子取締ヲ開始スル等狼狽ノ狀アリ、軍ハ外交官憲ト協力シテ證據物件蒐集ニ努力中ニシテ其ノ結果ニ依テハ領事館ハ反日行為ノ徹底的取締ニ関シ支那側ニ嚴重ナル要求ヲ提出スル筈ナリ

関、北、濟、上、漢スミ

738 昭和7年6月20日

在天津桑島總領事ヨリ
齋藤外務大臣宛(電報)

汪院長が日貨抵制は人民自由の権利と声明し

た旨の報道について

天津 6月20日後發

本省 6月20日後着

當地方各種抗日團體ノ行動ハ官憲ノ取締ニ依リ依然トシテ
潛行ノ運動ノ範圍ヲ出テス從テ格段取引ニ阻害ヲ見サル處
汪兆銘ハ十九日外交大樓ニ於テ新聞記者ト會見シ「日貨抵
制ハ人民自由ノ權利ニシテ政府ニ於テ之ニ干渉スル能ハス
又干渉スルニ便ナラス」ト聲明シタル趣ニシテ廿日ノ新聞
ハ何レモ大活字ニテ之ヲ報道シツツアリ聯盟調查團ノ滞在
セル北平ニ於テ而モ行政院長タル汪カスカル大膽ナル談話
ヲ發表セルハ我方屢次ノ折衝ニ依リ折角鎮靜シ居ル反日運
動ニ油ヲ注クニ等シク其影響重大ナルヘク懸念セラル
支ヨリ上海ヘ轉報アリタシ
支、北平、南京、廣東、漢口、濟南、青島、奉天、長春ヘ
轉電セリ

739 昭和7年7月7日

在廣東須磨總領事代理より
内田外務大臣宛

日貨取扱いに対する懲戒弁法について

公第七六七號

昭和七年七月七日

(接受日不明)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

日貨私運ニ關スル懲戒辦法報告ノ件

廣州市各界民衆救國大會執行委員會ハ七月五日第一次會議
ヲ開催シ同六日ヨリ事務ヲ開始セル處同會ハ最近救國會部
内ニ種々ノ不祥事件發生シ其ノ工作ニ頗ル支障ヲ來スト共
ニ一部奸商ハ紛々日貨ヲ密輸シツツアル事實ニ鑑ミ此ノ際
對日經濟絶交ヲ徹底セシムル爲七月廿日以前ニ全省ノ日貨
ヲ繼テ封存シ以後密輸セラレタル日貨ハ之ヲ燒却シ且代表
大會ノ議決ニ依リ包運セルモノヲ死刑ニ處シ販賣者ニ對シ
テハ政府ニ其ノ商標ノ撤銷方ヲ請求スル外貨物ノ價格千元
以下ノモノニハ一年ノ監禁、千元以上二千元以下ノモノニ
ハ二年ノ監禁(其ノ他類算ス)ニ處シ一方從價ニ割ノ罰金ヲ
科スヘキ旨ヲ決定セル趣ナリ

本信寫送付先

公使(守屋一等書記官) 北平、奉天、青島、濟南、

上海、漢口、南京、福州、厦門、汕頭、香港

740 昭和7年7月11日

在漢口坂根總領事より
内田外務大臣宛(電報)

日貨排斥対策のための漢口新聞界および実業

界有力者との接触振りについて

漢口 7月11日後発

本省 7月11日後着

第四八七號
往電第四五九號ニ關シ

當地日本品ノ賣行及土貨ノ日本向ケ輸出ハ排日團體ノ解散
並ニ官憲ノ取締ノ結果水災及土匪跳梁等ニ依ル一般の商況
不振ニ拘ラス相當恢復シ今ヤ取引上外部ヨリ何等妨害無キ
ニ至リタルモ(一)當地漢字紙中大型新聞十三、中型四、小型
五十計六十七(内日刊四十八、三日目刊行十二、週刊七)ハ
中央黨部機關紙武漢日報及黨部側ノ策動モ有リ滿洲事件直
後ニ於ケル新聞公會ノ日本人關係廣告不登載ノ決議ノ撤回
ヲナサス(二)又一流商人ハ世間體ヲ憚リ今以テ日本品ヲ買控
ヘ居ル傾向アルヤニ認メラルルニ付本官ハ之カ改善ノ爲(一)
ニ對シテハ相當ノ手蔓ヲ辿リテ最モ勢力アル十二、三種ノ
新聞經營者ニ付本邦人關係廣告ノ登載方交渉セシメタルニ

各經營者及主筆ノ意嚮ハ何レモ「全部ノ大型新聞ニ一齊ニ
本邦人ノ廣告ヲ登載スルコトトセハ黨部及武漢日報モ之ヲ
問題トセサル可ク又之カ打合ニハ何時ニテモ應スル用意ア
リ而シテ自分ノ經營スル新聞自体トシテハ排日宣傳及廣告
拒絕ノ意思ヲ有セス」ト言フニ一致シ居リ結局御附合のニ
時々反日的字句ヲ使用セサレハ新聞ノ經營困難ナリトスル
實情ヲ縷々説明スル所アリ依テ本官ハ近ク當地漢字新聞經
營者及主筆中有力ナル者ヲ集メ彼我交驩方計畫中ナルカ前
記(一)ノ一流商人ノ日本品買控ニ關シテハ前總商會長カ民會
議長寶妻ト三十數年來ノ友人ナルヲ幸ヒ同人ヲ介シ總商會
役員及當地支那側總商會有力者約十名ニ對シ久濶ヲ叙スル
意味ニテ「兩朋友」トシテ本月五日泰安紡績近藤(漢口日本
商工會議所會頭)ノ私宅ニテ招宴セシメ之ニ

(二)當館高井ヲ近藤及寶妻ノ昵懇者トシテ陪席セシメ彼我ノ間
ニ一夕歡談セシメタル上席上高井ヲシテ座談的ニ排日取締
ニ關スル當地支那側各官憲ノ眞意ヲ初メ本官ト何成濬夏斗
寅トノ話合ノ次第等ヲモ説明セシメタル處先方出席者ハ終
始意外ニ打解ケタル態度ヲ以テ能ク語り衷心満足ノ意ヲ表
シ最後ニ此ノ種催ハ度々行フ必要アリ、翌々日自分等ニテ

日本側三名ヲ招宴ス可ク其ノ節ニハ自分等ノ友人約十名ヲ
モ連レ來ル可シトテ七日夜支那側實業界有力者約二十名ニ
テ大ニ我方ニ對シ親善振りヲ示シタル趣ナルカ本官ハ右ヲ
最初ノ小手調ヘトシテ計畫シタル次第ニテ從テ餘リ多クノ
效果ヲ期待シ居ラサリシモ九日三友電氣公司經營者來訪シ
一昨昨日(右催當日)ヨリ連日二千兩以上ノ大口注文一時ニ
殺到シ來リ却テ了解ニ苦シミ居ル處斯ノ如キ現象ハ近年稀
有ノ事ナリト申述ヘタルニ付右催ニ付一言説明ヲ與ヘタル
ニ本人ハ「實ハ支那側小商人ハ何レモ日貨ヲ取引セント欲
シ居ルモ資本關係ニテ押ヘラレ居ル親分筋ニ内證ニテハ取
引不能ナル爲買控ヘ居ルモノニシテ寧波幫トカ湖南幫トカ
ノ大親分カ全部日本側ト交際ヲ開始セリト言フカ如キハ市
況ヲ好轉セシムルニ充分ナリ」ト語り居タリ
尤モ右催ノ效果ニ付テハ未タ各方面ニ付調査シ居ラサルモ
今後支那側實業界有力者並ニ新聞記者ト公式ニ接觸シ得ル
機運ヲ増サント内々手順ヲ進メ居ル次第ナリ右御參考迄
前電ノ通り轉電セリ



貴公使照會署稱查有白銅懷中手爐之抗日牌商標及毛巾之九
一八商標均經商標公報公布有案此項商標均係向一般民衆宣
傳排日阻害貴我之國交者請予以糾正等因當經本部咨行實業
部查核去後茲准復以商標局審查商標純依商標法辦理該九一
八商標係屬數目字各國以數目字作為商標之例甚多何得指為
有妨公衆秩序認為違法至抗日牌商標原出於國人愛國心不過
表示對於外侮必須抗禦絕不含有無端排斥日人之意其字義無
論如何詮釋亦不能認為有違商標法第二條第四款之規定惟為
格外顧念兩國邦交起見除令商標局相機迅予勸導改換並嗣後
對於類此商標予以深切注意外相應咨復查照等因到部相應照
復

貴公使查照可也須至照會者
右 照 會

大日本帝國特命駐華全權公使重光

羅 文 幹

中華民國二十一年六月二十五日

譯 文

以書翰啓上致候。陳者、白銅製懷爐ノ抗日牌商標及毛巾ノ

741 昭和7年7月11日 在中國堀内臨時代理公使より
内田外務大臣宛

實業部は排日商標を以後取締る意向との外交

部回答送付について

機密公第二〇八號 (7月19日接受)

昭和七年七月十一日

在中華民國

公使館一等書記官 堀内 干城 (印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

支那側ノ排日商標ニ關スル件

本件ニ關シテハ四月二十八日附往信ヲ以テ報告申進シ置キ
タル處今般在南京上村總領事代理ヨリ支那側回答公文送付
越シタルニ付右公文ノ寫譯文相添ヘ茲ニ送付ス

追テ聯盟調査委員參與委員吉田大使ニ對シテハ貴方ヨリ御
轉報相煩度
本信寫送付先 北平 奉天 天津 漢口 廣東 上海

大中華民國外交部長羅 為

照復事准四月二十八日

九一八商標ハ執レモ商標公報ニ公布セラレ居ル處此種商標
ハ一般民衆ニ對シ排日ヲ宣傳シ兩國ノ國交ヲ阻害スルモノ
ナルニ付改正セシメラレ度旨四月二十八日附貴翰御申越ノ
趣聞悉致候。仍テ右實業部ニ取調方照會致置候處今同其ノ
回答ニ依レハ商標局ノ商標審查ハ單ニ商標法ニ依リ處理ス
ルモノニシテ該九一八商標ハ數字ニ屬シ各國ニ於テモ數字
ヲ以テ商標ト爲スノ例尠カラス之ヲ以テ公衆ノ秩序ニ妨害
アリ又ハ違法ノモノト認ムルヲ得ヌ又抗日牌商標ハ原々國
民ノ愛國心ヨリ出テ外侮ニ對スル抵抗防禦ノ意ヲ表示スル
モノニ過キス何等故ナクシテ日本人ヲ排斥セムトスルノ意
味ヲ含ムモノニ非ス其ノ字義ハ如何ニ解釋スルモ商標法第
二條第四項ノ規定ニ違反スルモノト認ムルヲ得サル次第ナ
ルカ只茲ニ特ニ兩國ノ邦交ヲ顧念スル見地ノ下ニ商標局ニ
命シ機ヲ見テ之カ更改方勸告セシムルコトトシ尙今後此種
類似ノ商標ニ對シテハ深甚ノ注意ヲ拂フコトトスヘシトノ
コトニ有之候。右御了承相成度此段回答得貴意候。敬具。

民國二十一年六月二十五日

重光公使宛

羅外交部長

742

昭和7年7月16日 在中国横竹大使館商務參事官より
内田外務大臣宛(電報)

上海日本品市場の回復兆候について

上海 7月16日後発
本省 7月16日後着

商第五五號

(一)久シク頓挫セシ當地邦品市況ハ六月末頃ヨリ幾分宛引合
ヲ増シツツアリシカ七月ニ入り愈調子好ク最近綿布八枚
繡子四綾等七、九月渡シ約一千梱新規輸入約定出來タル
外雜貨類亦弗々商談現ハレ殊ニ昨秋來持越シノ綿布約二
萬七千梱ニ對シ本月ニ入り小口乍ラ毎週一千梱内外宛處
分出來得ル程度ニ至リ居り値下り損勘定乍ラモ此儘ニ推
移セハ年内ニハ曲リナリニモ大体處分付キノウナ模様ア
リ當業者稍愁眉ヲ開ク

(二)又當地邦人紡績製品モ滿洲關稅見越シ天津市場ノ好需、
漢口方面ノ買氣擡頭、外綿高モ手傳ヒ最近三週間成約三
萬俵ニ上リ久シ振リ好勢ヲ示シ滯貨餘程輕減サル尤モ大
手筋四川筋ノ註文無く廣東方面買ハス且右約定ニハ思惑

總領事 坂根 準三(印)

外務大臣伯爵 内田 康 哉 殿

加峰警部ノ重慶及萬縣出張復命書進達ノ件

重慶領事館引揚後ニ於ケル同地日本租界及在同地官私有遺
留財産ノ現狀調査旁同地一般情況調査ノ爲御許可ヲ經帝國
軍艦比良ニ便乘重慶ニ出張セル加峰警部ヨリ軍艦萬縣寄港
ノ際上陸シ同地狀況ヲ視察セル經過ヲモ併セ別冊ノ通り重
慶出張復命書提出セルニ付茲ニ進達ス

本信寫送付先 公使 北平 上海 南京 宜昌

昭和七年七月二十日

在漢口帝國總領事館警察署

外務省警部 加峰 喜多雄

在漢口

總領事 坂根 準三殿

重慶及萬縣出張復命書提出ノ件

依命重慶領事館殘留財産、日本租界及邦人殘留財産狀況其
他一般狀況調査ノ爲メ軍艦比良ニ便乘重慶及萬縣ニ出張調
査シタル狀況別冊ノ通り茲ニ報告ス御査閱相成度シ

的ノモノモアルカ長ク杜絶ノ姿ニ在リシ當地場及漢口筋

ノ註文相當アルコト排貨緩和ト關聯シ興味ヲ惹キ居レリ

(三)他方當地金融ハ弗銀洪水ニ惱ミ乍ラ近頃兩銀廢止問題發

生以來弗相場六八兩半内外ヨリ六九兩七八匁ニ反撥セシ

コト金融緩和ノ一刺戟トナリ居り旁秋冬季節引當テ邦品

商内ノ復活ハ可ナリ有望視セラルルニ至ツタ

(四)尤モ滿洲問題、共匪討伐ノ成行懸念アリ又排日貨ニ對シ

テモ裏面ノ脅迫去ラス大手筋ハ依然見送りノ態度ヲ改メ

サル現狀ナレハ眞ニ市況ノ活氣ヲ見ル迄ハ尙相當ノ時日

ヲ要スルモノト思ハル

743

昭和7年7月23日

在漢口坂根總領事より
内田外務大臣宛

重慶における軍艦比良への投石事件顛末を含

む加峰警部の重慶および万県出張復命書送付

について

機密第五六八號

(9月5日接受)

昭和七年七月二十三日

在漢口

追而別冊復命書中第二「軍艦比良ニ對スル投石事件ト其

ノ反響」ノ項ニ於テハ率直ニ事件ノ顛末ヲ記述スルト共

ニ忌憚ナキ考察ヲ加ヘタル點アルニ付此ノ部分ハ特ニ極

秘トシテ取扱ハル、様致度ク爲念申添フ

重慶及萬縣調査目次

一、領事館殘留財産、日本租界及邦人殘留財産調査

二、軍艦比良ニ對スル支那民衆ノ投石事件ト其ノ反響

三、軍艦比良旋泊中ニ於ケル救國會ノ活動振

四、反日會ノ名稱變更ト排日貨概況

五、四川ニ於ケル一般經濟界ノ概況

六、第二十一軍成區内各縣々知事辭職問題

七、排日辦法ノ決議

八、重慶國難救國會ノ成立

九、劉湘ノ司法機關改廢

一〇、重慶市軍警團ノ警備統一

一一、劉湘ノ軍備擴張

一二、重慶殘留邦人及同死亡者

一三、萬縣概況ト殘留邦人ノ死亡(中略)

二、軍艦比良ニ對スル支那民衆ノ投石事件ト其ノ反響

軍艦比良ハ六月三日重慶下流日本租界(王家沱)江岸ニ投錨シ翌四日午前十時拔錨上航シテ嘉陵江碼頭ノ日清汽船「ハルク」ニ碇泊セリ「ハルク」ニハ警戒ノ爲メ市政府ノ注意ニ基キ川江航務管理局ヨリ特ニ巡警七名ヲ派遣シ比良碇泊中「ハルク」ニ出入スル不逞支那民衆ノ取締ノ任ニ當リタリ折リシモ六月八日ハ舊曆五月五日ノ端午ノ節句ニ當リ市中一般休業シ嘉陵江ニハ年中行事ノ龍船賽會(ボートレース)ノ催シアリ朝來人出多ク午後二時頃ニハ嘉陵碼頭附近ノ江岸一帶ハ觀覽客ヲ以テ埋マリ立錐ノ餘地ナキ壯觀ヲ呈シ嘉陵江ノ河面モ裝飾ヲ凝シタル遊覽船(大小民船)ヲ以テ埋メラレ江岸及河面ノ人出無慮數萬ニ上リ殷賑ヲ極ム「ボートレース」ハ午後四時頃ヨリ佳境ニ入ラントシ民衆ノ喊聲天ニ冲セルカ軍艦比良附近ノ群衆ニ混レル數名ノ兒童ハ正午頃ヨリ比良ニ向ツテ三回ニ亘リ小石ヲ投石シ恰モ右「ボートレース」耐ナラムトスル午後四時半頃最後ノ投石ニ憤慨シタル三上艦長ハ憤然トシテ兵員ノ非常召集ヲ行ヒ「ハルク」上ニ急進シ兵員ニ向テ脱帽脱上衣ヲ命シ江岸民衆中ニ空拳突進ス

タリト云フ一方江中ノ大小遊覽船ハ混亂中蒼徨トシテ難ヲ下流ニ逃レタリ

比良ノ行動ハ約一時間ニシテ中止命令ニ依リ普通狀態ニ復シタルカ此ノ危機一髮ノ際比良ノ艦体ハ「ハルク」ニ繫留サレ居リ支那砲艦三隻ノ砲門ノ前ニ曝サレ乍ラ全然艦自体ノ行動ノ自由ヲ失ヒ居タルヲ以テ當時ノ光景ハ想起スルタニ寒心ノ至ニ堪ヘス小職等始メ便乘者ハ内心騷然トシテ如何ナル結果ヲ産ムヤヲ危フムト共ニ遂ニハ死ヲ覺悟セリ右事件後艦長ノ不在中再度投石事件發生セルモ支那事情ニ精通セル某士官ノ取計ヒニ依リ兵員一同ハ艦長ニ對スル箠口令(マツ)ニ守リ事態ノ惡化ヲ防キ得タルハ小職等ノ均シク欣幸トスル所ニシテ右士官ノ明敏透徹ナル頭腦ト冷靜果敢ナル襟度ニ對シテハ敬服ノ念ヲ禁スルコト能ハス翌九日ハ艦長カ午後六時ヨリ劉湘、市長、師長、知事等最高文武官十餘名ヲ支那料理店ニ招待シアリタルヲ以テ本件ニ關スル抗議八十日ニ延ハシ同日ハ小職ニ立會方申出アリタルニ付十日午前十時艦長、長坂通譯及小職ハ市政府ニ潘市長ヲ訪問シタルニ市長潘文華ハ師團長ノ兼職ヲ有シ同人ハ下流ニ於ケル共匪討伐會議ノ爲メ軍

ル氣配ヲ示シタルヲ以テ「ハルク」上ノ監視支那巡警ハ艦長ニ對シ事件ノ事實ハ認ムルモ投石者ハ無智ノ兒童ノ所爲ナレハトテ隱便(隠)ニサレン事ヲ頻ニ叩頭哀願シ大手ヲ擴ケテ艦長及兵員ノ突進路ヲ塞キタルモ激昂セル艦長ハ方向ヲ轉換シテ艦上ニ歸リ兵員ニ對シ戰鬪準備ヲ命スルト共ニ嘉陵碼頭ノ民衆ニ向ツテ打チ方準備ヲ命スルヤ二門ノ砲門ハ碼頭ヲ眼下ニ伏瞰(俯)セル崖上ノ民衆ニ向ケラレ砲彈ノ運搬機關銃ノ發射準備等ニ右往左往スル兵士ノ行動ハ崖上崖下ノ支那民衆ヲ極度ノ混亂ニ陥レ江面及江岸一帶ノ人出モ遊覽船モ寸時ニシテ蜘蛛ノ子ヲ散ラスカ如ク逃ケ惑ヒ歡樂ハ暴風ノ如キ恐怖的混亂ノ内ニ幕ヲ閉シタルカ此ノ情況ヲ目撃シタル支那軍艦三隻(比良右舷約四五百米突ノ江中ニ一列縱隊ニ碇泊シ居リタリ劉湘麾下ノ川江公安艦隊ノ三艦ニシテ内一隻ハ比良ヨリモ有勢ナル裝備ヲ有ス)ハ一齋(齋)ニ砲門ヲ比良ニ向ケ戰鬪配備ニ就クニ至リ上海事件以來對日恐怖ヲ懷ケル江岸ノ群衆ハ日支軍艦ノ戰鬪準備ニ極度ニ狼狽シ右往左往一大混亂裡ニ悲鳴ヲ喊ケテ逃散シタルカ嘉陵碼頭附近ノ民衆中年少者數名ハ此ノ混亂ノタメ負傷シ尙一名ノ少年ハ踏ミ殺サレ

司令部ニ出頭シ茲ニ三日多忙ノ故ヲ以テ秘書科長カ市長ニ代テ全責任ヲ以テ應涉スヘキ旨申出アリタルニ依リ三上艦長ハ別紙寫ノ抗議文ヲ手交シ内容ヲ釋明セリ之ニ對シ秘書長ハ本件ハ市長ニ代テ遺憾ノ意ヲ表シ要求三項ヲ承認シタルモ艦長ハ第一項ノ陳謝ハ市長自身之ヲ爲スヘシト主張シタルヲ以テ翌十一日午前十時市政府ニ於テ潘市長自ラ陳謝スルコト、ナリ十一日午前十時兩者會見ノ上本件ハ曲リニモ表面ノ解決ヲ告ケタルカ右數次ノ會見ニ於テ艦長カ支那側官吏ノ迷惑等ヲ全然顧慮スル所ナク終始威嚇的態度ヲ以テ臨ミ市長ノ陳謝ニ因リ事件ノ落着ヲ見タル後ニ於テモ尙通譯ノ注意アリタルニモ拘ハラス帝國軍艦ノ宜昌集中命令出テ居リ多數ノ日本軍艦大舉來渝スヘキ旨ヲ告ケタル等支那側ノ惡感ヲ挑發スルカ如キ言動ニ出テタルハ艦長平素ノ對支感情ノ發露トモ見ラル、一面職務熱心ノ餘リ帝國ノ武威發揚ノ趣旨ニ出テタルモノトモ見受ケラレタルモ比良上航ノ使命ニ鑑ミ之カ當時ノ空氣ニ甚シク相應ハシカラサル言動ナリシハ小職ノ心中私ニ嗟嘆セル所ナリ尙第三項ノ回答文又別紙ノ通

本事件發生スルヤ支那新聞ハ一齋(齊カ)ニ日本軍艦我カ民衆ヲ威嚇シ恐暴(恐カ)振りヲ發揮ストテ當日ノ模様ヲ詳報シ大ニ排日ヲ鼓吹シタル爲メ民衆ノ感情ハ重慶居留民及領事館ノ引揚前ニモ増シテ極度ニ惡化シタル現況ニ鑑ミテモ比良事件ハ茲當分支那側官民ノ腦裡ヨリ去ラサルヘク從ツテ一般民心ノ對日感情ノ緩和又茲當分見込ナキモノト認メラルル殊ニ支那新聞ノ宣傳ニ乘セラレタル好餌ハ六月六日艦長カ劉湘ヲ訪問シ初對面ノ挨拶後來渝ノ事情ヲ述ヘタル後劉湘及一流文武官ヲ招待シ度キ旨申入レタルニ對シ劉湘ハ卒直ニ貴官等ノ來渝ニ對シテハ當方ヨリ歡迎ノ意味ヲ以テ先ニ御招待スルカ禮ナルニ貴官ヨリ先ニ御招待ヲ受クルハ弊國ニハ其ノ例尠シ是ハ儀禮上面白カラスト露骨ニ應ヘタルニ對シ艦長ハ滞在期間短カキニ依ルモノニシテ他意アルニアラス枉ケテ御承諾アリタキ旨更ニ申入レタル結果劉湘ハ支那顧問ノ意見ヲ求メタル上招待ニ應シタルモ右投石事件發生ノ爲ニヤ支那側ハ比良離港迄遂ニ日本側ヲ招待セサリシカスノ如キハ如何ニ排日盛ナル土地柄トテモ珍奇ノ現象ト云ハサルヘカラス

九日午後九時ヨリ支那料理店ニ劉湘以下一流文武官十數

大日本帝國ニ對スル侮辱ニ外ナラス是已ニ貴官ノ熟知セラル、處ニシテ又本職カ帝國ノ威信保持上必要ニシテ有效ナル處置ヲ取ルノ準備ヲ爲スト共ニ先任將校ヲ市政府ニ急派セシ所以也曩ニ貴官ハ本職ト會見ノ際双方慎重警戒シテ事故發生絶体防止ニ努力ス可キ旨確約セラレタリ故ニ本職ハ貴官ニ對シ本件ニ關シ左記諸項ヲ要求スルモノナリ

尙將來此ノ如キ事件再發スルニ於テハ本職ハ直ニ帝國軍艦ノ威信保持上必要ニシテ有效ナル處置ヲ採ルニ何等躊躇スルモノニ非ス此ノ場合責任ハ貴方ニアルコトヲ嚴重申入レ置候

記

- 一 本件ニ關シ口頭ヲ以テ陳謝ノ意ヲ表スル事
- 二 犯人ヲ發見處罰スルコト
- 三 將來此ノ如キ事件ヲ絶体ニ發生セシメサル事ヲ文書ヲ以テ誓約スルコト

逕啓者頃奉

大函以本月八日適值弊國舊曆端午有無知民衆向貴艦投擲瓦石情事提出條件三項囑爲答覆等由查弊府自聞貴艦來渝消息

名ヲ招待ス宴ハ談笑裡ニ終了比良ハ十一日下流ノ日本租界前ニ下リ十四日未明下航シタルカ支那新聞ハ一律ニ九日ノ宴會ハ比良艦長陳謝ノ爲メ劉湘等ヲ招待シ又十一日日本租界ニ下航シタルハ中國側ノ要求ニ應シタルモノナリトノ記事ヲ掲ケタリ

抗議文寫

昭和七年六月十日

在重慶

大日本帝國軍艦比良艦長 三上 射鹿

重慶市長 潘文華殿

拜啓陳者本月八日嘉陵江ニ於テ端午節龍船ノ行事有リタル際朝來嘉陵碼頭附近江岸一体ニ許多ノ民衆群集シ屢々本艦ノ横付セル日清公司躉船ニ押寄セ本艦ニ對シ侮辱の言辭ヲ弄シ不隱(穢カ)ノ氣配有リタルヲ以テ事故發生ヲ未然ニ防止セン爲メ同躉船ニ派遣セラレタル貴國警戒兵ヲ通シ之ヲ退去セシメタリ然ルニ拘ハラヌ貴國民衆ハ江岸上ヨリ午前三四回午後五回以上ニ亘リ本艦ニ對シ投石シタル事實有之候

夫レ軍艦ハ一國ノ分身ニシテ我カ軍艦ニ對スル侮辱ハ則チ

即派軍警於停泊地方妥爲保護故

貴艦到達數日拘未發生他事至八日之事係因弊國舊曆端午節水上岸上游人衆多爲軍警現察所難周遂致有無知愚民幼孩拋石游劇並非有意行爲弊府對於此事事極爲抱歉刻正嚴爲調查如獲當予以相當處罰並已分飭軍團加以保護即王家沱地方亦增派警團協力維持秩序以後或不致再有此等事件發生相應函覆煩爲

查照此致

比良軍艦艦長 三上 射鹿

重慶市長 潘文華 印

六月十一日(以下省略)

744

昭和7年7月28日

在廣東吉田總領事代理より
内田外務大臣宛

廣東における排日運動の諸状況について

機密公第八四五號

(8月13日接受)

昭和七年七月廿八日

在廣東

總領事代理 吉田 丹一郎 (印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

當地方對日感情一般ニ關シ報告ノ件

當地方ニ於ケル對日感情ノ種々相乃至排日運動ノ諸情況ニ關シテハ從來屢報致置タル處爾後ノ本件諸狀況ニ關シ一般の觀測ヲモ加ヘ御參考迄左記報告申進ス

記

一、對日惡感情

當方面民衆ノ對日惡感情ハ素々組織ナク團結力ニ乏シキ彼等トシテ從來ニ於テモ黨部等ノ煽動ニ依リ醸生セラレタルモノナリト云フヲ至當トスヘク即チ爲政家ヲ信賴シ若クハ之ニ依リ大衆ノ福利増進ヲ謀リ得サル實情ナルノミナラス其ノ智識^(識力)ノ低劣ナル爲民衆ノ大部分ハ時事問題ニ對シテ無關心ナルモ唯タ是カ例外ヲ爲スモノハ例ヘハ日本品ノ中國流通力己ニ不利ヲ招ク地位ニ在ル一部商人若シクハ排日運動ヲ行フコトニ依リテ一種ノ衝氣ヲ満足セシメ得ル學生輩ヲ擧ケ得ヘシト雖モ要スルニ對日惡感情ノ如キハ謬レル革命外交ニ眩惑セラルル政客軍人黨部員又ハ彼等ノ笛ニ踊ル學生連、職業排日屋等ノ製造發散スルモノニシテ一般民衆ハ斯カル閑事業ニ關心スルモノニ

ハス一般民衆ハ未タ俄ニ動カサルモノノ如ク見ラル。新聞雜誌等ノ論調ハ此ノ間ノ消息ヲ雄辯ニ物語ルモノニシテ孰レモ筆致ヲ揃ヘテ中國人ノ「三日坊主」的氣質ヲ責メ永久抗日ヲ絶叫シ居ルト雖モ何等格段ナル展開ヲ見ル場合ハトモカク茲當分活潑ナル反日工作ハ見ラレサルヘキヤニ觀測セラレ

三、日貨排斥

日貨排斥工作ハ日本ノ死命ヲ制スルニ足ル手段トシテ彼等カ最モ力瘤ヲ入レ其ノ組織統制等ヲ充分整ヘタルモノナルカ元來内國工業未發達ノ域ニ在リ加フルニ人智尙低クシテ國貨提唱說ヲ充分味得シ得サル等ノ環境ヲ有スル中國ノ人民カ日本品ノ輸入杜絶ニ依リ不利不便ヲ痛感スヘキハ勿論ニシテ抗日救國會ノ工作ノ如キハ素々無理至極ノ舉ト云フヘクサレハ過般來危險ヲ冒シテ相當ノ密輸入種々ノ手ニ依リ實行セラレ(著例彰礎立ノ密輸)救國會關係者ヲシテ啞然タラシメタルカ最近彼等ハ反動的ニ其ノ工作ヲ嚴重ニシ相當思ヒ切レル數種ノ懲戒辦法、封存辦法等ヲ私制シテ違反者ニ臨ミ徹底的排日貨ノ實ヲ擧クルコトニ腐心シ居リ是カ爲從來多少トモ秘密ニ取引行ハ

非ス實力者ニ對スル畏怖或ハ時流ニ順應スルコト保身上策ノ得タルモノトシテ民衆ハ其ノ役割ヲ果スニ過^(マ)キルナリ

昨今ニ於テハ煽動者側ノ稍々疲レ氣味ナルト又ハ一種ノ諦メヨリ來ル抗日工作ノ萎微忽チ民衆ニモ反映ノ狀アリ其ノ後邦人ノ支那街出入ハ依然頗ル警戒シ居レルモ遇々支那街ニ出入スル邦人等ニアリテモ直接行動乃至惡罵等ヲ蒙レルコトナキニ至リ事變前ノ狀態ニ立至ル迄ニハ尙相當ノ時日ヲ要スヘキモ漸次改善ノ徵ハ明カニ認メラレツツアリ(一方黨部抗日會等ノ連中ハ目下躍起トナリテ抗日排日貨ノ繼續運動ニ努メツツアリ)^(大)

二、反日工作

最近ニ於ケル反日工作情況ハ一般ニ活氣ヲ缺キ稍々狂奔ニ疲レタル觀ヲ呈シ居ルモ折角各種ノ計畫ヲ樹テ一意貫徹ヲ國民ニ誓ヘル手前乘リ出セル船ハ今更後戻リモ出來ス一種墮^(惰性カ)勢^(カ)のニ其ノ工作ヲ繼續シツツ何等新題目ヲ捉ヘテ氣勢ヲ擧ケムトモカキ居ルモノノ如ク恰モ熱河事件ノ勃發ハ彼等ニ好餌ヲ與ヘタルヤノ感ナキニアラサリシモ少クモ表面的ニハ彼等ノ欲スル程ノ氣勢ヲ添フルコト能

レ居タル日支商間ノ商賣ハ支那商ノ畏怖ニ依リ殆ント一時杜絶スルノ狀態ヲ呈シ來レリ仍テ日貨ノ輸入ハ依然至難ニシテ其ノ緩和ノ日ノ如キ目途付カサル實情ナリ

三、最近ノ反日感情實例

(イ)抗日路命名建議(七月廿六日附機密公第八三三號)

當市河南ニ於テ最近完成ヲ見ルヘキ一道路ニ對シ該地方住民ハ排日氣勢ノ流行ニ顧ミ「抗日路」ト命名方工務局ニ請願セリ

(ロ)自働車賃借困難

七月五日新任馬公要港部司令官山内少將廣東視察ニ際シ支那側訪問ノ爲自働車ヲ雇ハントセルモ應セズ已ムナク市政府ヨリ一台差廻ハセシメタリ但シ昨今斯カル事實無シ

(ハ)這般「コレラ」流行ニ際シ台灣總督府ハ博愛會醫院ヲ通シテ當地支那側ニ注射用「ワクチン」ヲ寄贈スルコト、セル處支那側ハ厚意ハ多トスルモ自家製ノモノ多數アリ此ノ際當方ノモノヲ試用セラレタキ趣ヲ以テ婉曲ニ謝絶シ來レリ右ハ惡意ニ出テタルモノナリヤ不明ナルモ參考迄

(二)本省ヨリ省立圖書館及中山、嶺南兩大學ニ引續キ寄贈
 中ノ大藏經ニ付テハ昨今ハ當方ヨリノ通知ニ關ララス容
 易ニ受取ノ使者ヲ派遣越サス再三再四ノ當方ヨリノ督
 促ニ依リ始メテ事務員ヲ遣シ越ス状態ナリ
 (ホ)電話ヲ以テ邦人ヲ耶揄スル煩シキ事共相不變時々有之
 ルモ其ノ他取り立テ、云フヘキ程ノ事無シ
 本信寫送附先 公使 北平 奉天 上海 南京

745 昭和7年8月20日 在中国横竹大使館商務參事官より
 内田外務大臣宛(電報)

上海において排日はなお深刻な影響を及ぼし
 つつある現状について

上海 8月20日後発
 本省 8月20日後着

商第六一號

(一)支那側金融回復遅々弗相場六八兩七内外ニテ依然流入増
 加一方ニテ金融緩漫乍ラ時局ノ不安モ加ハリ貸出警戒サ
 レ公債ハ關稅庫券ニ五弗編遣庫券ニ六弗ト新安値ニ落込
 ミ取引閑散ヲ極メ株式ハ「アメリカン、オリエンタル」

面時局不安ニテ行詰リ爲替不利ニテ海外輸出出來ス大體
 生産高ノ四、五割捌ヶ折角需要期ニ入り乍ラ製品溜ル一
 方ニテ外棉高ニテ採算面白カラス目先窮境ニ陥リ居レ
 リ。
 (五)北滿水害ニテ小麥、大豆三、四割減收見越サレ滿洲北支
 那方面ヘノ本邦小麥粉需要大ニ期待サレ居ルモ上海製粉
 工場ハ金融難ニテ原料手當意ニ委セス却テ操短實行ノ模
 様ナリ
 (六)要スルニ爲替ノ不安定ニテ商談見送ラレ特ニ排日風潮ノ
 再燃ハ事變前ノ状態ニ逆轉セル觀アリ長江筋秋作ハ概シ
 テ豐作ヲ傳ヘラルルモ共匪討伐進捗セサルノミナラス政
 局不安ニテ金融引締メラレ財界一向ニ改マラス邦人當業
 者何レモ大弱リノ姿ナリ。

746 昭和7年8月21日 在厦門三浦領事より
 内田外務大臣宛(電報)

厦門における抗日会活動の現状について

厦門 8月21日後発
 本省 8月21日後着

社主要株平均二〇弗四〇仙ト下ケ歩調變ラス土地建物取
 引抄々シキ發展無ク最近租界電話會社社債ヲ起セル外新
 規企業見ル可キモノ無ク事業界依然不振

(二)爲替日米「クロス」暴落ニテ市場大連筋ノ圓賣リ約五百
 萬圓又米弗賣越シ七百萬弗ト稱セラレ之等思惑ニ左右セ
 ラレ圓爲替一週間一五兩方暴落ヲ告ケ遂ニ圓ハ弗貨ヨ
 リ下廻リヲ見セ先行不安ニテ輸出入商談全ク見送ラレ居
 レリ

(三)輸入方面秋口需要期ニ臨ミ普通ナラハ爲替ノ有利モ有リ
 邦品引合ヲ誘發ス可キ譯ナルカ暴力排日團ニ脅カサレ其
 ノ望ミモ無ク僅ニ目先小口現物商内ニ一時ヲ過ス有様ナ
 リ。即チ加工綿布ハ受渡弗弗出來居ルモ新規引合無ク石
 炭消費月平均三十萬噸カ現在工業界不振ニテ二十萬噸ヲ
 切り開平炭其ノ他支那炭滯リ本邦炭荷捌不良砂糖ハ爪哇
 糖獨リ舞臺紙ハ一時稍動キシカ後杜切レ木材、海產物殆
 ント見込ミ無ク工業藥品ハ細々々ラ商内有り總體ノ商内
 非常ニ淋レ居リ輸出方面麩、棉實糟等別段排日影響無キ
 モ爲替不利ニテ見送ラレ纏マラス

(四)邦人紡績製品地場排日ニテ買ハス一時良ク捌ケシ天津方

第三七四號

曩ニ入閩セル十九路軍長蔡廷楷ヲ始メ同軍各師長等幹部ノ
 抗日運動ニ對スル態度ノ極メテ消極的ナルハ既報ノ通ニシ
 テ張聖才モ期待ヲ裏切ラレ當地ノ抗日運動モ自然下向クモ
 ノニアラスヤト見ラレタルカ抗日會側ニ於テハ客月二十三
 日協議ノ結果

(一)成ルヘク官憲ノ取締ト商人ノ反抗ヲ避クル爲蔡軍長等ノ
 意嚮ヲ秘シ飽迄十九路軍ノ援助アルカ如ク吹聽スルコト
 (二)抗日會ノ意氣込ヲ示ス爲日貨票封等ヲ繼續スルコト
 (三)抗日會ノ資金貧弱ナル上調査隊内部ニ收賄暗闘等ノ醜徒
 モアリ今後調査隊給料ノ支拂ヲ停止シ日貨摘發者ニ對シ其
 日貨ノ三割乃至五割ヲ賞與スルノ制度トスルコトトシタル
 折柄恰モ熱河問題緊張シ上海其他全國の抗日運動盛返シニ
 刺戟セラレタルモノノ如ク日貨ノ沒收取扱商ニ對スル刑罰
 等ニ、三アリ當地公安局長ニ於テモ本月三日頃抗日會ノ元
 老株ニシテ抗日強硬論者タル厦門大學教授黃幼垣ヲ訪ヒ商
 人ノ窮狀ヲ訴ヘ調査隊ノ出動停止方ヲ懇談シタルモ黃ハ熱
 河問題ハ緊張シ且聯盟會議モ目前ニ迫リ上海方面ニ於ケル
 排日運動ハ愈々眞劍ニ行ハレ居ル際當地ノミ之ヲ阻止セラ

ルルハ心外ナリト反駁シ本懇談モ不調ニ終リタル趣ナルカ
次テ六日頃上海總商會ヨリ日貨抵制激勵ノ來信アリ又八日
頃來ル二十五日上海ニ於テ全國抗日代表大會開催ノ通告ア
リテ當地ヨリハ張聖才並王連元ナル者出席スルコトトナリ
當地ノ抗日運動モ茲ニ又氣勢ヲ上ケ最近ニ至リ日貨ノ票封
沒收罰金ノ徵收等ハ小口乍ラ屢發生スルニ至レリ尤モ調査
隊ノ收賄並内部ノ暗闘ハ今尙絶ヘス一方商人側ノ反感モ漸
次深刻化シツツアル次第ナル處前記ノ如キ状態ヲ呈スルニ
至レルハ一ハ勿論全國の運動ニ刺戟セラレタル結果ナルヘ
キ處一ハ調査隊ノ行動力甚タシク營業化シ居ルニ際シ給料
制度ヲ止メ賞與制度トシタルコトカ圖ニ當リ慾二日ノ無キ
彼等ノ活動ヲ見ルニ至レルモノト認メラル

尙當地及奧地泉州興化方面間ノ運輸業者ノ談ニ依レハ厦門
ヨリ奧地ニ至ル日貨ハ比較的少キモ(但シ去ル十五日當地
一籍民商積出ノ日貨價格約二萬元ノ海產物ハ當地ニ於テ多
少問題ヲ起シタルモ結局無事安海ニ輸送セラレタリ)同方
面海賊村ノ「ジャンク」所有者ハ自由ニ臺灣ヨリ日貨ヲ直
輸入シ奇利ヲ博シツツアリテ日貨ノ積出シハ平時ト大差ナ
ク泉州東部方面ニ於テハ六十一師長毛維壽ニ對シ之等輸入

付テモ工部局當局ヲ鞭撻シタル次第ナル處近日來日本側ノ
態度甚シク刺戟的トナリ來レリ例ヘハ陸戰隊カ日本電信局
ニ分遣隊ヲ派出スルコトアル等ノ爲支那住民ハ再度ノ衝突
ヲ豫想シ恐慌ヲ來シ居ル模様ナルニ付日本側ニ於テ慎重ナ
ル態度ニ出テラルル様致サレタシトノ趣旨ヲ申出テタリ本
官ハ右ニ對シ挑發的ナルハ却テ支那側ナルコトヲ指摘シ我
方態度ハ一ニ支那當局ノ排日取締實行程度ノ如何ニ依リ左
右セラルル次第ナルニ付此ノ上トモ折角盡力アリタキ旨市
長ヘ傳達アリタキ旨應酬シ置キタリ
轉電及轉報先冒頭往電ノ通

748 昭和7年8月27日 在青島堀總領事代理より
内田外務大臣宛

青島において活動を開始した血魂除奸団の状
況について

機密第四六一號 (9月6日接受)

昭和七年八月廿七日

在青島

總領事代理領事 堀 公一(印)

者ノ彈壓ヲ請ヒ居ルモ毛ハ宣傳ニ依リ自發的ニ輸入ヲ停止
セシムルノ外無ク軍隊ハ掃共ノ外之等商人ヲ彈壓スルノ權
限無シトテ体ヨク撥附ケ居ル趣ナリ
支、上海、南京、北平、奉天、福州、廣東、汕頭ヘ轉電セ
リ

747 昭和7年8月26日 在上海村井總領事より
内田外務大臣宛(電報)

吳上海市長が日本側の刺戟的行動差控えを要
求について

上海 8月26日後發
本省 8月26日後着

第九五三號
往電第九三一號ニ關シ

二十六日殷汝耕吳市長ノ命ニ依ル趣ヲ以テ本官ヲ來訪シ吳
市長ハ市商會新聞關係者其他ヲ招致シ排日運動阻止方ニ付
戒告シ今後從來ノ如キ宣傳等ヲ爲サシメサルコトトシ又除
奸團ニ付テモ嚴重取締リ租界當局ヲモ幫助シ居リ現ニ二十
五日開催ノ救國聯合會全國大會(往電第九五一號)取締方ニ

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

血魂除奸團ノ狀況ニ關スル件

血魂除奸團ハ最近當地ニモ其策動ヲ開始セル處狀況大要左
ノ如シ

一活動狀況

七月末ヨリ八月初旬ニ亘リ當地漢字紙及大商店ハ數回ニ
亘リ上海本團本部ヨリ日貨ヲ購フヘカラス違反者ニハ制
裁ヲ加フトノ脅迫的宣言書ノ郵送ヲ受ケタル事實アリ同
團ノ青島進出ヲ思ハシメタルカ本月十五日頃ニ至リ上海
本部ヨリ團員二名來青當地國貨運動會委員周大告當地ニ
於ケル排日ノ巨頭張樂古(白話報主筆)及青島通訊社長趙
姓如等ト連絡ヲトリ除奸團青島支部ノ設置ヲ目論ミツツ
アル模様ナリ

當地ニ於ケル現狀ハ以上ノ如クニシテ傳單配布等ノ外未
タ具體的活動ノ事實ナク支那商人モ幾分ノ不安ハ抱キ居
レルモ取引ヲ停止スルカ如キ程度ニハ至ラサルモ唯タ本
月十九日沿線城陽ニ於テ本團員ヲシキ一青年カ其懷中セ
シ爆彈ノタメ誤テ爆死セシ事實ハ同團活動ノ具體化ヲ思
ハシメ一般支那人ニ相當大ナル衝動ヲ與ヘタルモノノ如

シ
三、市政府ノ取締方針
我方ニ於テハ再三口頭ヲ以テ市政府ニ對シ本團活動ノ防
壓方ヲ要求シタル處市政ニ於テハ絶対活動セシメム旨声
明スルト共ニ海軍糾察隊及公安局ニ命シ切實ニ彈壓ニ當
ラシメツツアリ

三、市商會ノ態度
青島市商會ハ本月廿二日委員會ヲ開催國貨提唱ヲ議決シ
其ノ實行方ヲ各方面ニ書面ヲ以テ勸告セルカ右ハ除奸團
ノ要求ニ對スル同商會ノ立場ヲ救フノ策ニ過キササルモノ
ト觀測サレツツアリ
右報告ス
本信寫送付先
公使 上海 南京 北平 天津 濟南 漢口 芝罘

749 昭和7年9月3日 在中国横竹大使館商務參事官より
内田外務大臣宛(電報)

本邦商品の新規商談は見送られ現状のまま推移
すれば年内の景況打開は困難との認識について

算ヲ控へ問屋筋對奧地賣掛代金回收非常ニ不良ノ模様ニテ
新規商談ハ全ク見送ラレ勝

他方排日暴力團禁止ニ關スル市長ノ布告ハ去ル一日發表セ
ラレ成行觀望中ナル處目下ノ處左程市場ニ好反響無シ

(四)輸出方面、最近ノ銀高ニテ葉付菜種粕ニ買氣有リ關西、
關東市場ニ八、九月積阪神沖ノ二圓五十錢乃至三圓三、四
十錢ニテ五萬梱ノ手合セラ見ルノ外鹿兒島方面ニモ一萬梱
内外ノ商談成立シ氣配手堅ク其他菜種及葉無シ菜種粕及菜
種ニ夫々一萬袋内外ノ手合セ有リ麩ニ弗々小口ノ手合セ有
ルモ棉實粕、胡麻豆類ハ產地高ノ内地安ニテ見送ラレ閑散
(五)當地工業ニ關シ排日、國貨提唱等ニテ支那人側ニ好況ナ
ルヤニ思フ向モ有ルカ「セメント」紡績、石鹼、味之素等

稍々好調、製粉、齒刷子半分位操業セルヲ除キ燐寸珪瑯鐵
器、護謨靴等六割以上操短シ化粧品、罐詰等殆ト全休ノ姿
ニテ資金難ヲ訴へ居リ製絲八割方操短再ヒ政府ニ三百萬弗
ノ救済公債發行ヲ運動中ナル有様ニテ不振ヲ極メ新規企業
皆無
邦人側ハ紡績荷捌ケ半分位、原料高ノ製品安ニテ採算割レ
其他主要工場二十軒中現在紡績關係材料、莫大小、鐵鋼、

上海 9月3日後発
本省 9月3日後着

商第六二號

(一)支那側金融ハ新綿及秋繭弗々出初メ又二百十日モ無事ニ
越シ秋作一般ニ豐收ノ期待濃厚ニテ弗銀需要少シク起リ六
十九兩ト小高ヲ示シ居ルモ在銀二億七千萬弗及一億萬兩ト
依然増加傾向ニ變リ無ク且ツ兌換券ハ發行税一分一厘五毛
徵收方當局ト銀行團間略々話纏リタル雲行ニ各銀行共最近
發行額引締メノ模様ナリ
中秋決算ヲ控へ銀行錢莊共同收頗ル困難ニテ市中二、三錢
莊破綻ニ瀕シ居リ金利日歩一仙安唱へ乍ラ貸出ハ極度ニ警
戒サレ商工業資金頗ル逼迫セリ
(二)公債市場關稅九月二十五弗〇五編遣現物ハ終ニ二十五弗
ヲ割リ九十仙唱へ取組高平常ノ五分ノ一位ニ細リ其他綿
絲、雜穀、株式等定期モ取引減少ニテ淋レ手數料引上ヲ目
論見ル者有リ、
爲替大連筋仕手一服後不透明、對日七十二兩内外ト釘付ケ、
銀塊安氣配ニテ標金七百十兩ト反撥
(三)輸入本邦品、綿布、砂糖、紙、石炭何レモ閑散、節季決
ケ居リ
印刷等四十餘軒カ切詰メ運轉セル外殆ト事變以來休業ヲ續
ケ居リ
(六)又外國商品ノ排日當約定例へハ毛織物、綿織物、洋紙其
他雜品滯貨約六千萬元ト稱セラレ支那側ノ金融難ヨリシテ
受渡シ進マヌ手ヲ燒ケル向多シ
(七)要スルニ事變後六月ヨリ七月ニ亘リ稍々好轉ヲ示セシ當
地商況ハ七月中頃排日暴行團ノ躍興以來氣勢崩レ中秋節ノ
接近ト共ニ時局成行懸念、反政府運動ノ抬頭等惡材料多ク
秋作概シテ良好ナル事モ餘リ效果無ク不況深刻味ヲ加へ居
リ現状ノ儘推移セハ少ク共年内ハ景況打開ノ見込無キカ如
シ

750 昭和7年9月10日 在漢口坂根總領事より
内田外務大臣宛(電報)

日清汽船上海・漢口間航路への補助継続方意

見具申
付 記 九月八日付深尾(隆太郎)日清汽船株式会社社
長より内田外務大臣宛請願書
日貨排斥による業績悪化に鑑み二隻備船の繼

漢口 9月10日後発
本省 9月10日後着

第五九四號

現在日清汽船ニテハ御用船制度廢止以來外務省ヨリ補助ヲ受ケ居ル汽船二隻海軍省ヨリ補助ヲ受ケ居ル汽船一隻都合三隻ヲ上海漢口船ニ配シ居ル處上流地方一帯ニ於ケル排日未夕終熄セサル爲毎航輸入貨物ハ當地宛ノモノ平均六七百噸輸出貨物ハ平均二三百噸程度ニテ採算採レズ僅カニ補助金ヲ以テ損失ヲ填補シ居ル現狀ナルカ九一八記念日其他聯盟總會前後ニ於ケル排日風潮ノ惡化モ豫想セラレ居ル此際急ニ同社ノ經營狀態緩和スヘシトモ思料セラレサルニ付少クトモ十月乃至十二月中モ是非從來通り補助ヲ繼行セラレ前記三隻ヲ以テ當地、上海間ノ汽船聯絡ヲ確保セラルル様何分ノ御高配ヲ乞フ
上海へ轉電セリ

(付記)

昭和七年九月八日

是等暴力團ハ何レモ支那工廠側ノ後援アリ資金比較的豊富ナルモノ、如ク既ニ上海ヨリ是ガ強化擴張運動ノタメ各地ニ派遣セラレタルモノ二百余名ト稱セラル、アリ加フルニ近ク滿洲國承認ノ決行セラル、アランカ近キ將來ニ於テ是ガ終熄ハ到底豫測シ難ク弊社ノ支那人荷物獲得ハ絶望ナルノミナラズ日貨ノ異動亦悲觀ノ外無之候
長江流域ノ豊富ナル物資ト輸入日貨ヲ基調トセル弊社ニ於テ支那人荷物獲得ノ望ナク日貨ノ輸入阻害セラル、ニ至ラバ是ガ營業如何トモ立チ行クノ理ナク今日官邊多大ノ御庇護ニヨリ辛フジテ運行ヲ繼續セル數隻ノ船舶モ一朝自營運行ノコト、モナランカ遂ニハ其力ナキニ至ルヲ憂慮罷在候
次第二御座候

就テハ現在御借上相願居候御用船二隻ノ義弊社業績幾分ナリトモ好轉候曉迄備船御繼續方特別ヲ以テ御詮義相蒙度此段奉願上候也

(欄外記入)

滿洲國承認ノ影響ニ依リテハ上流居留民保護ノ必要上借上使
用繼續ノ已ム無キニ至ル場合起ルヘシ暫ラク形勢觀望ノ上決

社長 男爵 深尾 隆太郎
外務大臣伯爵 内田 康哉殿
御 願

(欄外記入)

支那ニ於ケル反日排貨運動ハ殆ト連年其發生ヲ見ザルコトナク然モ年ヲ加フルニ從ヒ手段方法巧妙惡辣トナリ長江及支那沿岸ヲ唯一ノ營業地トナセル弊社ノ如キハ是ガ影響尤モ甚大ニシテ爲ニ昭和四年以來每期多額ノ欠損ヲ重ネ居ル窮狀ニ有之候
然ルニ昨年九月滿洲事變ヲ契機トシテ擡頭セル抗日運動ハ須臾ニシテ全支ニ彌漫シ本春上海事變ノ勃發ヲ見ルニ及ビ遂ニ全船停航ノ悲境ニ沈淪スルノ止ムナキニ立至リ申候
其後幸ヒ貴省及海軍省御用船借上ノ恩命ニ浴セルノミナラズ監督官廳ヨリ不一方御支持ヲ蒙リタルト弊社又銳意經費節約ト積荷獲得ニ努力ノ結果漸ク前途多少ノ曙光ヲ認ムルニ至リシガ未ダ^(未ダ)愁眉ヲ開クニ暇ナク這般ノ熱河問題ヲ機縁トセル血魂除奸團其他各種暴力團ノ出現横行ハ各地日本關係商人ヲ極度ニ震駭畏懼セシメ弊社積荷ハ俄然再ビ激減シ業績ノ好轉亦期シ難キ情勢ニ陥リ申候

定ヲ可トスヘシ

(過日米日清ヨリ主管課ニ対シ再三同一ノ陳情アリタルモ予算上困難ナル旨説示シ置ケリ)

751 昭和7年9月14日 在漢口高井總領事代理より
内田外務大臣宛(電報)

日本租界へ逃亡の共産黨員一名楊警備司令に
引渡しについて

漢口 9月14日後発
本省 9月15日前着

第六〇七號

九、一八記念日前後ニ於ケル當地治安維持ニ關シ當地官憲カ極メテ緊張シ種々手配シ居ル次第ハ往電第六〇一號ノ通ナル處昨十三日駐鄂綏靖主任何成濬ハ警備司令楊杰ニ對シ民衆ノ集會結社遊行及講演等ハ時節柄一切禁止スヘキ旨嚴命シ楊ハ直ニ武漢各警備責任者ヲ招集シ明十五日ヨリ特別戒嚴令ヲ布キ特ニ日本租界ノ周圍ニハ日夜警戒員ヲ派シ不良分子ヲ取締ルヘキ旨命シタル趣ナリ尙蔣介石ハ昨十三日楊司令ヲ招致シ當地潛入ノ共產黨員全部ヲ逮捕スヘキ旨嚴

命シタル趣ニシテ楊ハ本十四日本官ヲ來訪昨夜日本租界ニ逃亡シタル女共產黨員一名ノ引渡方ヲ申入レタルニ依リ取調ノ上引渡シタル處楊ハ之ニテ蔣司令ニ對スル申譯モ立ツコトトナレリトテ泣イテ感泣シ日本租界及在留日本人ノ安全ハ誓ツテ保障スヘキニ付安心アリタシト繰返シ述ヘタリ又蔣介石ハ最近當地支那新聞カ我滿洲國承認ニ對シ種々虛^稱溝ノ報道ヲ爲シ又ハ激越ナル論調ヲ揭ケツツアル事實ニ付テハ楊司令ノ報告ニ接シ剿匪總司令部秘書處ヲシテ新聞審查處ヲ設置セシメ十五日以降一切ノ新聞雜誌等ハ凡テ發刊五時間前ニ其審査ヲ受ケシムルコトトスヘキ旨命シタル趣ナリ

752 昭和7年9月14日 在九江西田領事館事務代理より
内田外務大臣宛(電報)

救国除奸団員による日貨取扱商射殺事件勃発
こころ

九 九 9月14日後発
本省 9月15日前着

第一一三號

警告について

機密第一七二號

(9月29日接受)

昭和七年九月十七日

在長沙

領事 糟谷 廉二(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

中國血魂鋤奸團ノ行動ニ關スル件

最近上海及漢口等各地ニ跋扈セル中國血魂鋤奸團ハ當地ニモ秘密裡ニ行動ヲ開始セルモノノ如ク本月十五日湖南省商界聯合會ハ省内各縣市商會ニ對シ中國血魂鋤奸團長沙支部ヨリ受ケタル警告ヲ傳達シタル趣ナリ右警告文ノ内容ハ日本ノ東北侵略ニ對シ經濟絶交ヲ以テ抵抗スヘキハ中國各界既定ノ方針ナルニモ不拘一部不逞ノ商民中ニハ私利ヲ營ムニ吸^吸々トシテ竊ニ日貨ノ取引ヲ行フモノ間々有之ハ遺憾トスル處ナリ本團ハ對日經濟絶交ノ貫徹ヲ期スル爲ニハ常ニ公明正大ナル態度ヲ執リ日貨取扱ノ商人ニ對シテハ最モ嚴重ナル手段ヲ以テ之ニ制裁ヲ加フルヲ信條トシ敢テ死ヲ^賭シテモ斷行スルノ決意ヲ有ス湖南各商民ハ宜シク本團ノ精神ヲ贊助シ將來日貨ノ取引ヲ絶滅セシメ以テ國難ノ打開

昨十三日湖南省ノ一支那商店ニ救國除奸團員三名入來シ物品ヲ購入スルカ如ク見セ^マ話ケ店主ヲ拳銃ニテ射殺シ其儘何レカへ逃亡セル事件アリ警備司令部及公安局ニ於テハ直ニ手配シ探査シタルモ未タ捕縛スルニ至ラサル模様ナルカ右除奸團ハ各新聞社ニ對シ今後仇貨ノ取引ヲナスモノハ同様ノ手段ニ依リ處罰スヘキ旨ノ書翰ヲ送致セル趣ナリ當館ニ於テハ右情報接到後直ニ當局者ニ對シ嚴重ナル取締ヲ要求シタルカ警戒嚴密ナル同地ニ於テ斯カル不祥事ヲ見タルハ内外人士ノ等シク意外トスル處ニシテ支那側當局者ニ於テモ亦鮮カラス狼狽ノ氣配アリ
目下極力搜索中ナルカ本件ハ時節柄共產黨員ノ策動ニ依ルモノト見ラレ同團今後ノ活動振りハ一般ヨリ鮮カラス注目セラレツツアリ
支ヨリ上海へ轉報アリタシ
支、漢口、南京へ轉電セリ

753 昭和7年9月17日 在長沙糟谷領事より
内田外務大臣宛

血魂鋤奸團長沙支部の行動に關し何鍵主席に

ニ努メンコトヲ望ム云々トノ意味ヲ認メタリ依テ本官ハ昨十六日他用ヲ以テ何鍵往訪ノ際本件ニ言及シ長沙支部ノ存否ヲ糺シ且漢口等ニ於ケル鋤奸團ノ不法極マル跳梁振並之カ組成^マ份子中ニハ多數ノ共產主義者ヲ混入シ漫然放任シ置クトキハ憂慮スヘキ事態ヲ惹起スヘキ虞アル旨ヲ指摘シ注意ヲ喚起シタル處何ハ該鋤奸團カ果シテ長沙ニ支部ヲ設ケタルヤ否ヤハ未タ確證ヲ得サルモ同團ハ秘密結社ニシテ湖南ニハ一切秘密結社ノ存在ヲ許ササルニ付萬一同團カ當地ニ潛入シタル事實アラハ徹底的取締ヲ加フヘキハ勿論ノコトニ付十分安心アリ度旨答ヘタリ
右何等御參考迄報告申進ス

本信送附先

公使 北平 上海 南京 漢口 九江

754 昭和7年9月20日 在漢口高井總領事代理より
内田外務大臣宛

蔣介石による漢口諸新聞に対する排日記事取締り指示について

普通第七四六號

(接受日不明)

昭和七年九月二十日

在漢口

總領事 高井 末彦

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

總司令部ノ排日記事取締ニ關スル件

當地漢字新聞ハ對日問題ニ關シ從來屢々虚構ノ報道ヲナシ殊ニ先般血魂除奸團ノ暴行頻出セル際ノ如キ將又我滿洲國承認前ノ如キ各紙舉ツテ何レモ激越ナル論調ノ社説ヲ掲ケ或ハ殊更ニ大袈裟ナル報導ヲ爲シテ讀者ノ對日惡感ヲ刺戟挑發スルニ努メタル爲本月十二日本官ヨリ武漢警備司令葉逢ニ警告ヲ發シ特ニ我滿洲國承認前後ニ於ケル新聞記事タルニ葉司令モ其ノ弊害ヲ認メ早速之カ取締ヲ約スルト共ニ三省剿匪總司令蔣介石ニ對シ事情ヲ報告シ取締辦法攻究方稟請セル結果蔣介石ハ總司令部秘書處ヲシテ新聞審査所ヲ設置セシメタルカ同審査所所屬ノ審査總參謀ハ九月十五日ヨリ一齊ニ各新聞ノ檢閲ヲ行フコトトナリ各新聞ハ發行五時間前ニ原稿ヲ右審査所ニ提出方ノ通令ヲ受タリ右ノ結果當地有力漢字紙ノ停刊ヲ命セラレタルモノ續出セルカ其ノ二、三ノ例ヲ舉クレハ(一)漢口中西報ハ十五日ヨリ

三日間(二)十五日ヨリ漢口公論日報ハ一週間(三)時代日報ハ十五日ヨリ十日間又(四)導群新聞社ハ十五日ヨリ二週間夫々發刊ヲ禁止セラレタルカ當地ニ於テ漢字紙カ排外記事若ハ國交ニ害アル記事ヲ掲載シタル廉ニ依リ停刊ヲ命セラレタルハ未曾有ノコトニ屬スル趣ニシテ一部新聞公會所屬記者間ニハ相當反對氣勢ヲ舉ケタル由ナルモ當局ハ「國難ノ此際共匪超梁^(號カ)シ當地官民舉ツテ剿匪ニ當ルヘキ時期ニ際シ新聞カ人心ヲ刺戟スルカ如キ報道ヲ爲スコトハ地方ノ治安ヲ害シ延テハ共匪ノ乘スル所トナル虞アルニ付對日問題ハ中央ノ交渉ニ俟チ徒ニ民衆ノ盲動ヲ誘致スルカ如キ記事ヲ登載スヘカラス」トノ趣旨ノ高壓的命令書ヲ新聞公會ニ送付シ反對論ヲ押フル所アリタリ

右報告ス

本信寫送付先、

公使、北平、上海、天津、奉天、青島、濟南、廣東、
南京、福州、長沙、九江、宜昌、
武藤大使、

755 昭和七年九月二十日

林閣東庁警務局長より
有田外務次官他宛

上海における日中官憲の排日をめぐる交渉振りに関する情報について

(9月26日接受)

關機高支第一七六一八號

昭和七年九月二十日

關東廳警務局長

拓務 次 官 殿
内閣書記官長 殿
外 務 次 官 殿
内務省 警保局長 殿
指定廳 府縣長官 殿
管下各 警察署長 殿

排日問題ニ關スル中日官憲ノ應酬大要

(滿鐵情報)

日華停戰協定調印後支那側カ或ハ保安隊ト稱シ憲兵ト稱シ漸次軍隊ヲ上海附近ニ集結シ現ニ駐屯シ居ルモノ南市方面ニ約三千間北江灣一帶ニ五六千ト見ラレテ居ル我官憲ニ於テハ右ハ明ニ停戰協定ニ對スル違反行爲ト看

做^(做カ)シ八月上旬共同委員會主席米國總領事カンニンガム氏ヲ

通シ中國側ニ交渉ヲ爲ス處^(處カ)アツタカ中國側ヨリ折返シ大部隊ノ増派云々ハ事實ニ相違スル旨回答シ來レルカ上海市政府當局ハ此間ノ事情ニ關シ左ノ如キ談話ヲ發表シテ居ル

「當市政府ノ保安處ハ省保安處ノ夫ニ倣ヒ地方治安維持ノ爲ニ保安隊ヲ組織シテ警察力ノ不足ヲ償ハムトスルモノニ外ナラス然ルニ日本側ハ事實ヲ誇張シテ市政府ノ停戰協定違反ヲ云々且該保安隊カ追撃砲野砲等ヲ備ヘ其ノ人數モ一萬以上ヲ算スルトテ共同委員會ヲ通シテ抗議ヲ提出シテ來タ依テ吳市長ハ該保安處ノ組織ハ中國政府カ地方ノ治安ヲ維持スル爲ニ設ケラレタモノテ停戰協定トハ絕對ニ關係ナク之ヲ以テ協定違反ヲ云々スル謂レナキ旨回答シタ又大砲ノ有無ニ至ツテハ市政府ノ自由ニシテ何モ日本側カラ文句ヲ謂ハレル筋合ノモノテハナイ」

更ニ八月十六日吳市長ハ中國新聞記者トノ會見ノ席上

「日貨排斥運動ニ就テハ職掌柄詳細ナ論議ヲ爲コトハ出來ヌカ同運動カ益強化シツツアルコト竝完全ニ合法的ニ行ハレテ居ルコトハ事實テアル」

ト前提シ記者團ト次ノ如キ問答ヲシテ居ル

問 日貨排斥ニ關シ日本側カラ抗議ヲ受ケタカ
未タ接受セス

問 抗議ノアツタ場合ハ如何スルカ

答 將來ノ事ハ何トモ謂ヘヌ

問 貴下ハ日貨排斥運動ヲ支持スルカ

答 市長トシテ明言ハ出來ヌ併シ上海事變後復活シタ日貨排斥運動ニ就テハ未タ一回モ日貨沒收ノ事實カナイ日貨ヲ不法ニ沒收スルモノカアレハ市政府テモ取締ル

問 日本側ノ見解ニ依レハ日貨排斥ニ依ル損失ハ日華雙方共同程度デアルト謂フ

貴見如何

答 中國民自身ニモ損失ノアルコトハ疑フ答レヌカ同程度トハ思ハヌ

問 日貨排斥ハ合法的ナリヤ

答 法律ノ許ス範圍内テ行ハレル限り合法的武器デアル現在ノ様ニ行ハレルナラハ日本人ハ困ルカモ知レヌカ正式行爲又ハ敵對行爲ヲ取ル理由トハナラナイ

以上ノ如ク吳市長ハ血魂除奸團ノ暴行ヲ始メ凡ユル排日抗日行爲ヲ目シテ合法的行爲ナリト公言シテ憚ラサルノミナ

他人ニ藉口サレ易イカラトノミテ一言モ其ノ行動ノ禁止ニ關シテハ言及シテ居ナイノミナラス逆捻の二村井總領事ニ對シ日本陸戰隊數十名カ鐵甲車十數輛ニ乗テ江灣路体育會路一帶ヲ示威遊行セルハ主權侵害モ甚シイ旨ノ抗議ヲ提出シ來ツタカ村井總領事ハ右ニ對シ二十三日

「日本陸戰隊ハ停戰協定ノ定ムル處ニヨリ越界示威ヲ爲セルカ如キ事實ハ全然ナイカ陸戰隊ハ開北撤退ニ際シ撤退後開北ノ視察ニ當ツテハ其都度中國側ニ通報ノ上實行スルコトニ相互ノ諒解成立シ日本側ハ誠實ニ之ヲ履行シツツアルニモ拘ラス中國側ハ是等見學視察ニ對シ疑惑ノ眼ヲ以テ迎ヘ殊ニ通信新聞記者等ハ是等無武裝兵ノ通行ヲ目シテ中國主權侵害行爲トナシ無稽ノ宣傳ヲナシツツアリ貴國側抗議文記載ノ各項ニ就テ見ルニ第一項ハ陸戰隊員カ中國側當局ニ明瞭ニ通告ノ上開北八字橋方面ノ戰跡見學ニ赴ケル事實ヲ附近ノ巡警カ示威ト誤認シタモノデアリ第二項ハ事實中國側當局ニ通知ノ上實行セラレタル第三艦隊司令長官ノ吳松視察ノ際休憩用具ヲ運搬シタノヲ示威ト誤認シタモノテ第三第四項ハ全然事實無根デアル日本側ハ停戰協定ノ嚴重ニ履行シ猥リニ中國街ニ立入ルカ如キ事ハ絕對ニナク必要

ラス公安隊カ大砲ヲ備フル備サルハ市政府ノ自由デアルト放言スルニ至ツテハ到底無事ニ治マルトハ思ハレス此儘放置スル時ハ何時如何ナル重大事カ勃發スルヤモ計リ難ト爲シ旁杉坂陸戰隊司令官ノ中國新聞ノ捏造記事ニ對スル抗議申込モアリ十六日遂ニ村井總領事ハ吳市長ニ對シ排日取締ニ關スル嚴重ナル抗議文ヲ手交其反省ヲ促ス處アツタ右ニ對シ十七日吳市長ハ中國紙記事ニ對シ

「村井總領事ノ抗議ニ對シ自分ハ若不法行爲アレハ市政府カ自發的ニ取締ルカ民衆運動カ合法手段デアル限り取締リ難イト答ヘテ置イタ正式回答ハ目下考慮中デアルカ國人ノ愛國運動ハ須ラク秩序的デアルヘキテ感情ニ激シ問題ヲ起シ政府ヲ困ラシテハナラヌ云々」

ト發表シ更ニ同日市政府ニ中國新聞社ノ代表者ヲ招致シテ「日貨排斥ハ愛國抗日ノ精神ニ由來スルモノデアルカ往々ニシテ越軌の行爲アルハ法治國ノ体面ニ係ル處デアル且新聞ニ公然ト報道サレテハ他人ニ藉口サレ易イカラ今後ハ過激ニ巨ル排日記事就中血魂除奸團ニ關スル消息ハ掲載ヲ禁止スル」

旨ヲ申渡シテ居ルカ只單ニ抗日行動ヲ新聞ニ發表サレテハ

ノ場合ハ中國側ニ通告シツツアリ越界示威ノ事實ハ全然ナイカスル誤報ヲ爲ス貴國通信記者ノ報道竝誤認ノ事宜ヲ其儘上司ニ報告スルカ如キコトニ對シテハ特ニ注意サレムコトヲ要求スル」

ト回答スルト共ニ支那側ノ惡宣傳ニ對シテ中國當局ノ注意ヲ喚起スル處アツタ

然ルニ中國側ハ右ニ對シテハ勿論ノ事十七日ノ正式抗議ニ對シテモ依然公文書ヲ以テ回答ヲナス處ナク二十六日市政府參事殷汝耕ヲシテ村井總領事ニ對シ口答ヲ以テ非公式ニ中國側當局ノ意嚮ヲ傳ヘシメタニスキス

以上ノ如ク支那側官憲ノ不誠意ハ市商會ヲ始メトシ益積極的ニ抗日運動ニ拍車ヲカクルノ結果ヲ招來シツツアリ加之番ニ中國側一般商民間ニノミナラス日本居留民間ニ迄近ク上海事變ノ二ノ舞ヲ演スルニ至ルヘシノ流言蜚語頻ニ傳ヘラレ開北方面ハ勿論ノ事北四川路江灣路方面居住ノ支那人中ニハ早くモ避難スル者連日絶エス日本人中ニモ支那街附近ニ居住スルモノノ中ニハ小兒ヲ租界内ニ移シ荷造リヲ開始セル者少カラス殊ニ日本ノ滿洲國承認ヲ期トシテ抗日運動ハ一層猛烈トナルヘシトノ豫測一般ニ行ハレツツアリ目

下ノ狀況ハ恰モ一、二八以前ノ夫ニ髣髴タルモノアリ殊ニ第三艦隊ノ上海集中説ハ彌カ上ニモ兩國民心ヲ刺戟シツツアルニ鑑ミ杉坂司令官ハ二十七日左ノ如キ聲明書ヲ發表スルニ至ツタ

聲明

昨今開北、北四川路方面ノ中國人ニシテ近ク事變勃發スヘシト謂フ謠言ニ脅サレ移轉スル者多キ由ナルカ一部邦人間ニ於テモ漫然此種ノ流言ヲ信シ居ルモノノ如ク雙方トモニ危惧ヲ抱イテ居ルモノテハナイカト思フ由來上海ノ恒久平和ノ爲ニ常ニ多大ノ犠牲ヲ拂ツテ居ル日本側トシテハ決シテ事變ヲ惹起セムトスル意思ナキハ勿論テ畢竟スルニ是中國側ノ血魂除奸團ノ陰謀團カ天地ノ公道ニ悖レル自己ノ行動ニ良心ノ苛責ヲ覺ヘテ自分ノ影ニ怯エテ居ル爲ニ生セル結果ニ外ナラナイ今二十七日午前公安局第五區總署ヨリ歐陽鴻氏カ陸戰隊司令部ニ來訪シテ之ニ關シ種々陳情スル處カアツタカ幕僚ヨリ中國側ノ嚴重ナル排日取締ノミニ依リテ事件ノ發生ハ防止シ得ルモノテアルコトヲ説明シ公安局側ト確實ニ握手シテ極力事件ノ發生ヲ取締タキ希望ヲ述ヘタ茲ニ再ヒ事變ノ發生ヲ見ルコトカ日華兩國間殊ニ上海地

日貨排斥狀況報告ノ件

日貨排斥ノ推移ニ付テハ其都度電報ヲ以テ報告ノ次第アル處右電報ニ於テ言及セザリシ事件ヲ主トシ九月七日ノ耳切リ事件以後九月二十四日迄ニ起リタル日貨排斥工作左ノ通略報ス

一、城内閩侯縣綢布業同業公會ハ曩ニ耳切リ事件ヲ敢行セル福州市救國鐵血團ヨリ警告第一號郵送アリタル趣ヲ以テ其全文ヲ掲ケタル通告書ヲ作製シ本月十四日各棉布商ニ配布セリ(別添甲號)

二、十六日午後八時頃藤山救火會ハ支那雜貨商和生號ニ至リ日貨取扱者ハ賣國奴ナリト稱シ店内ノ雜貨及電球ヲ破壊シ約二百元ノ損害ヲ與ヘ引揚ケタリ

三、十七日午前十時半頃學生風ノ一團(約二十名)市内ヲ遊行シ巷頭街永久洋行(支那人魏敦明ノ内縁ノ妻坂本ハナ名義ノ雜貨商)前ニ差掛ルヤ突然店内ニ這入り陳列ノ玉子、貝柱、バナナ、干鳥賊干鱈等(價格約六十元)ヲ大道ニ抛出シテ踏ツケ引揚ケタルカ更ニ附近ノ支那電球商瑞順號、呉服商天興號及棉布商百合號ニ於テモ同様ノ暴行ヲ働キタリ(永久洋行カ邦人名義ノモノタルヲ知りテ暴行

方ノ中國良民ニ如何ナル利益ヲ齎ステアラウト云フコトハ説明ノ要ハナイ唯日本側トシテハ正義人道ヲ無視セル中國側ノ陰謀ニ對シテ極度ノ忍耐ヲ爲シ得ルモノテナイ事ハ中國側モ十分諒解シテ居ル事ト思フ吾人ハ亂サムカ爲ニ蠢動シツツアル者ヲ取締ラスシテ徒ニ事件ノ發生ヲ虞ルル中國側ノ眞意ヲ疑フモノテアル但シ在留邦人ハ決シテ種々ノ流言ニ迷フコトナク其ノ業務ニ勵マレタイ萬一如何ナル事件アルモ海ニハ第三艦隊ノ精銳アリ陸戰隊ノ實力ハ戰前二十倍スルモノカアルカラビクビクスル必要ハナイ正義ニ立脚シテ大道ヲ濶歩スヘキテアル

以上

756 昭和7年9月26日

在福州守屋總領事ヨリ
内田外務大臣宛

日貨排斥の一般的狀況について

機密第二五九號

(接受日不明)

昭和七年九月二十六日

在福州總領事 守屋 和郎

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

シタルモノナルヤ否ヤ不明ナリシモ直ニ省政府魏外交主任ニ注意ヲ喚起セル處十七日夜所轄支那警察署ハ永久洋行ニ對シ三十元ヲ支拂ヒタリ

四、福州青年救國誅奸團ト稱スルモノ本月中旬市内ニ大要左ノ如キ趣旨ノ佈告様ノ印刷物ヲ撒布セリ

「本團ノ目的ハ奸商ヲ懲罰スルニ在リ劉水惠ヲ殺シタル當時ハ奸商モ影ヲ潜メタルカ最近劣貨ハ市場ニ充滿シ奸商ハ莫大ノ利益ヲ收メツツアリ本團ハ金錢主義ニ非ラス之等奸商ヲ撲滅セントスルモノナリ同業者ノ内ニ冷血漢アルトキハ速ニ本團ニ密告セラレヨ直ニ處分スヘシ」(別紙乙號)

五、二十日午後九時頃藉民雜貨商春隆洋行カ藉民商泰隆洋行ヨリ仕入レタル「セメント」二十四俵ヲ荷車ニテ城内ヘ運搬ノ途中一團ノ學生風ノ者ニ阻止サレタルカ車夫ハ日商ノ商品ナル旨ヲ説明シ附近ノ巡警ノ仲裁ニテ漸ク通行ヲ許サレ無事歸店セリ

六、縣商會ハ九月十七、八日頃省黨部ヨリノ強要ニ依リ石炭商、綿布商其ノ他二日貨ハ九月二十六日以前ニ處分シ爾後八日貨ヲ取扱ハサル様態遵セリ右ニ關聯シ二十日午後

一時頃趙鴻志ナル者ノ宅ニ支那石炭商十數名集合シ司會者馬五妹(石炭商)ヨリ手持臺灣炭ハ本月二十六日迄ニ處分スルコト且今後絶對ニ日貨ヲ取引セサル旨ノ誓約書ヲ差出スヘキコトヲ提案シ各自大體之ニ贊同セル模様ナリ(本件ハ省政府ニ取締方要求セル處直ニ公安局ニ嚴重取締方命令セリ)又棉布業者モ九月二十四日協議會ヲ開キ各商ヨリ永遠ニ日貨ヲ買ハス又賣ラサル旨ノ請書提出方ニ關スル縣商會ヨリノ照會ニ付意見交換ヲ行ヘリ誓約書提出ニ付テハ議確定ニ至ラサルモ其ノ他ニ付テ意見纏マレルモノノ如シ。

七、大阪商船會社ト特別雇傭關係ニ在ル林雪々ハ九月二十四日午後一時頃四名(内二名ハ拳銃ヲ所持ス)ノ無賴漢ノ訪問ヲ受ケタルカ逸早く裏門ヨリ逃走シ事無キヲ得タリ林ハ昨年十一月日貨排斥ノ際市中引廻シニ會ヒ且ツ多額ノ罰金ヲ課セラレタル上拘留約一月ニシテ釋放セラレタルモノニシテ大阪商船ニ於テハ林ノ再ヒ脅迫セラルルカ如キコトアラハ舢舨舟全體ニ大影響ヲ與ヘ由々數キコトトナルヘシト考ヘ林ヲ東來閣(舢舨舟周旋業者山口安郎)ニ保護スルコトトセリ本件ニ付本官ヨリ省政府ニ交渉ノ次第ハ

樞邊リヲ動カシ陳ヨリ福州方面ニ於ケル過激ナル日貨排斥ハ徒ニ日本人及臺灣人ヲ刺戟シ延ヒテハ不祥事件ヲ惹起スルノ惧アリ等ノ趣旨ヲ蔣光鼐ニ説示セシメ蔣ヲシテ當地不良分子(過半ハ上海ヨリ來レル者ノ如シ)ノ活動ヲ阻止セシムル様仕向クルモ一策カト存セラルルニ付若シ御異議無クハ貴方ニ於テ右趣旨ニ依リ陳銘樞又ハ楊樹莊ニ御折衝方御考慮ヲ得度シ
上海へ轉報アリ度シ
大臣、北平、南京、廣東、厦門へ轉電セリ

758 昭和7年10月7日 在漢口高井総領事代理より 内田外務大臣宛

武漢における排日貨風潮終熄と本邦品の輸入
激増について

普通第七九〇號 (接受日不明)

昭和七年十月七日

在漢口

總領事代理 高井 末彦 (印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

電報濟

本信寫送付先 在華公使 在滿大使 北平 上海 南京 漢口 奉天 天津 青島 廣東 厦門 (汕頭) 頭 香港 臺灣總督 馬公要港部

757 昭和7年10月3日 在福州守屋総領事より 内田外務大臣宛(電報)

十九路軍の後援を当てにした日貨排斥運動の阻止に陳銘樞利用について

福州 10月3日後発 本省 10月3日後着

第二四一號

本官發公使宛電報

第一六五號

本官發大臣宛電報第二四〇號ニ關シ

當地ニ於ケル日貨排斥ノ惡化ハ冒頭往電ニ述ヘタル通り方聲濤及林知淵一派力蔣光鼐ニ對抗シテ何等活動シ得サル現在ノ時局ニ乘シ不良分子カ十九路軍ノ後援ヲ當ニシテ跋扈シ居ル爲ナルコト疑無キ次第アリ然ル可キ方法ヲ以テ陳銘

武漢排日貨風潮終熄ト本邦品ノ輸入激増ニ關スル件 本件ニ關シ別紙ノ通り報告ス御査閱相成度シ 本信寫送付先、公使、在上海商務參事官、北平、上海、天津、青島、濟南、廣東、南京、福州、厦門、長沙、九江、宜昌、蕪湖、

(別紙)

昭和七年九月三十日調査

武漢排日貨風潮終熄ト本邦品ノ輸入激増

血魂鋤奸團ノ脅迫ニ怯ヘタル漢口市商會ハ漢口各同業公會ニ對シ八月十九日附ヲ以テ(一)外國品ヲ取扱フ商店ハ一週間内ニ自發的ニ日貨ヲ封鎖スルト共ニ其ノ種類數量ヲ當該同業公會ニ報告シ置キ以テ競賣ニ便スルコト(二)各商店ハ日貨封鎖後再ヒ日貨ヲ販賣セサル旨ヲ誓約スルコト(三)各商店ハ封鎖日貨ヲ競賣ニ附シタル後若シ隱匿シ秘ニ販賣シ又ハ商標ニ改換シ奇利ヲ博セント企圖シタルモノアラハ取調ノ上其ノ「人格的破産」ヲ宣告スルト共ニ「人情の往來」及一切ノ貨物取引ヲ停止スルコトノ三項ヲ通達スル所アリ次テ主ナル本邦品取扱業者タル綿糸、綿布、海産物、砂糖、靴

帽子洋雜貨、金物商ノ各同業公會ハ左記要旨ノ決議ヲ爲シタリ

一、日貨ノ既約定品ハ八月末迄ニ引取ヲ完了スルコト

二、新規取引ヲ停止スルコト

三、八月末日迄ニ賣盡シ得サル日貨ハ之ヲ封鎖シ其ノ數量ヲ各當該同業公會ニ報告スルコト

然ルニ血魂鋤奸團ノ關係支那商ニ對スル脅迫狀送付ハ尙ホ繼續セラルル外九、一八滿洲事變ノ紀念日等ヲ扣ヘ排日貨ノ一段ト激化ヲ懸念セラレタリ

他方武漢支那官憲ハ鋤奸團ニ對シ嚴重ナル彈壓ヲ加フルト共ニ九、一八紀念日前後ニ於テ周到ナル取締ヲ爲シタル爲鋤奸團ノ策動ハ全ク其ノ足跡ヲ絶ツニ至リ同時ニ支那商ノ日貨不取扱ノ聲明ハ皆無ナリ關係支那商ハ一流筋ノ一部カ依然形勢觀望ノ佛ニテ本邦品ノ新規取引ヲ手控ヘ或ハ本邦商社ヘノ出入ヲ見合セ居ル外其他ハ常態ニ恢復シ九月中旬來本邦品取引ハ異常ノ活氣ヲ呈シ同月中本邦品輸入額ハ左記ノ如ク前三個月分ニ相當スル巨額ニ達シ又邦商ノ對支那商本邦品荷渡シ益良化シ將來モ不時ノ事故ナキ限り好況繼續ノ見込ナリ之カ主ナル原因左ノ如シ

八月中 六〇〇、〇〇〇
九月中 一、一〇〇、〇〇〇

本年四月以降本邦商ノ對支那商綿糸、布荷渡額左ノ如シ

月	綿糸(上海製品)	綿布(約五割上海製品)	砂糖(本邦精糖)
四月	八〇	九〇〇	〇
五月	三七〇	二、〇〇〇	八、一〇〇
六月	六一〇	二、六〇〇	九、五〇〇
七月	一、五五〇	三、七〇〇	一五、〇〇〇
八月	三、〇〇〇	四、五〇〇	二一、〇〇〇
九月	二、〇〇〇	五、三〇〇	一八、〇〇〇

本邦石炭(撫順炭ヲ含ム)ノミハ依然大口取引杜絶ノ狀態ニテ客年ノ輸入高約二十萬噸ナリシニ本年九月末迄ノ輸入額五萬噸ニシテ今後モ好轉ノ望ナク之ニ反シ開平炭ハ客年ノ輸入八萬五千噸ニ對シ本年九月末迄ノ輸入額實二十五萬噸ニ達セリ

以上

一、關係支那商ハ昨夏以來大水災、赤匪、排日貨、上海事變等ノ影響ヲ受ケ異常ノ苦境ニ陥リ此ノ上日貨取引ヲ阻止セラル、ニ於テハ倒産ノ外ナキ爲表面ハ兎モ角内實大ニ排日貨運動ニ反對シタルコト

二、武漢官憲カ血魂鋤奸團ニ對シ眞面目ニ取締ヲ加ヘタル爲支那商ハ苦境打開ノ好機トシ排日貨決議ヲ尻目ニ斷然日貨取引ヲ復舊スルニ至リタルコト

三、棉花、胡麻、豆、米等ノ豐作ニ依リ奧地購買力ノ増大ヲ見越シタルコト

四、八、九個月振りニテ漢水筋及平漢線沿線ノ紅軍擊退セラレ奧地通商ハ相當恢復ヲ見ルニ至リタルコト

五、久シク日貨取引不振ヲ極メ今ヤ在荷殆ト拂底ヲ告ケタルコト

六、從前上海ニ於テ日貨仕入ヲ爲シタル漢口、四川其他長江上流各地ノ支那商ハ上海事變以來打續ク同地ノ不安ニ因リ漸次漢口ニ於テ取引ヲ爲スニ至リタルコト

尙本年六月以降ニ於ケル當地本邦品輸入額左ノ如シ

六月中本邦ヨリ直接輸入額 三〇〇、〇〇〇
七月中 三五〇、〇〇〇

759 昭和7年10月8日 在福州守屋總領事より 内田外務大臣宛(電報)

蔣光鼐の排日運動彈壓の決意などに関する林知淵の情報について

福州 10月8日後發
本省 10月8日後着
第二四七號

九月末以來累次省政府ニ排日不良防止取締方要求シ今日迄日本人ニ對スル直接行動等ハ不充分乍ラ防止シ來レルモ蔣光鼐來省以來種々ノ複雜セル事情ノ爲省政府ノ取締ハ從前ノ如ク徹底的ナルコトヲ得ス(方聲濤ニ依リ逮捕處刑セララルコトヲ恐レテ一時逃亡シ居リタル多數不良分子ハ蔣光鼐來省後再ヒ福州ニ歸來セリ)旁從來省政府ヲ代表シテ本官ト面談スルヲ常トセル林知淵モ世間體ヲ憚ル所モアリ直接本官トノ折衝ハ避ケ外交主任ヲ本官ノ許ニ派シ我方ノ要求ヲ聞クコトトナリ居ル次第ナル處七日林ヨリ本官ニ郭履(本官ノ通譯ヲ爲スヲ例トシ林トモ別(懇)ナリ)ヲ省政府ニ派遣方依頼シ同人ヲ通シ左記ノ事項ヲ極秘ノ含ニテ本官ニ通報シ來レリ

一、不良分子ノ活動ニ付テハ不法越軌ノ行動ヲ阻止スル趣旨ノ消極的取締ヨリ外ニ壓迫ノ途無キ現狀ナルモ省政府トシテハ福建省ニ於テハ日支間不祥事件ノ發生ヲ極力防止シ度キ決意ヲ有スル次第モアリ不良分子ハ早晚徹底のニ掃蕩スル積リナリ

二、此ノ點ニ關シ數日前林森、蔣光鼐、鄧世增(綏靖公署參謀長)ノ三人ト會同シテ懇談セル際林知淵ヨリ排日運動ノ經過等ヲ説明シ將來ノ取締方針ニ迄言及シタル處執レモ省政府ノ立場ニ同情シ其方針ヲ是認セリ

三、不良分子ノ取締ニ付テハ黨部、軍部ト省政府トノ提携ヲ要スル事情ニアリ先般排日救國會復活シ十月九日ニ成立大會ヲ舉クルトノ報告アルヤ林知淵ハ直ニ蔣光鼐ヲ訪ヒ救國會カ不法團體ナルコト明カナル以上右ヲ彈壓セサルヲ得ス蔣ノ後援ヲ期待スト述ヘタルニ蔣ハ右ニ付テハ先ツ黨部ト懇談アリ度シト云ヘルニ付六日林森ヲ訪問シ黨部説得方依頼シ其ノ結果七日省黨部陳聯芬ハ林森ニ招致セラレ懇談中ナリ

四、蔣光鼐ハ福建ニ於テ排日運動ヲ煽動スル意思ナキノミナラス却テ不良分子ニ根本的ニ鐵槌ヲ下ス決意ヲ有スルコト近ニ於テ直接日本人ニ對シテ爲シタル暴行ニテモアリ本日迄再三斯ノ如キ事件ノ發生ヲ防止スヘキ旨抗議シアルモノナル次第アリ省政府ニ嚴重交渉スルノ必要ヲ認メ善後策考究中ナリ(北上艦長トモ協議)尙同日午後王公安局長、別ノ要件ニテ本官ヲ來訪セルヲ以テ本事件ニ關シ不取敢至急犯人ヲ逮捕處分シ且今後此ノ種事態ノ再發ナキ様嚴密取締ヲ要求シ損害賠償其他ニ付詳細調査ノ上省政府宛何分ノ申入ヲナスヘキ旨傳ヘ置ケリ公安局長ハ只管局長限リニテ處理シ度キ意嚮ヲ漏シ居タルモ拒絕セリ

761 昭和7年10月12日 在福州守屋總領事より
内田外務大臣宛(電報)

台湾籍民海產物商商品焼却事件に関する要求
条項について

福州 10月12日後發
本省 10月12日後着
第二五一號

ト明カナリ大體ニ於テ二三ノ不良團體ニ共產黨の「スロ―ガン」ヲ掲ケタルモノアリ之ヲ利用シテ多數不良分子ヲ統殺スルコトナルヘシ

支ヨリ上海へ、駐滿全權ヨリ奉天へ轉報アリ度シ
支、駐滿全權、北平、南京、漢口、廣東、厦門、汕頭へ轉電セリ

760 昭和7年10月12日 在福州守屋總領事より
内田外務大臣宛(電報)

台湾籍民海產物商に中国人乱入し商品を没収
焼却について

福州 10月12日後發
本省 10月12日後着
第二五〇號

昨十一日正午頃當舖ヨリ二町位ノ所ニテ海產物商ヲ營ミ居ル臺灣籍民郭煇(當舖郭履ノ弟)ノ店ニ藤山救國會ト書シタル三角旗ヲ持テル二十四五名ノ支那人闖入シ干鱈、鹽鮭、雜魚等價格約二百五十元ノ物ヲ店前ノ道路ニ持出シ郭ノ制止スルヲ肯カス石油ヲカケ焼却セリ本件ハ海軍派遣隊ノ附

東山仇貨會ノ臺灣人郭所有海產物燒却事件ニ付テハ省政府ニ公文ヲ手交スルト同時ニ右公文ニ付林知淵ト直接折衝ヲ行フコトトシ左記ノ點ヲ右公文ニニ要求條項トシテ掲記スル所存ナリ(林ハ十二日正午迄ハ所在不明ニテ會見ノ約束出來ス魏主任不取敢來訪ノコトトナリ居ルニ付大體ノ事タケハ同人ニ説明ノ積リナリ)

一、損害賠償要求(燒カレタル海產物ノ外現金其他ノ被害ヲ併セ約三百五十元)

二、慰籍料ノ要求(本人ハ打撲傷ヲ受ケタル次第モアリ旁々見セシメノ爲相當額ヲ要求スルヲ適當ト認ム)

三、犯人ノ逮捕處罰

四、犯行ヲ目撃シツツ之ヲ阻止セサリシ警官ノ罷免及懲罰
五、事件ト關係アル東山仇貨會及閩南仇貨會事務所ノ閉鎖
六、日本人ノ傭入ニ應スヘキ一定數ノ傭ノ用意(本項ハ直接事件ト關係無キモ傭カ「ボイコット」ヲ爲シツツアルニ付特ニ挿入ス別電第二五二號參照)

七、本年一月七日ノ排日取締ニ關スル約束ノ勵行
右ニ付何分ノ御意見御同示ヲ得度シ
尙往電第二四七號ノ次第モアリ現在ノ省政府ノ力ヲ以テシ

テハ容易ニ埒明カサル様思料セラルルモ事態ヲ此ノ儘ニ推
移セシムルコトハ由々シキ結果ヲ招來スル虞アルヲ以テ出
來得レハ今回ノ事件ヲ切掛ケニ蔣光鼐來任以來特ニ惡化セ
ル排日氣勢ヲ挫ク爲或程度迄威嚇のナル措置ヲ取ル必要ア
ル次第ナリ唯茲ニ注意ヲ要スルハ從來事件毎二本官卜懇談
スルヲ例トシ來リタル林知淵ヲ窮境ニ立タシムルカ爲將來
林カ本官卜接衝スルコトヲ廻避スルニ至ランコトナリ斯ノ
如キ事態トナレハ交渉ノ相手方ヲ失フコトトナルニ付相當
彼ノ面目ヲ立タシムル必要アリ前記要求箇條ハ彼ヨリ誠意
ヲ示シ來ルニ於テハ多少緩和スルモ已ムヲ得サルヘシト認
ム
往電第二五〇號ノ通轉電セリ
支ヨリ上海へ、滿ヨリ奉天へ轉報アリ度シ

762 昭和7年10月12日 在芝罘佐々木領事代理より
内田外務大臣宛(電報)

張公安局長に対し鉄血除奸団の排日行動取締
りを厳重要求について

タルモノト認メラルルニ付目下私服巡警ヲ市内各新聞社
等ニ派遣シ内偵中ナルカ貴方申出テノ次第モ有リ尙一層
捜査ニ努メ發見次第嚴罰ニ處ス可ク尙此種反日排貨ヲ目
的トスル團體ハ其名稱ノ如何ヲ問ハス悉ク彈壓スル方針
ナルニ付右ニ御含置キアリタシト答ヘタリ
三、依テ本官ハ韓主席カ反(日)的團體ノ取締リヲ勵行シ中日
貿易ノ助長ニ努メタル次第ヲ説明シ其勢力範圍トナル可
キ當地ニ斯ル團體ノ活動スルハ民衆ノ痛苦ヲ除ク主席ノ
本旨ニモ反スルニ付今後トモ充分取締リアリ度キ旨ヲ篤
ト申入レ置ケリ(脅迫文郵送ス)
支ヨリ上海ニ、滿ヨリ奉天ニ轉報アリ度シ
支、北平、濟南、青島、天津、南京、滿へ轉電セリ

763 昭和7年10月14日 在厦門三浦領事より
内田外務大臣宛(電報)

抗日会による台湾商人備入れの中国帆船焼却
について

厦門 10月14日後発
本省 10月14日後着

芝罘 10月12日後発
本省 10月13日前着

第九七號

昨⁽¹⁾十一日當地三井ヨリ取引先ノ中國商ハ鐵血除奸團ヨリ仇
貨取扱停止セサレハ一家眷族ハ勿論店員ニ至ル迄殺害ス可
キ旨ヲ記載セル脅迫狀ヲ送ラレ該中國商ハ恐怖ノ餘取引猶
豫方申出テタル趣通報アリタルヲ以テ直ニ當館員ヲシテ内
査セシメタル處他ノ中國商ニモ同様脅迫狀ヲ受取りタル報
告アリタルニ付本官本十二日張公安局長ニ會見シ
一、本官着任當地ノ狀況ヲ觀ルニ劉カ在煙中反日排貨ノ取締
ヲナサス反日會等ノ私的團體ノ行動ヲ抑壓セサリシ結果
邦商ハ約一ケ年間直接、間接ニ深刻ナル打撃ヲ蒙リ營業
休止ノ狀況ナリシカ劉ノ離煙後此種私的團體モ自然解消
シ現在本邦品ノ取引漸次復活ノ氣運ニ向ヒ居レル處斯ル
排日の團體ノ出現ハ中日通商貿易上ニ至大ノ影響ヲ及ホ
スモノナルニ付嚴重取締アリタシト述ヘタル處
二、張⁽²⁾本件ニ付テハ既ニ中國商側ヨリモ願出テ有リト冒頭
シ右脅迫狀ハ主トシテ船舶業者及石炭商ニ送付シ未タ他
ニ及ハサル模様ナルカ該除奸團員ハ他地方ヨリ入り込ミ

第四二七號

一、當地臺灣商人東。西洋行九月二十九日一支那帆船ヲ備ヒ入
レ「セメント」五百六十袋ヲ安海ニ向ケ積出セル處抗日
會ニ發見セラレ抑留セラレタルカ右ハ臺灣人ノ荷物ナル
事分明セル結果之ヲ返還スル事トナリ十月五日夜抗日會
ヨリ同洋行ニ對シ翌日出頭受取ルヘキ旨電話シ來レリ然
ルニ同洋行主ハ恰モ居合セタル船主ト語り合ヒ同夜ノ中
ニ「セメント」ヲ積載シタル儘秘カニ厦門ヲ脱出セシメ
タル上翌六日抗日會ニ對シ何喰ハヌ體ニテ「セメント」
ハ本日引渡サルル筈ナルカ該帆船モ見當ラス如何セルヤ
ト探込ミタル爲抗日會側ニ於テモ大イニ狼狽シ大掛リノ
捜査ヲ行ヒ遂ニ九日帆船ヲ曳航シ來タリ「セメント」ハ
既ニ抗日會ノ勢力ノ及ハサル荷受主ニテ受取濟」十一日
午後對岸嵩嶼附近ニテ之ヲ燒却セリ
三、本件燒却ニ付テハ當地水上公安局側ニ於テハ可成之カ差
止メニ努力シタル模様ナルモ厦門駐屯十九路軍憲兵隊長
ノ尻押ニ依リ厦門官憲ノ力ノ及ハサル場所ニ持行き決行
シタルモノナルカ(燒却前嵩嶼駐屯ノ憲兵約四十名機關
銃ニテ之ヲ射撃セル事實アリ)精査スル處ニ依レハ右ハ

抗日會内部ノ空氣急ニ惡化シタルカ爲ニ非スシテ東西洋
行主ノ嘲弄的態度ニ激昂セル結果斯ル行動ニ出テタルモ
ノナリト言フ

三、然ルニ右帆船燒却ハ當地船所有者ニ相當不安ヲ與ヘ十三
日高雄ヨリ入港セルでり丸ノ荷役ヲ躊躇スル者出テタ
ルモ商船買辦ニ於テ東西洋行ノ遣口ヲ説明シタル結果必
要ノ船夫々出役スルニ至リタルカ別ニ糾察隊ノ出動モ無
ク豫定通り約百五十噸ノ荷役ヲ終ヘ出港セリ
尙明十四日福州ヨリ入港ノ大球丸ハ石炭三百噸ノ揚荷ア
ル筈ナルニ付爲念引續キ警戒ノ豫定

764 昭和7年10月14日 在福州守屋総領事より
内田外務大臣宛(電報)

台湾籍民海産物商商品燒却事件に関する要求
への省政府側の対応について

福州 10月14日後発
本省 10月15日前着

日午前中ニ大體ノ意嚮ヲ通報シ來ル筈ナリ
ニ、右説明ノ後船ノ件ニ對シテモ往電第二五二號ノ内容ノ公
文ヲ示シ(本件ハ再考ノ結果別ノ公文ト爲シタリ)林ノ考
慮ヲ求メタル處林雪雪ノ所有スル五隻ノ雇傭(船)ヲ保護
スル趣旨ニテ船組合長タル陳雪華(同人ハ同時ニ縣黨部
指導員ニシテ省黨部陳聯芬ノ甥ナリ)ヲ説得スヘシト述
ヘタリ
冒頭往電ノ通轉電セリ
支ヨリ上海へ、滿ヨリ奉天へ轉報アリ度シ

765 昭和7年10月17日 在福州守屋総領事より
内田外務大臣宛(電報)

排日の悪化に対し自警団の組織および陸戦隊
の上陸要請等在留民硬化の状況について

福州 10月17日後発
本省 10月17日後着

最近日貨排斥急激ニ惡化セル次第ハ屢次電報ノ通ナルカ支
那側ノ取締未タ徹底的ナラサル爲邦人商店使用ノ支那人ニ

第二六三號
往電第二五二號ニ關シ

二、林知淵十四日午後二時本官ヲ來訪シタルニ付冒(頭)往電
記載ノ解決條件ヲ掲記セル公文ヲ示シテ我方要求ノ内容
ヲ詳細ニ説明セリ林ハ右説明ニ先立チ本件ニ付方聲濤、
林森等トモ談合シ來リタリトテ省政府カ犯人ヲ數日内ニ
逮捕方公安局ニ手配ヲ命シタルコト及將來同種事件ノ發
生ヲ防止スル爲ニ省政府ハ蔣綏靖主任ト協力シテ拳銃等
ヲ所持スル者ノ檢舉ヲ行フコトヲ決意シ居リ又方聲濤ト
蔣トノ連名ヲ以テ不良分子ノ行動ヲ禁止スル趣旨ノ布告
ヲ出ス必要ヲ認メ林ノ代表トシテ何公敢及劉通(民政廳
長)ヲ蔣主任ノ許ニ派シタリト述ヘタルカ本官ノ提出セ
ル條件ニ對シテハ大體容認シ得ヘシトノ意嚮ヲ洩シタル
モ仇貨會事務所閉鎖ノ點ハ仇貨會ノ性質上實行不可能
(ナル)ノミナラス仇貨會其物ニハ眞面目ナル分子モアリ
不良分子ノ仇貨會事務所ニ借據スルヲ迷惑ト爲シ居ル次
第アリ仇貨會内ノ不良分子團體ヲ解散スル趣旨ニ改メラ
レ度シト述ヘ(此ノ點讓歩スルヲ可ト認ム)兎ニ角直ニ省
政府及林森等トモ談合ノ上回答ス可シトテ引取りタリ明

シテ不良團ヨリ脅迫ヲ受ケ暇ヲ取ルモノアリ又不良分子ハ
邦人ニ立退ヲ餘儀ナカラシムル様支那側家主ヲ脅迫シ居リ
更ニ兩三日前ヨリ直接臺灣人ノ店ニ不良分子押掛ケ家探シ
ヲナセル事件スラ發生スルニ至リ事態ハ事件發生前ノ上海
ノ事情ニ彷彿スルモノアリ在留民殊ニ臺灣人ハ頗ル興奮ス
ルニ至リ十七日商業會議所正副議長ヨリ本官ニ對シ在留民
ニ於テ自警團ヲ組織スルコトヲ承認セラレタキ旨及海軍陸
戰隊ノ上陸及軍艦ノ増派ヲ考慮セラレタキ旨申出タリ右ニ
對シテハ本官ニ於テ支那側ト交渉中ニシテ(此種ノ排日行
爲ノ取締ニ付テハ本十七日附省政府ニ抗議ス)支那側ニ於
テ取締ヲ行フ意志アルヤニモ認メラルルニ付暫ラク自重的
態度ヲ持シ先方ノ出方ヲ見タル上ニテ本件ヲ考慮スルコト
トスヘキ旨説示セリ尙爾今毎金曜日在留民ト懇話會ヲ催シ
意見ノ交換ヲナスコトセルカ右ハ主トシテ在留民ノ感情
ヲ緩和センカ爲ナリ

滿ヨリ奉天へ、支ヨリ上海ニ轉報アリタシ
支、滿、北平、南京、漢口、廣東、厦門、汕頭ニ轉電セリ

766 昭和7年10月19日 在福州守屋総領事より
内田外務大臣宛(電報)

排日団体への威圧を伴わない我が方解散要求
は民心を刺激するおそれある旨意見具申

福州 10月19日後発
本省 10月20日後着

第二七一號

當地ニ於ケル排日運動ハ累次電報ノ通相當悪化セリ本官ノ
嚴重ナル抗議ニ對シテハ省政府側ニテ或程度ノ誠意ヲ示シ
特ニ最近ニ於テハ不良團ノ脅迫狀ヲ受ケ又ハ不良團員ノ來
訪ヲ受ケタル臺灣籍民^(籍カ)ヨリ報告ヲ受ケ次第公安局ニ保護ヲ
依頼セル際ハ直ニ武裝巡警等ヲ派遣保護スルニ至リタルモ
曩ニ解散セラレタル反日救國會ノ實質ヲ有スル団体ハ十月
ニ入りテ既ニ二ツ迄組織セラレ差當リ東北義勇軍及十九路
軍ヲ支緩シ民衆ノ力ヲ以テ國土ヲ防衛スヘシトノ趣旨ニヨ
リ有ラユル團(体)及學校ヲ動員シツツ(アル)有様ニシテ排
日ノ氣勢ハ當分衰退スヘシト思ハレス省政府ノ實力ヲ以テ
シテハ我方ヨリ單ニ一片ノ抗議ノミヲ繰返ス丈ニテハ前記
団体ノ解散ハ勿論其越軌行動スラ容易ニ阻止セシムルコト

福州 10月20日前発
本省 10月20日後着

ヲ得サル様觀察セラル前記反日団体ハ西湖事件解決條項ニ
ヨリ其解散方本官ヨリ要求シ得ル筋合ナルモ最近ノ組織的
ナル排日ハ中央政府ヨリノ指導ニ基クモノトモ思ハレ(南
京發閣下宛電報第七〇〇號参照)省政府ニ於テ直ニ解散ヲ
命シ得ルヤ疑ハシク實力ニ依ル威壓ヲ伴ハサル我方要求カ
却テ徒ニ民心ヲ刺戟シ不良分子ノ活動ヲ助成スル結果トナ
ルノ虞無キヲ得ス旁前記団体ノ再組織ニ對シテハ曩ニ往電
第二三六號(脱?)ヲ以テ一應先方ノ注意ヲ喚起シタル丈ニ
止メ將來何等カノ機會ニ改メテ嚴重ナル申入ヲ爲シ解散セ
シムルコトト致度シ右御含ミ置キヲ請フ
往電第二七〇號ノ通轉電セリ
滿ヨリ奉天へ支ヨリ上海へ轉報アリタシ

767 昭和7年10月20日 在福州守屋総領事より
内田外務大臣宛(電報)

日本人に対する暴行事件に関し省政府より公
文および慰謝料等受領について

第二七〇號
往電第二六五號ニ關シ

林知淵及省政府ヨリ本官ノ要求ノ全部ヲ容ルル事ヲ言明シ
將來ノ保障トシテ蔣光鼐、方聲濤連名ノ布告ヲ十四日附ニ
テ發シタルノミナラス公安局ヲシテ犯人ノ逮捕及關係警察
官ノ懲戒ノ手續ヲ執ラシメ居ル事確實ト認メラレタルヲ以
テ引續キ損害及慰藉料ノ額ニ付十七日來、省政府魏主任ト
内談ヲ爲シタルカ被害者ノ意嚮ヲモ參斟シ損害額三百元、
慰藉料百元ト決定セリ先方ヨリノ回答ニ關シ方聲濤ノ命ニ
依ル旨ヲ前提シ魏ヨリ省政府ノ立場ヲ困難ナラシメサル文
句ヲ使用スル事ニ付了解ヲ得度シト再三懇談セルヲ以テ考
慮ノ結果事情已ムヲ得スト認メ事態悪化ノ際省政府側ノ立
場ノミヲ顧念スル譯ニハ行カサルモ特ニ此際省政府ニ於テ
誠意ヲ以テ不良分子ノ取締ヲ爲ス事ヲ確言シ得ルニ於テハ
方及林知淵ノ顔ヲ立テル意味ヲ以テ難キヲ忍ンテ讓歩スル
モノナル事ヲ明カニシタル後先方ノ回答ニ於テハ十月十三
日附公文ノ要領ヲ繰返シタル後福州市公安局ニ命シ本件ノ
損害ヲ酌量辨理セシメ並加害者及責任者ヲ分別取締リ及懲
辦シ將來重ネテ此種ノ事件ノ發生ヲ防止ス

本件不法團體ニ付テハ自發的ニ支那法律ニ依リ處置スヘシ
トノ趣旨ト爲スヘキ事ヲ承認セリ

右公文ハ前記四百元ト共二十九日受領セリ
冒頭往電ノ通轉電セリ
支ヨリ上海へ、滿ヨリ奉天へ轉報アリタシ

768 昭和7年10月20日 在濟南西田總領事より
内田外務大臣宛

除奸團の脅迫状は中国側商人の策動と認めら
れるとの情報について

機密第四八九號 (11月1日接受)
昭和七年十月二十日 在濟南
總領事 西田 畊一(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿
血魂除奸團ノ行動調査ニ關スル件

本月十四日商埠緯五路華商永聚紗莊ニ鐵血除奸團ヨリ脅迫
狀ヲ送付シ來タリ爲ニ當地邦商日本棉花、東洋棉花等ニモ
取引ノ支障ヲ生スル恐アリトテ同社主任等ヨリノ申出テニ

基キ本月十六日日本官韓主席ニ嚴重取締方申入レタル次第ハ既電報告ノ通りナル處

右ニ付當舖牒報者カ該莊王支配人ヨリノ聞込ミニ依レハ前記脅迫狀ハ已ニ燒却セルモ印刷ニ非ラス毛筆ニテ字體ノ如キモ拙劣ナルモノニテ眞ノ抗日除奸團體員ノ所爲トハ認メ難ク自己ノ營業ヲ有利ナラシメントスル一部不逞份子ノ策動ナルカ或ハ脅迫狀ヲ受取レル各商店カ右ニ對スル聲明ヲ新聞ニ廣告スル爲不良新聞社カ廣告費ノ增收ヲ得ン爲ノ奸策ナルモノノ如ク當地ニ於ケル除奸團ノ警告ハ當初一回限りニテ其ノ餘ハ殆ント不良份子ノ利益ヲ目的トセル行爲ナル模様ナリ

又商會側ノ談ニ依ルモ去ル八月除奸團カ當地ニ於テ行動開始後ニ於テモ山東省內ハ從前通り一般ノ商品取引セラレ居レリ云々ト

尙ホ既電ノ通り本官本月十九日韓主席ニ右ニ對スル取調ノ結果ヲ問ヒタルニ韓ハ當地ノ除奸團ハ曩ニ追出シタルヨリ其後同團策動ノ模様ナク永聚綿莊ノ脅迫狀云々ハ或ハ不良營業者ノ策動ナラスヤト思ハルカ中日綿糸布ノ取引ハ別段異狀ナク行ハレ居ル旨報告アリタリト答ヘ居タリ

在天津

總領事 桑島 主計(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

商民救國會ノ日貨検査ニ關スル件

鐵血除奸團ノ來津以來各救國團體ノ日貨排斥運動再ヒ抬頭ノ件ハ屢次報告ノ通りナルカ本月十八日商民救國會ハ遂ニ日貨検査封存ヲ實行スルニ至リタルカ其狀況左ノ通り報告ス

記

(一)日貨検査迄ノ経緯

天津市日貨商同業公會ハ鐵血鋤奸團ノ來津以來爆彈投下脅迫ノ爲メ極度ニ脅カサレ之カ對策ニ苦心シ居リタルカ十月五日窃カニ北門内某所ニ集合シテ商民救國會ノ日貨検査ニ不法ノ行動アル場合ハ公安局ニ警察權ノ發動ヲ乞ヒ南京中央黨部ニ代表者ヲ派遣シ請願スルコト各商店使用ノ店員ニテ維持隊ヲ組織シテ自衛手段ヲ取ルヘシト數項ニ亘ル決議ヲ爲シタルモ公安局ノ取締不徹底ニシテ到底鐵血除奸團並ニ商民救國會等無頼漢相手トスルコトノ不利ナルト依然除奸團ノ活動アリテ不安極マリナキ情勢

將又本二十日當地邦商日本棉花及東洋棉花主任ヨリノ報告ニ依ルモ永聚綿莊ニ於ケル綿糸市ハ立チ居ラサルカ華商ハ持チ廻リ式ニ他ノ華商店ニテ市ヲ立テ一時華商側ハ手控ヘタルモ引續キ取引アリ去ル十八日頃ヨリ二十日迄ニ已ニ二千件(約五十萬元)ノ契約成立セル由ナリ

要スルニ本件ハ拙電報告ノ通り華商側ニ於テ日本綿糸ノ輸入ヲ妨害シ自國側綿糸ヲ有利ニ導カン爲前記永聚ニ脅迫狀ヲ送付セルモノト認メラレ其後ハ平常通り取引行ハレツツアル状態ナリ

右報告ス

本信寫送付先 公使 北平 青島 天津 上海 南京

商務參事官

769 昭和7年10月21日

在天津桑島總領事ヨリ 内田外務大臣宛

商民救國會による日貨の検査について

機密第九三五號

(11月2日接受)

昭和七年十月二十一日

ノ中ニ今後日貨ヲ販賣スルコトノ極メテ危険ナルヲ知り寧ロ自發的ニ日貨検査ヲ申出ツルコトヲ得策ナリトシ十月七日仁昌代表外十數名ノ日貨商ハ商民救國會ニ出頭シ該會ノ委員劉芝田、李醒我、年光堯等ニ會見シ各商店ノ日貨登記書ヲ提出シ速カニ派員検査方ヲ申出タリ

商民救國會ニアリテハコノ意外ノ申出ニ面喰ヒ代表ヲ歸シタル後會議ヲ開キテ先ツ商品検査請求ノ件ヲ黨政機關ニ報告シ検査ニ出發ノ際ハ當局ノ保護ヲ受クルコト並ニ各救國團體ト連絡シ本會ノ検査ニ援助求ムル等ヲ決議シテ各方面ニ通牒シタルカ各業工會救國聯合會ニ於テハ右救國會申出ニ依リ日貨検査援助ノタメ五十名ヲ協助セシムヘキコトトセリ斯クシテ日貨検査ノ準備ハ着々ト進メラレタルヲ以テ十月十日商民救國會ハ更ニ會議ヲ開キテ日貨検査辦法トシテ左記六項ヲ決定シ各日貨商ニ強要セシムルコトニシタリ

一、日貨商組合ヲ設ケ相互日貨ノ收售ヲ監視スルコト
二、各日貨商ハ二週間以内ニ日貨ノ肅清ヲナスヘシ
三、現在ノ日貨ニ對シテハ在庫品名簿三部ヲ作製シ一冊ハ組合ニ一冊ハ救國會ニ一冊ハ各商店ニ保存ス

四名簿作成後ハ之ヲ一齊ニ公布シ以後ハ増減ヲ許サス
其各商號監視以外救國會ヨリ派員検査ヲ爲ス
六以後各商號ハ永久ニ日貨ヲ取扱ハサルコト
各日貨商モ茲ニ至リ十月十五日以後ハ一律日貨ヲ封存シ
更ニ日貨ノ仕入レヲ爲ササル旨ヲ決議シ商民救國會ニ自
己所有ノ日貨ヲ登記スルコトニナリタリ

(二)日貨検査ノ狀況

十月十七日商民救國會ハ日貨商東廣泰外九軒ヨリ日貨登
記書ノ呈出アリタルニヨリ検査員ヲ派遣検査ヲ實施スル
コトトナリ該員ハ二組ニ分レ第一組長除卓然外五名第二
組長年光堯外五名出張検査ト同時ニ封鎖ヲ實行スヘク檢
査員一同救國會ヲ出發セントスル際公安局五區六所長郭
漢章ハ巡警十餘名ヲ帶同シ右検査員ノ出發ヲ阻止セント
シ又續ヒテ市政府ヨリ穆道厚、李銘等モ現場ニ駆ケ付テ
検査員カ出發シテ日貨ヲ検査スルトキハ意外ノ事故發生
スヘシト極力慰撫シタル模様ナルカ同會検査員タル除卓
然、年光堯、劉芝田等ハ本救國會ハ自發的ニ日貨検査ヲ
實行スルモノニ非ス各商家ノ請求アリタル爲ニ赴クモノ
ナリト稱シ市政府穆道厚ヨリ更ニ日貨封鎖ハ各商店自ら

ニ除奸團ノ横行商民救國會ノ手ニヨリ日貨検査ヲ實行セ
シムルニ至ラシメタルカ一般商民ノ反感並ニ當館ヨリノ
嚴重ナル抗議ニヨリ十月十八日市政府ニ於テ種々協議ノ
結果公安局ニ命シテ第五區六所長郭漢章ヲシテ商民救國
會ニ赴カシメ前日實行シタル東廣泰外九軒ニ對スル日貨
封鎖ヲ解カシムヘク嚴令シタル結果各店頭ニ貼布シタル
日貨封鎖票ヲ全部剝キ取ラシメ日貨ノ封鎖ハ商人自身ニ
於テ決シ商民救國會ハ強要スヘカラサル旨傳達シタルカ
商民救國會ニアリテモ市政府側ノ強硬ナル態度ニ何等カ
ノ對策ヲ講スル必要アリトシ該會内ニ全体會議ヲ召集セ
ントシタルカ早くモ之ヲ探知シテ公安局ハ第五區六所ニ
命シテ開會ヲ禁止セシメタルヲ以テ救國會幹部年光堯劉
芝田劉仙船等數名ハ秘密會議ヲ開キタル結果近ク中央ヨ
リ發布アル新工商同業公會規定ノ實施セラレ早晚救國會
モ改組セサルヘカラサル時期ナレハ此際當局ニ對抗スル
コトハ本會ノ將來ニ不利ナリトシ表面的運動ハ見合セ内
部工作ヲ爲スコトニ決シタル模様ナリ尙引續キ注意中
本信寫送付先 在中公使 北平 上海 南京 濟南

青島 奉天 在滿大使

之ヲ爲サシメテ然ルヘク何等之ヲ検査スル必要ナカルヘ
シト叱シタルモ検査隊長タル年光堯ハ商家ヨリ請求アリ
タルモノヲ検査セサル場合ハ我々ノ面目ニ關係シ且彼等
ハ良心ニ基キ日貨ヲ封鎖スルカ如キコト萬々ナカルヘシ
ト強辯シ數時間協議ノ結果當日日貨登記者左記十軒ニ對
シ検査ヲ實行スルコトニナリ検査員一同出發シタリ

日貨封鎖商號 價格

- 一、東 廣 泰 一、四二八、九八〇^元
- 二、廣 泰 興 一、四〇九、七五〇
- 三、源 豐 號 一、二一四、七〇〇
- 四、廣 興 號 一、一〇二、八一五
- 五、大 生 祥 二、三一五、一〇〇
- 六、華 貞 號 九七三、八〇〇
- 七、華 貞 支 店 二八二、三〇〇
- 八、仁 昌 號 一、〇〇八、九〇〇
- 九、仁 昌 支 店 一三五、七七〇
- 一〇、德 豐 號 二、三〇四、〇〇〇

(三)官憲ノ取締振

中國官憲ノ取締振ハ從來不徹底極マルモノナリシカ爲メ

770 昭和7年10月28日 在中國有吉公使より
内田外務大臣宛(電報)

福州における排日に関し國民政府への抗議承

認方要請

別 電 十月二十八日發在中國有吉公使より内田外務
大臣宛第一二七八号

右抗議案

上海 10月28日後發
本省 10月28日後着

第一二七七號

上海發閣下宛電報第一一五四號ニ關シ
福州其他南支方面ノ排日取締方ニ付堀内ヲシテ唐有壬ヲ通
シ陳銘樞ノ出發前其注意ヲ喚起セシムル等内々南京側ニ通
シ置キ又近ク宋子文ニモ談合スル筈ノ處一方在留民側ニ於
テハ前記南支ノ排日ニ對シ徹底的手段ヲ採ルヘシトノ意向
相當濃厚ニシテ當方ニ於テハ之ニ對シ極力自重ヲ促シツツ
アル次第ナルモ右ノ如キ空氣ハ延ヒテ現地ノ形勢ニ反映ス
ルノ惧モアリ旁々此ノ際本件ニ付正式ニ國民政府ニ對シ注

意ヲ喚起シ嚴重ナル取締ヲ要求シ置ク必要アリト認メラルルニ付先ツ不取敢福州ノ排日取締ニ關シ公文ヲ以テ別電第一二七八號ノ趣旨ヲ申入レ度ク右ニテ差支ナキヤ御同示ヲ請フ

別電ト共ニ滿、北平、天津、青島、漢口、福州、廣東、廈門、南京、汕頭ニ轉電シ、上海ニ轉報セリ

(別電)

上海 10月28日後発
本省 10月28日後着

第一二七八號

最近福州ニ於ケル日貨排斥其ノ他各種ノ排日行爲ハ激(越?)ヲ極メ日貨ヲ取扱フ貴國商人ニ對シ不法極マル暴行脅迫、日本人ノ所有スル商品及其ノ他ノ日本商品ノ奪取燒却並ニ日本船ニ附屬スル船業務ノ妨害等ノ事件頻發シ同地駐在總領事ノ再三ノ抗議並ニ貴國地方官憲ノ取締方言明ニ拘ラス事態益々悪化ノ傾向アリ若シ右事態ニシテ此ノ儘推移スルニ於テハ如何ナル不詳事^{辭カ}ノ發生ヲ見ルニ至ルヤモ計リ難キカ國交上憂慮ニ堪ヘサル次第ナリ本使ハ右ニ關シ閣

實業部カ右訓令ヲ發シタルハ國煤委員會ヨリノ請願ニ基ク趣ナリ

ニ、支那側各工場ハ何等右訓令ヲ重視シ居ラス社會局モ亦形式的ニ中央ノ命令ヲ傳達シタルニ止マリ積極的ニ勵行ノ意向無キ模様ナリ(社會局長ノ五百木ヘノ内話)

三、三井ノ調査ニ依レハ目下ノ處市況ニハ何等ノ影響無キ趣ナリ

奉天ヨリ滿ヘ轉電ヲ請フ(第一五號)

大臣、奉天、南京、北平、濟南、天津、漢口ヘ轉電セリ
支ヨリ上海ヘ轉報アリタシ

772 昭和7年11月16日 在福州守屋總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

台湾よりの密輸増加の状況について

福州 11月16日後発
本省 11月16日後着

第三二二號

十一月月初ニ一時荷動キ杜絶ト思ハレタル日貨ノ商内ハ其ノ後間モ無ク弗々恢復シ毎船相當量ノ石炭及海産物ノ入

下ノ甚深ナル注意ヲ喚起スルト共ニ前記排日行爲ノ急速且有效ナル取締方ニ付當該地方官憲ニ對シ嚴重御訓令アラシコトヲ要求ス

771 昭和7年10月28日 在青島堀總領事代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

社会局が國貨提唱の意味にて内地炭の使用を各工場に向け訓令について

青島 10月28日後発
本省 10月28日後着

第一八七號

本官發支宛電報

第八六號

貴電合第一一三四號ニ關シ

調査ノ結果左ノ如シ

一、當地社會局ハ實業部カ一般的ニ各地ニ發シタル訓令(鑛字。第四三五號)ニ基キ十月十三日附支那側各工場ニ對シ國貨提唱利權回收ノ意味ニテ今後可及的ニ内地炭ヲ使用シ外國炭ヲ抵制スヘシトノ訓令ヲ發シタリ(原文郵送)尙

荷アリ十二日大球丸ニ依リ長ク取引無カリシ「バナナ」

モ輸入セラレタリ累次電報セル如キ當地ノ事情ニ鑑ミ細心ノ注意ヲ以テ貨物ノ運搬及陸揚ヲ爲スヲ要スルコトハ本官ヨリ其ノ都度特ニ臺灣人方面ニ對シ説示シ居ル次第ナルカ左シタル事故無ク陸揚ヲ了シ居リ引續キ相當ノ入荷アル見込(艇舟ハ不足勝ナルモドウニカ備入レ得)

ニ、當地邦人特ニ臺灣人ノ商賣振ハ最近大分利巧トナリ凡ユル手段ニ依リ密ニ支那人ニ日貨ヲ賣捌キ居ルモノナルカ品物不足ノ折柄故可成リノ利益ヲ上ケ居ル實情ニシテ一般ニ本官ノ累次ノ抗議及不良分子ニ對スル公安局ノ措置等ニ依リ商賣少シク遣り易クナレリト稱シ居レリ

三、本件ニ關聯シ最近密輸入盛トナレリトノ報アリ注視中ノ處右ハ事實ニシテ十四日當地鹽務署協理「ドラポルト」モ本官ニ對シ砂糖、鹽、雜貨及各種禁制品ノ密輸激増シ之カ爲關稅及鹽務署ノ收入激減セリト語レリ密輸ノ激増ハ關稅ノ高キコト其ノ一理由タルヘキモ排日團體ノ日貨ニ對スル不當措置モ一原因ト認メラル探査スル所ニ依レハ密輸品ハ主トシテ臺灣方面ヨリ小型ノ汽船又ハ「ジャンク」ニテ福建省ノ海岸各地ニ運搬セラレ同地ニテ更ニ

小船ニ積換ヘ密ニ各地ニ輸送シ商標ヲ換ヘタル上陸路各都市ニ密輸セラルルモノノ如シ日貨無クシテハ生活シ難キ當地トシテハ砂糖、鹽及海産物ノ密輸ノ如キ到底絶滅シ難キモノト認メラル支那官憲ニ於テハ監視船又ハ検査員ヲ派シ之カ取締ヲ爲シ居ル模様ナリ

例ノ通り轉電セリ

773 昭和7年11月18日 在福州守屋總領事より 内田外務大臣宛

公安局による反日分子鄭維新射殺事件について

公第三六〇號 (12月5日接受)

昭和七年十一月十八日

在福州

總領事 守屋 和郎 (印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

鄭維新射殺事件ノ真相ニ關スル件

本月九日當地南台其他ノ自動肅劣會員及其他ノ不良分子數名ハ南台譚尾街支那紙商會長興號店主曾水巷七ナル者ヲ日

二名ヲ逮捕セリ(一説ニ不良分子ハ全部一旦第三署ヲ退キ縣商會ニ集マリタル處ヲ公安局前記隊員ニ依リ逮捕セラレタリトアリ何レカ真相ナルヤ明カナラス)而シテ逮捕セラレタル者ハ何レモ藤山救火會員ナルカ如シ

三、越ヘテ翌十日前記六名ノ釋放ヲ求ムル爲南台各地自動肅劣會員約五、六十名(五百名ト傳ヘラレタルモ右ハ雷同セル民衆ヲモ包含セシメテノコトト思考ス)ハ主謀者藤山救火會ノ指導の人物ナル排日分子鄭維新ナル者ニ引率セラレ「愛國運動ヲ妨碍スル官吏ヲ處罰スヘシ」等ノ旗ヲ押立テ公安局ニ赴キ門衛ノ阻止ヲモ聽カス局内ニ闖入シ丘公安局長ノ面前ニ於テ前記六名ノ釋放ヲ要求スルト共ニ省政府ヲ打倒スヘシ汚吏ヲ處罰スヘシ等ノ暴言ヲ放シタル爲之ニ憤怒セル丘公安局長ハ矢庭ニ鄭維新ヲ蹴倒シタル處鄭ハ起上ルヤ巡警ノ銃ヲ奪ハントセルヲ以テ保安隊第二隊長李復ハ後方ヨリ「ピストル」ニテ鄭ヲ射殺スルニ至リ同時ニ更ニ數名ノ不良分子ヲ逮捕拘禁セルモノナリ(丘局長自身ニテ最初一發ヲ放チタリトノ報アリ此ノ點モ何レカ事實ナルヤ明ナラサルモ丘ニ於テ射殺ヲ指揮シタルハ事實ト察セララルル節アリ)

貨取扱ノ故ヲ以テ逮捕シ市中ヲ引廻ハシタル事件ニ付テハ大要既ニ電報濟ナル處當時ノ狀況ヲ更ニ詳報ス

一、前記肅劣會員等ハ長興號紙商ニ於テ日本製ラシキ紙三十把アルヲ發見沒收セムトシ紙商ニ於テ國貨ナルコトヲ陳辨シタルモ聽キ入レス之ヲ街路上ニ持出シ焼却スルニ至リタルカ適同街所轄公安局第三署鄭某ナル巡官等カ現場ニ至リ街路上ニ於テ焼却ヲ爲スハ交通及火氣取締上支障アルニ付廣場ニテ之ヲ行フヘキ旨諭示シタルニ愛國運動ニ干渉スヘカラスト之ニ應酬シ茲ニ巡官トノ間ニ小競合ヲ演シ巡官ハ不良分子ノ爲ニ毆打セララルルニ至レリ

二、不良分子中六名ハ更ニ逃ケ歸レル鄭巡官ヲ追ヒツツ第三署ニ至リ署長ニ面會ノ上同巡官ノ免職ヲ要求シ之ニ應セサルニ於テハ第三署ヲ打倒スヘシト息捲キ署長ノ忠言ニモ從フ様子ナカリシヲ以テ已ムヲ得ス公安局ニ電話ヲ以テ打合スト共ニ不良分子四名ヲ拘束シタリ其ノ際二名ノ者ハ逃レテ藤山救火會ニ至リ事件顛末ヲ報告セル處來合ハセ居タル者一同大ニ憤慨シ縣商會ニ赴キテ關係肅劣會ノ代表者ヲ糾合シ對策ヲ協議セル處公安局保安隊及探偵隊員之ヲ包圍シ會議ヲ卒ヘテ退出セムトスル者ヨリ前記

四、右事件ニ付公安局ハ即日左ノ如キ布告ヲ發シ其ノ立場ヲ明ニセリ

「本局ハ曩ニ福建省黨務指導委員會ヨリ共產黨ハ本月ニ至リ紀念ノ爲遊行示威ヲ準備シ且治安ヲ攪亂セント企圖シ居ルヲ以テ嚴密防範セラレ度キ旨ノ函請ヲ受ケタルニ依リ右ノ趣既ニ各署隊ニ通達セル次第ナルカ本日暴徒南公園ニ集合シ彈壓セルモ散セス敢テ城内ニ進ミ本局ニ闖入シ任意ニ攪亂シ衛兵ノ銃器ヲ奪ヒ兇行ヲ働カムトセルヲ以テ衛兵ハ自衛上發砲シ首領タル鄭維新ナル者ヲ其ノ場ニ於テ斃シ且數名ノ者ヲ拘捕セリ之ニ依リ自餘ノ衆徒ハ悉ク散退セリ茲ニ市民一體ニ布告ス驚惶スル勿レ」

五、本件主謀者鄭維新ナル者ハ本職ハ倉前山獨靑小學校ノ教員ナルモ過激ナル雄辯家ニシテ藤山自動肅劣會ノ執行委員タリ曩ニ籍民郭炬ノ海産物焼却事件ニモ之カ先導トナリタル名タタル排日不良分子ニシテ前記事件後直ニ逮捕セラレタルモ間モナク釋放セラレ引續キ排日運動ニ從事シ居タルモノナリ元來鄭ハ林壽昌(昨年來方聲濤ニテ林梅生ナル不頼漢ノ一派ヲ抑フル爲利用セル無頼漢首領ニシテ方ハ壽昌ニ依リ梅生一派ヲ一時省外ニ驅逐セリ)一

派ノ乾分ニシテ今日迄方聲濤カ從來ノ關係上手ヲ下シ難キヲ見透カシ公安局ヲ無視シテ直接行動ヲ爲シ來リ其ノ都度常ニ黨部ノ支援ヲ得テ益々勢力ヲ伸張シ居タル輩ナリトス彼ノ横死ハ林壽昌派ノ大打撃タルコト疑ナク此ノ方面ノ直接行動ハ少クトモ一時的ニ停止セララルニ至ルヘキコト疑ヲ容レサル如シ尤モ之カ爲一切ノ直接行動カ終息スルモノトハ斷シ得サルコト曩ニ電報ノ通ニシテ林壽昌ト對立シ十九路軍方面ト聯絡アル林梅生一派ノ不良ハ蔣光鼐ノ入福以來方聲濤ヲ見縊リ續々福州ニ歸來シ活動ヲ開始シ居ルニ依リ彼等カ反對ニ大ニ跋扈スルニ至ルヤモ計リ難キ次第ナリ

六、本射殺事件ニ關シ十一月ノ新聞ハ舉ツテ詳細ナル記事ヲ掲ケタルカ内容ハ大略公安局布告ト同様ニシテ何等民衆側ニ肩ヲ持チ公安局側措置ヲ批判スルカ如キ意見ヲ述ヘ居ラス又各救火會及肅劣會其ノ他ノ排日團體ハ即日秘密裡ニ會合スルト共ニ善後策ヲ協議シタル模様ニシテ其ノ際公安局長ノ問責問題モ討議セラレ自力ニテハ如何トモシ難シトシテ各地ニ檄シテ後援ヲ求メ居ル趣ナルモ十九路軍勢力下ニ在ル當地ニ於テハ同軍ノ支援アル公安局長

昭和七年十一月十八日

在中華民國日本公使館

大使館參事官 矢野 眞

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

北平抗日會ノ日貨排斥運動ニ關スル件

北平市各界抗日救國會ハ表面上各界十四個團體ノ合同組織トナリ居ルモ其ノ中堅分子ハ市黨部、工會聯合會、農會、商會、記者公會ノ五團體ニシテ他ハ殆ト會議ニモ出席セサル模様ナルカ最近同會員ノ日貨取扱支那商店ヲ脅迫シテ取扱貨物ヲ沒收シ又多額ノ罰金ヲ課シ殊ニ甚シキハ鐵血鋤奸團ヲシテ恣ニ各商店ニ爆彈ヲ投シテ威嚇ノ上金錢ヲ強要セシムル等其ノ不法行爲益々多キヲ加フルアリ爲ニ總商會トノ間ニ紛擾絶ヘス同會長冷家驥ノ如キハ常ニ身邊ノ危險ヲ感シ居ル程ニテ客月中旬總商會ハ終ニ總會ノ決議ヲ以テ張學良ニ抗日會員ノ越軌行動取締方請求シタルニ依リ張學良ハ公安局及衛戍司令部ニ對シ嚴重之カ防壁方法ヲ講スヘキ旨密令スルト共ニ公安局ヲシテ西城粉子胡同ノ抗日會本部ノ家主タル文化教會ト協議ノ上抗日會ノ立退方要求セシメタル結果同會ハ客月十八日和平門外南新華街ニ借家移轉

ニ楯付クコトハ却テ彈壓ヲ受クル原因ヲ提供スルニ過キスト認メラルル一方丘公安局長ハ就任後極力警察力ノ強化ニ孜メ居ルヤノ報モアリ結局鄭ノ横死ハ林壽昌一派ノ没落ヲ招徠スルコトニ依リ覺ト爲ルモノト觀測セラル因ヨリ方聲濤ニ於テ林壽昌一派ヲ支援スルカ如キハ既ニ方ニ於テ處置ニ困シ居タル徒輩ナリシ次第モアリ現在ノ處想像シ得ス

既電所報補足旁々經緯報告申進ス

本信寫送付先

在華公使、在北平參事官、上海、南京、奉天、漢口、廣東、廈門、汕頭各公館長

在滿大使

台灣總督、台軍司令官、馬公司司令官

~~~~~

774 昭和7年11月18日

在中国矢野大使館參事官より  
内田外務大臣宛

北平各界抗日救国会の日貨排斥状況と張學良の取締りについて

機密第六二二號

(接受日不明)

セリ

然ルニ其ノ後同會員ノ軌外行動ハ益々甚シク本月ニ入りテヨリモ三日前門大街裕順興布莊四日東城王府井大街中原公司五日西單大街西單商場内宏慶亨洋貨店及地安門外通興長洋貨店ニ對スル爆彈投擲事件等頻發セルヲ以テ本官ヨリ市長ニ對シ右嚴重取締方竝居留民ノ保護方ニ付申入置キタルコトハ當時電報ヲ以テ及報告置キタル處其ノ後ノ調査ニ依リ右ハ何レモ鐵血鋤奸團ノ所爲ナルコト判明シ之カ取締ニ當レル中國官憲側ト抗日會トノ關係ハ益々惡化シ來レル處最近公安局ニ於テハ秘密幹部會議ノ結果之カ取締警戒法トシテ學費ニ窮セル大學生、貧困ノ車夫、乞食等ヲ買収シテ裏面ヨリ徹底的搜查ニ從事セシムル方針ヲ樹テタル趣ナリ尙目下抗日會内ノ最有力者ハ工聯合會ノ曹子明、彭養才、記者公會ノ白陳群、市黨部ノ楊霄宇、市商會ノ郭叔良等ニシテ之等數人ニ依リテ一切ノ會務ヲ操縱シ殊ニ曹、白ノ兩人ハ又鐵血鋤奸團ノ元締トシテ會内ニ重キヲ爲シ商會ノ郭叔良ノ紹介ニ依リテ毎月各商店ヨリ多數ノ金錢ヲ供給セシメ居リ現ニ彼等ハ數萬金ヲ蓄積セル趣ナルカ一方之等少數幹部員ノ獨裁專橫行爲ニ憤慨セル會員モ少カラズ前ニ抗日會

紛糾ノ結果(七月十三日附公第三九一號拙信参照)現抗日會  
員ヨリ驅逐セラレタル北平各界工會救國聯合會系ノ舊抗日  
會員ハ公然現抗日會ノ種々不法行爲ヲ摘發シ市黨部及市政  
府ニ對シ之等一部專横ナル幹部員ノ更迭ヲ主張シタル結果  
之カ内情ヲ知悉セル當局ニ於テモ愈之カ更迭ヲ期シ目下市  
黨部ト舊抗日會側ト協議ノ上後任者ヲ詮衡中ノ趣ナリ  
右報告ス

本信寫送付先 公使 天津 南京 在滿大使

775 昭和7年11月30日 在濟南西田總領事より  
内田外務大臣宛(電報)

天津、上海の排日運動が青島に波及した際に  
はその影響を免れないとの見通しについて

濟南 11月30日後發  
本省 12月1日後着

第三九八號

貴電第二一九七號ニ關シ

當館管内ニ於テハ目下ノ處特ニ顧維鈞ノ「ボイコット」演  
說ニ刺戟セラレ排日貨運動擡頭ノ氣配ナキモ將來天津、上

宜昌における排日は慢性的となりつつある状  
況について

機密往信第一七〇號

(12月1日接受)

昭和七年十二月一日

在宜昌領事館事務代理 猿渡 孝

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

宜昌排日狀況報告ノ件

當地排日運動ハ依然救國會ノ手ニテ續行セラレ居ルモ從來  
ニ比シ何等惡化セルヲ見受ケス國際聯盟方面ノ形勢モ余リ  
影響ヲ及ホシ居ラス現在當地排日狀況大略次ノ如シ

一、救國會ハ全然縣黨部ノ掌中ニ在リ其排日工作トシテ

(イ)各月初旬日貨検査員ヲ二十名ニ増加シ海關、郵務局各  
碼頭及汽船等ニ就キ日貨検査ニ努力セルモ間モ無ク之  
ヲ減員セリ検査員ニ依リテ検査セラレタル日貨輸入者  
ハ貨物没收ノ上罰金ニ處シ居ル由ニシテ此種被害者ハ  
屢々發生シ居レリ當地海關員ノ話ニ依レハ外國船ニテ  
輸入セラルル日貨相等多額ニ上ル見込ナルモ確實ナル  
計數不明ナル由ナリ

(ロ)國貨提倡ノ名目ニテ從來經營シ來レル興國工廠(各種

海ニ於ケル排日貨運動青島ニ波及スルコトアラハ當地方面  
モ其ノ影響ヲ免ルヲ得サル懸念アリ

一、棉花産地タル夏津、高唐等ノ輿地方面ニ於テハ從來邦商  
買上ノ棉花ノ代價トシテ棉花商ニ對シ綿絲布ヲ現物ニテ  
引渡シ來リタル處最近右綿絲布ノ受取ヲ喜ハサル氣勢ア  
リ相當排日貨潛行氣分アルモノノ如キモ右ハ滿洲事變後  
ノ一般の影響ニ依ルモノニシテ今次顧維鈞ノ演說ニ原由  
スルモノトハ認め難シ

二、最近天津除奸團ヨリ當地日貨取扱ノ支那雜貨商店ニ脅迫  
狀送付ノ事實アリタルモ當地ニ於テハ現在日貨ノ取引ハ  
一般ニ滞リナク行ハレツツアリ只十月下旬以降綿絲ノ先  
物契約著シク減少セルモ他面綿絲布現物ノ取引相當行ハ  
レ居ル點ヨリ見テ右ハ紡績會社筋ノ賣値高唱ヘニ基クモ  
ノニシテ特ニ排日貨運動ノ現レト見ルヲ得ス御參考迄  
公使ヨリ上海及商務參事官ヘ轉報アリタシ  
支、北平、青島、天津、南京、漢口ヘ轉電セリ

776 昭和7年12月1日 在宜昌猿渡孝領事館事務代理より  
内田外務大臣宛

手藝品製造ハ收支償ワス十月下旬閉鎖セリ

(イ)所存日貨登記ニ關シテハ沒收罰金等ノ處罰方法ヲ以テ  
之ヲ商人ニ強制シ居ルモ余リ成績良好ナラサル趣ニテ  
救國會ハ從來徵シ來レル登記費ヲ免シ登記實行方督促  
シツツアリ尙市内各商店ハ尙相等多數ノ日貨ヲ所有シ  
居ルモノノ如シ

(ロ)反日宣傳ニ關シテハ黨部及救國會作成ノ救國壁報市中  
要所ニ貼付セラレ居リ又救國特刊ナル小型新聞四頁ノ  
モノヲ一週一回黨部機關紙中山日報ヨリ發行シ居リ最  
近ハ附近各鄉村ヘ屢々會員ヲ出張セシメ各種宣傳工作  
ニ從事セシメツツアリ

三、當地各新聞ハ滿州ニ於ケル義勇軍活動狀況聯盟方面ノ形  
勢等割合ニ敏速ナル報導ヲナス一方論說等ニ於テ排日の  
言辭ヲ弄シ居ルモ何レモ陳腐ニシテ聞クニ足ルモノ無シ  
要スルニ救國會、新聞等ノ排日運動ハ表面活潑ナラサルモ  
尙持久力アルヲ感セラレ一般民衆ノ邦人ニ對スル反感モ微  
温の乍ラ漸次慢性的トナリツツアルモノノ如ク特殊ナル立  
場ニ在ル漆商以外ノ邦商店ハ全く顧客無キニ非ルモ抄々シ  
キ恢復ハ目下希望シ得サル狀態ニアリ

右御参考迄ニ報告ス

本信送付先 在支公使 漢口總領事

777 昭和7年12月2日 在漢口清水總領事より  
内田外務大臣宛(電報)

鄭州、開封の排日状況視察について

漢口 12月2日後発  
本省 12月2日後着

第七〇八號

往電第七〇一號ニ關シ

小官鄭州開封視察ノ上卅日歸還シタリ開封ハ排日氣分濃厚ニシテ日貨ハ排日團體ノ爲ニ其取引ヲ禁止サレ居リ鄭州ハ排日空氣幾分緩和シ居リ商民ハ日貨ノ販賣及邦人ニ對スル土貨ノ賣却ヲ希望シ居ルモ抗日團體今尙可ナリ活動シ居ル爲日貨ノ表向キ販賣及邦人ノ土貨買入レハ當分見込ナキモノト認メラル

鄭州ニテハ目下ノ處特ニ支那側ヲ刺戟スヘキ新事態ノ發生セサル限リ邦人ノ在留ニハ危險無キモノト認メラレ日本棉花ニテハ棉花ノ買入ニ努ムル爲店員一名ヲ止メ尙都合ニ依

リテハ更ニ一、二名ヲ派遣スル豫定ニ付當館ニテモ店員保護

護同地ノ排日其他狀況注意ノ爲來栖警部ヲ殘シ必要ノ場合ニハ更ニ巡查一名ヲ出張セシムルコトシタリ尤モ新事態ノ發生(例へハ我方熱河出動ノ如キ)其他ノ對日感情惡化ノ場合ニハ直ニ引揚クル様來栖及棉花店員ニ篤ト注意シ置キタリ委細公信

支、滿、北平、南京、濟南、廣東、青島、奉天、福州へ轉電セリ

778 昭和7年12月2日 在廣東吉田總領事代理より  
内田外務大臣宛(電報)

廣東における邦商の取引きは密輸入を除きはば絶無の状況について

廣東 12月2日後発  
本省 12月3日前着

第六九一號

本官發聯盟代表宛電報

第一號

當地最近ノ排日狀況左ノ通

(一)排日團體等ノ越軌行動ニ付本官再三ノ注意ニ基ク中國側

官憲取締ノ結果幸ヒ邦人ニ對シ直接行動ニ出ツルモノハ殆ト無キモ(尤モ當館自動車運轉手ハ屢脅迫セラレ居ル由)對日「ボイコット」ハ依然峻烈ニシテ邦商ノ取引ハ極メテ少量ツツノ密商ヒノ外殆ント絶無ノ狀態ナリ

其ノ間華商ニテ所謂仇貨ナル廉ニ依リ其ノ商品ヲ沒收或ハ燒却セラルルモノ毎日數千ニ達スル外

(二)十一月八日釐金局ハ邦商ノ輸入ニ係ル海産物及綿布等價格廣東銀七千余元ヲ釐金未納ヲ口實トシ脅迫押收シタルカ當館ヨリノ抗議ニ依リ十一月十七日迄ノ間二二回ニ亘リ漸ク返還シタル事件アリ

(三)救國會ハ同會検査員李麗生及尹榮ナル者ヲ「二人共謀シテ華商ノ輸入ニ係ル魔法壘十四函ヲ仇貨ナリトテ押收ノ上店主ニ對シ賄賂ヲ強要シタル」廉ニ依リ黨部ヲ動かシ何等正式裁判ニ附スルコト無ク十一月二十一日公安局ノ手ニ依リ死刑ニ處シタリ

(四)次イテ十一月二十九日救國會ハ「今後此ノ種(前項)愛國運動破壞者ハ總テ收賄ノ多寡ヲ論セス一律死刑ニ處スヘキ」旨(旨)布告セルカ之ヨリ先

(五)市黨部ハ十一月二十四日市商會ヲ初メ各同業組合ノ代表ヲ招集シ「對日「ボイコット」ハ國家ノ前途ノ爲已ムヲ得サルニ出テタル次第ニ付各商民モ精々之ヲ勵行シ今後ハ國貨ノ提倡ニ務メラレ度シ」トテ排貨運動ヲ激勵セル事實アリ

右御参考迄  
大臣、滿、奉天、支、北平、天津、漢口、青島、南京、福州へ轉電セリ  
支ヨリ上海へ轉報アリ度シ

779 昭和7年12月3日 在漢口清水總領事より  
内田外務大臣宛(電報)

中國側金融機關による日本側との取引拒否の状況について  
漢口 12月3日後発  
本省 12月3日後着

第七一一號

當地ニテハ本年四月警備司令部ニ於テ排日諸團體ノ解散ヲ命シ黨部ニ對シテモ或ル程度ノ壓力ヲ加ヘテ以來漸次日貨

ノ輸入旺盛トナリ七月ニ入りテハ一時除奸團ノ潛行的活動ヲ見タルモ之亦間モナク支那側當局ノ取締ニ依リ其跡ヲ絶チ今ヤ日貨ハ何等ノ妨害ナク市中ヲ公然運搬セラレ居ルカ唯支那側銀行及錢莊業者ハ何レモ滿洲事變直後ノ組合ノ決議ニ依リ依然日本人トノ取引及爲替勸定等ノ決濟ヲ拒ミ居ル結果本邦商社ハ支那商振出ノ約束手形及小切手ノ取立ヲ外國銀行ニ委託シ辛フシテ代金ノ決濟ヲ爲シ居ルモ日常ノ取引上蒙ムル不便利鮮カラサルノミナラス多大ノ危険ヲ負擔セシメラレ居レリ當地反日運動ノ終熄セル今日支那側金融業者カスル態度ヲ持シ居ルハ市中ノ反日空氣尙去ラサル折柄聯盟關係等ニ依リ對日空氣惡化スルコトナキヲ保シ難キ爲反日分子ノ金錢強要ヲ警戒シ居ル爲ト認メラル例ノ通轉電セリ

780 昭和7年12月6日 在南京上村總領事代理より 内田外務大臣宛(電報)

南京における日本語による反日放送の中止を 劉外交次長に要求について

様ニ依リ更ニ嚴談スヘキモ右不取敢 公使、北平へ轉電セリ

781 昭和7年12月7日 在広東吉田總領事代理より 内田外務大臣宛(電報)

日貨取扱いは死刑に処するとの救国会全体 會議決議について

広東 12月7日後発 本省 12月7日後着

第七〇〇號 往電第六七六號ニ關シ

新聞所報ニ依レハ六日ノ救國會全体會議ハ爾今日本商店ニ出入スル仲買人ニシテ仇貨取扱ヒノ確證アル者ハ救國破壊ノ罪(死刑ヲ意味ス)ニ處スヘキ旨議決セル由右ニ付早速當局ノ注意ヲ喚起シ置ケルモ不取敢 支、南京、北平、滿、聯盟全權へ轉電セリ 支ヨリ上海へ轉報アリ度シ

南京 12月6日後発 本省 12月6日後着 第七九三號 貴電第八三號ニ關シ

本官事務打合ノ爲上海ニ出張セル處外交部ノ劉次長モ亦上海ニ滞在中ナリシヲ以テ五日劉ト會見シ本官ヨリ南京ニ於ケル日本語放送中止方ニ付テハ曩ニ貴次長ノ注意ヲ喚起シ置キタルカ(往電第七七五號第七七六號及第七七八號参照)其ノ後モ南京ニテ放送局ハ日本語ニ依リ惡宣傳ヲ續ケ居ル爲遂ニ政府ヨリ之ヲ中止セシムル様嚴談スヘシトノ訓令ニ接スルニ至レリト前提シ日本語放送ノ百害アツテ一利無キ所以ヲ述ヘ至急中止スル様説得ニ努メタル處劉ハ結局ニ於テ本官ノ所論ニ服シ早速南京ニ歸リ中止セシムル様努力スヘキ旨ヲ述ヘタルカ劉ハ同時ニ日本ノ新聞ハ外交部カ本件ニ關スル日本語側ノ抗議ニ依リ忽チ辟易セルカ如ク書キタル爲(殊ニ上海ノ邦字新聞中ニ甚シク書キタルモノアリ)外交部ノ弱腰ヲ攻撃スルモノ出テ外交部ノ立場弱クナリ困リ居ル次第ナリト確信無キ様子モ見ヘタルニ依リ本官ハ辭去ニ臨ミ更ニ本件中止ニ努力スル様激勵シ置キタリ今後ノ模

782 昭和7年12月7日 在南京上村總領事代理より 内田外務大臣宛(電報)

南京日本語反日放送中止問題に關し劉外交次 長より日本側の理解要請について

南京 12月7日後発 本省 12月8日前着

第七九八號 往電第七九三號ニ關シ

七日本官劉外交次長ト會見シ其後ノ措置振ヲ質シタル處劉ハ全然友人トシテ打明ケ話ヲ爲ス次第ニ付政府ニ報告等ハセサル様願度シト前提シタル上支那側ノ對日空氣ハ御承知ノ通險惡ニシテ本件日本語ノ放送問題ノ如キモ日本側ヨリ文句出テタルヲ以テ中止セヨ等ト云ヘハ非國民ナリト罵ラレ之等ノ輩ト正面衝突ヲナス虞アリ依テ自分ニ於テ問題ヲ紛糾セシメサル様各方面ト旨ク話ヲ進メツツアル次第ナルニ依リ今暫ク御待チヲ願度シトノ趣旨ヲ答ヘタルニ依リ本官ハ一應劉ノ意嚮ヲ諒トシ此ノ上トモ一層努力アリ度キ旨ヲ述ヘ置キタリ 尙劉ハ本件交渉ノ次第外部ニ現ハルル時ハ外部ノ反對盛ト

ナリ問題紛糾ス可キニ付新聞等ニハ發表セサル様願度キ旨  
繰返シ述ヘ居タルニ付右御含ミヲ請フ  
冒頭往電ノ通轉電セリ

783 昭和7年12月10日 在福州守屋総領事より  
内田外務大臣宛(電報)

排日運動激化の状況と郵射殺事件の影響について

福州 12月10日後発  
本省 12月10日後着

第三五八號

本官發聯盟代表宛電報

第二號

十一月以降ノ排日ノ狀況ヲ綜合スルニ

一、初旬ニ於テハ連日不良分子ノ直接行動最頂點ニ達シ(脅  
迫狀ノ送付、日貨運搬、支那人「クローリー」ニ對スル暴  
行脅迫、運搬中又ハ支那人ノ買求メタル日貨ノ奪取並ニ  
日貨取扱商ニ對スル暴行、金銭的及肉体的制裁及在庫日  
貨ノ燒棄)日貨ハ殆ント取引中止ノ姿ナリシ處十日不良  
分子鄭維新ナルモノ公安局長ニ反抗セル爲銃殺セラレテ

引用電報大臣ヨリ壽府へ轉電アリ度シ(事態再ヒ惡化ノ  
兆アリ  
大臣へ轉電セリ

784 昭和7年12月17日 在天津桑島総領事より  
内田外務大臣宛(電報)

天津日本總領事官邸への爆彈投入れについて

天津 12月17日前発  
本省 12月17日前着

第四七二號

十六日午後六時五十分頃「ビクトリヤ」公園内ヨリ本官々  
邸ニ爆彈ヲ投シタル者アリ堀ノ外側ノ根ニ落ちタル爲其ノ  
一部ヲ僅ニ破損シタルノミニテ他ニ何等被害ナシ本人ハ直  
ニ逃走シ目下英工部局ニテ嚴探中ナルモ何等手掛ナシ  
支ヨリ上海へ轉報アリタシ  
支、北平、南京、青島、濟南、滿、奉天へ轉電セリ

785 昭和7年12月18日 在天津桑島総領事より  
内田外務大臣宛(電報)

以來直接行動ハ激減シタルモ(日貨取引稍取戻シタルモ)  
福州市内ニ於テハ今日猶發生ヲ見往電第一號(一)ノ事故ノ  
外ニ最近更ニ十一月二十四日及十二月七日ニ同様ノ事故  
發生セリ

二、鄭ノ銃殺ハ無賴漢ヲ恐怖セシメタルモ彼等ハ各地ノ排日  
諸團體ニ檄シテ局長彈劾ヲ行ヒ當地新聞之ニ加擔シ一方  
鄭ノ近親者ニ於テ民衆ニ哀訴シ又裁判所ニ訴追スル等ノ  
コトアリ事態紛糾シ局長ノ背景タル十九路軍特ニ蔣光鼐  
ノ聲譽ニモ影響スル惧レアルニ至リ十一月下旬ニ至リ不  
良分子ト妥協シ鄭ノ遺族ニ慰謝金ヲ贈ルト共ニ不良分子  
ノ一派ヲ公安局職員ニ採用セリ然ルニ此ノ一派ハ賭博及  
阿片煙館ノ檢舉ニ名ヲ藉リ收賄掠奪ヲ事トシ再ヒ問題ヲ  
起シ十二月五日頃ニ至リ其ノ一部ハ局長ニ依リ免職又ハ  
懲戒セラレタリ往電第一號(二)ノ事件ハ前記不良分子カ十  
一月二十八日ニ臺灣人ニ對シテ爲シタル不法行動ナリ  
三、日貨排斥ハ愛國の運動ナリトノ宋子文ノ聲明南京ヨリ各  
地ニ電報セラレ當地民衆救國會ハ黨部ノ指導ニ依リ十二  
月五日以後再ヒ活動ヲ開始シ公然「プログラム」ヲ公表  
シテ排日宣傳ヲ爲シツツアリ(大臣宛第三五六號參照本

天津日本總領事官邸への爆彈投擲事件につき  
于河北省主席等遺憾の意表明について  
天津 12月18日前発  
本省 12月18日前着

第四七四號

往電第四七二號ニ關シ

十七日干學忠及周市長ノ代表本官ヲ來訪シ見舞ヲ述ヘ取締  
不行届ニ對シ遺憾ノ意ヲ表シタリ  
十六日夜八時五十分頃支那町ニ在ル商民救國會ニモ爆彈ヲ  
投下シタル者アリ該爆彈ノ炸裂ニ依リ下手人ラシキ一支那  
人負傷死亡セリ  
冒頭往電聯盟代表ニ轉電セリ  
支、北平、南京、青島、濟南、滿、奉天、聯盟代表へ轉電  
セリ  
支ヨリ上海へ轉報アリ度シ

786 昭和7年12月19日 在漢口清水總領事より  
内田外務大臣宛(電報)

抗日救国会による日貨押収事件に関し同会の

解散を警備司令に要求について

漢口 12月19日後発  
本省 12月19日後着

第七二八號

九江發本官宛電報

第一三六號

大臣へ轉電アリタシ

第一四三號

當地抗日救國會ハ久シク活動ヲ停止シ居リ有耶無耶ノ中ニ殆ト解消シタル形ナリシ處國際聯盟ノ空氣等ニ刺戟セラレタル爲ニヤ最近又復策動シ始メタルニ付當館ニ於テハ同會ノ行動ヲ注視中ナリシ處偶本邦商草場洋行力陶器用染料ヲ内地ヨリ輸入シ民船ニ積換ヘ奥地ヘ運搬セントシタル際同會検査員ノ爲抑留セラレタル事件アリ(昨年滿洲事件發生以來邦商取扱品ノ抑留セラレタルハ今回ヲ以テ嚆矢トス)當館ニ於テハ前記草場洋行ヨリノ訴出テニ依リ直ニ警備司令及縣長ニ對シ電話ヲ以テ急報シ適切迅速ナル措置ヲ採ラン事ヲ要求スルト共ニ一面公信ヲ以テ押收品ノ返還方並ニ同會ノ嚴重ナル取締方ヲ要求セリ然ル處間モ無ク縣長

若クハ痰ヲ吐キ掛ケラレタル事例二三件發生セルノミナラス大學生風ノ支那人青年數名カ列ヲ爲シ日本租界内歩道ヲ歩行中ノ本邦婦人ノ道ヲ遮リテ車道ニ回避セシメタル例又ハ租界内兒童遊園地ニテ遊戯中ノ小學生ニ投石微傷ヲ負ハシメタル例モアリ當館警察ニテハ爾來在留邦人ニ注意警戒方示達スルト共ニ私服ノ巡察隊ヲ組織シ三十分毎ニ租界内ヲ警戒シ居ル處投石事件ノ如キハ上海事件當時以來殆ト打絶エ排日傳單ノ如キモ六七七月後迄ニ全部影ヲ消シタル次第ナルニ二十八日漢陽ニテハ「(不明)東北失地ヲ恢復セヨ」「對日經濟絶交ヲ勵行セヨ」等ノ傳單新ニ貼附セラレ居ルニ鑑ミ右ノ如キ對日空氣ノ惡化ハ三中全会ノ結果黨部方面ヨリ反日命令ヲ發シタル結果ナルヤニ思料セラルルニ付支那側ニ對シ嚴重取締方申入ルル心組ナリ右不取敢  
支、滿、北平、南京、濟南、奉天、廣東、青島、天津、福州へ轉電セリ

788

昭和7年12月26日

在広東吉田總領事代理より  
内田外務大臣宛(電報)

救国会が日本紙取扱いの中国人四名を逮捕し

ヨリハ電話ヲ以テ又警備司令ヨリハ公文ヲ以テ夫々深甚ナル陳謝ノ意ヲ表明シ來ルト共ニ公安局ニ命シ取還ヘサシムル事トシタル旨(受取濟)並ニ今後ハ斯ル越軌ノ行動ヲ嚴重取締ル可キ旨回答越セリ依テ小官ハ折返シ先方ノ誠意アル措置ヲ深謝スルト共ニ斯ル不法團體ハ一日モ存在セシム可キニアラサルヲ以テ單ニ取締ノミニ止マラス此際更ニ一步ヲ進メ同會ヲ解散セシメ以テ兩國ノ國交ヲ益々敦睦ニセン事ヲ要求シ置キタリ右不取敢報告ス  
支ヨリ上海へ轉報アリタシ  
支、漢口へ轉電シ南京へ暗送セリ

787

昭和7年12月20日

在漢口清水總領事より  
内田外務大臣宛(電報)

領事館警察は私服の巡察隊を組織し租界内巡察を実施について

漢口 12月20日前発  
本省 12月20日後着

第七二九號

最近數日來和服ヲ着セル本邦婦人カ當地支那街通行中投石

死刑に処すべく策動中について

広東 12月26日後発  
本省 12月26日後着

第七三四號

一、當地救國會ハ本月十五日支那人ノ日本紙取扱機關ノアルヲ探知シ直ニ關係者トシテ何鐵、衛康、陸廷樞及何倭(船頭)ノ四名ヲ逮捕セル趣ノ處取調ニ依レハ連累者多數アリ而シテ彼等ハ過半数ニ亘リ三井物産賣込ノ用紙ヲ市内ニ搬入シ居リ十五日現場ヲ發見セラレタルモノナリト言フ  
二三井側ノ報告ニ依レハ右用紙ハ既ニ支那側ニ賣渡セルモノナルカ從來トモ毎月二三回宛彼等ノ手ニ依リ市場ニ供給セラレ居リ(富士製紙ニ於テモ同様)雙方共相當ノ利益アリタル處最近彼等ノ間ニ暗闘アリ救國會ニ密告シ居タル結果檢舉セラレタルモノナリト言フ  
三、救國會ハ目下連累ノ檢舉ニ努メ居ル一方前記四名ヲ一應取調ノ上公安局ニ送致セルカ廿三日同會々議ニ於テ救國運動破壊者ト看做シ一律ニ死刑ニ處スヘキヲ議決シ省市黨部ニ請訓セル趣傳ヘラレ居レリ

四、本件ニ對スル黨部側ノ態度ハ未タ明カナラサルモ斯ル事

件ノ影響スル趣重大ナルモノアルニ鑑ミ一兩日中本官市長ト會見嚴重警告ヲ試ミル所存ナリ  
支、北平、奉天、滿、天津、青島、濟南、南京、漢口、福州、厦門、汕頭へ轉電セリ  
支ヨリ上海へ轉報アリタシ  
香港へ暗送セリ

789 昭和7年12月29日 在広東吉田総領事代理より  
内田外務大臣宛(電報)

救国会による日貨取扱い中国人の逮捕に關し  
広東市長に嚴重警告について

広東 12月29日後発  
本省 12月30日後着

第七四二號  
往電第七三四號ニ關シ

其後ノ情報ニ依レハ四名ノ者ヲ死刑ニ處スルコトニ付テハ世上相當反對多キカ如ク恐ラクハ罰金位ニテ事濟トナルモノト觀測セラレ居ル一方彼等ヲ釋放スル時ハ曩ニ彼等ヲ告發セル者等ハ反對ニ其ノ行爲ヲ相手方ノ爲告發セラルル虞

惹起シタルモノナルニ付南支其ノ他ニ於テ今後モ引繼キ愛國運動ノ美名ノ下ニ救國會等ノ之等盲動ヲ制御セサルニ於テハ他日兩國間ニ不測ノ禍ヲ招來スルコト爲シト云フ能ハス政治家タルモノハ須ク將來ヲ慮リ早キニ及テ害毒ノ芟除ニ努ムヘキニ非サヤト思考スル」旨諄々ト説示シタル處市長ハ終始神妙ニ聽キ居タルカ「本件ハ更ニ真相ニ付充分調査ノ上御答ヘスヘシ」ト述ヘタルヲ以テ此日ハ一應之ニテ打切りタリ  
支、北平、奉天、滿、天津、濟南、青島、南京、漢口、福州、厦門、汕頭へ轉電セリ  
支ヨリ上海へ轉報アリ度シ

790 昭和7年12月29日 在広東吉田総領事代理より  
内田外務大臣宛(電報)

広東市長は救国会の日貨取扱い中国人死刑決議を否認について

広東 12月29日後発  
本省 12月29日後着

第七四四號

アル爲此方面ヨリハ處刑方ニ付熱心ニ運動セラレ居ルモノノ如シ本官ハ廿八日市長往訪ニ際シ本件ニ付尋ネタル處市政府側トシテハ新聞以外本件ニ關シ何等特殊ノ情報ニ接セサル趣ナリシヲ以テ本官ハ「本件ニシテ若シ事實ナリトセハ日支通商條約ノ精神ニ違反スルコト明カニシテ本官ハ之ヲ不問ニ付スルヲ得サル」旨述ヘタルニ市長ハ「本件ノ真相尙不明ナルモ救國會ノ工作ハ今や全國的支那民衆ノ運動ニシテ明カニ民意ノ發露ト見ルヘク政府トシテハ之ヲ俄ニ無視スル能ハサルハ勿論徒ニ該運動ヲ阻止スルニ於テハ却テ民衆ヲシテ激昂セシメ思ハサル重大ナル結果ヲ招來スルコト無シトセス貴官モ此點ヲ諒トシ政府ノ對救國會態度ニ付テモ同情ヲ以テ見ラレンコトヲ望ム」トテ救國會ノ行爲ニ付テハ放任スルカ如キ態度ヲ示シタルニ付本官ハ「民意ノ表示ハ法律上相當ノ機關ヲ通シテ爲サルヘク徒ニ私的團體ノ盲動ヲ以テ民意ノ發露ナル美名ヲ冠スル能ハサル」旨ヲ述ヘ更ニ「目下ノ救國會等ノ活動ハ往年袁世凱カ國賊條令ニ依リ條約上本邦人カ有スル正當ナル權益ヲ陰險ナル手段ニ依リ妨害セルト全ク同一ニシテ滿洲ニ於テ我國民ハ此不當ナル壓迫ヲ陰忍スルコト實ニ二十年遂ニ今日ノ事態ヲ

往電第七〇〇號ニ關シ

當時不取敢公文ヲ以テ傳ヘラルルカ如キ本件決議ノ事實アルニ於テハ事甚タ穩當ニアラサルヲ以テ救國會ヲシテ速ニ之カ取消ヲ爲サシメラレ度キ旨市政府ニ申入レ置キタルカ(原文郵送廿八日市長往訪ノ際本件ニ言及其後ノ成行ヲ尋ネタル處市長ハ「調査ノ結果斯ル決議ノ爲サレタル事實無キ事判明セリ」ト答ヘタルニ付本官ハ然ラハ其ノ旨公文ヲ以テ回答アリタキ旨ヲ申入レ市長之ヲ承諾セリ  
支、北平、南京、滿、巴里聯盟へ轉電セリ

791 昭和7年12月31日 在広東吉田総領事代理より  
内田外務大臣宛(電報)

日貨取扱い中国人四名の死刑執行について

付記一 昭和八年一月九日付友部(泉蔵)台湾總督府警務局長より生駒(高常)拓務省管理局長宛公信  
警高甲第五五号

広東救国会の国民党部宛死刑要求について  
二 昭和八年一月二十四日発在広東吉田総領事代理より内田外務大臣宛電報第四六号

右死刑執行に対する広東市長釈明について

広東 12月31日後発  
本省 12月31日後着

第七四九號

往電第七三四號ニ關シ

三十一日新聞所報ニ依レハ四名ノ者ハ省市黨部ヨリ公安局ニ命シ救國會幹部立會ノ下ニ三十日死刑ニ處セラレタル趣ナル處右ニ關シテハ過日市長往訪ノ際篤ト注意ヲ喚起シ置キタル次第モアリ不取敢眞相調査方電報ニテ督促シ置キタルカ追テ公文ヲ以テ何分ノ申入レヲナス筈ナルモ不取敢支、北平、奉天、滿、天津、青島、濟南、南京、漢口、福州、厦門、汕頭へ轉電シ香港へ暗送セリ  
支ヨリ上海へ轉報アリ度シ

(付記一)

警高甲第五五號

昭和八年一月九日

臺灣總督府警務局長 友部 泉藏 (印)

拓務省管理局局長殿

ナリトテ一律死刑ヲ議決シ二十六日付ヲ以テ省市党部宛別記一號ノ如キ死刑執行要求呈文ヲ上提セリ  
而シテ本件發生以來在留邦人間ニ於テハ

一、本件ハ日支通商條約ノ精神ニ違反スルモノナリ

一、斯ル罪狀ニ依リ死刑ニ處スルカ如キハ人道上看過シ能ハサル處ナリ

一、救國會ノ決議要求ニ基キ若シ政府ニ於テ之ヲ処罰スルトセハ政府自ラ排日貨運動ヲ支持スルモノニシテ國聯會議ニ於テ支那代表ノ日貨排斥運動ハ國民ノ自發的自衛策ニシテ政府ノ干與スル所ニアラストノ主張カ事實ニ非サルコトヲ立証スルモノナリ

一、日貨取扱者ヲ死刑ニ處スルガ如キハ日本ヲ交戦國トシテノ態度ニ外ナラス

等々ノ輿論沸騰シ二十六日夜ニ至リ居留民會議員其他有力者数名ハ日本人俱樂部ニ會合シ之カ対策ヲ討議シタル結果別記(二號)稟申書ヲ議員連名ヲ以テ總領事代理并ニ外務當局ニ提出スルコトニ決シ翌二十七日其ノ手續ヲ了シタル趣ニテ廣東ニ於ケル排日貨運動ハ時局ノ進展ト共ニ再燃スルニ非ヤト憂慮サレツ、アル情勢ニアリ

廣東民衆救國會ノ日本品取扱支那人不法逮捕ト

銃殺決議ニ関スル件

陳濟棠一派ノ廣東側要人ハ南京蒋介石派ノ勢力ニ對抗セン爲メ從來ノ廣東抗日會ヲ廣東民衆救國會ト改稱シ表面上海停戰協定及滿州國独立反對ヲ掲ケ各種民衆団体ヲリードシ專ラ南京派ノ糾弾ニ腐心シ他方ニ於テハ窃ニ西南軍閥ノ團結ヲ促スヘク策謀ヲ試ミタルカ其ノ後ニ於ケル排日貨主動者ハ其ノ實日貨ノ仲介賣買ヲ爲シ不當利得ヲ貪リ或ハ收賄スル等ノ事實陸續トシテ暴露シタル結果遂ニ内訌ヲ生スルニ至リ引テハ商團ヨリ却テ抗議ヲ受クル等ノ事態ヲ招來シ一時積極工作ヲ見サリシモ所謂九・一八デーニ接近スルト共ニ幾分復燃シ其ノ成行ハ樂觀ヲ許サ、ル状態ナリシ処臘十六日三井洋行輸入ニ係ル日本紙運搬中ノ船夫何僑(支那人)ナルモノ突如民衆救國會検査員ニ逮捕セラレ同人ノ陳述ニ依リ引續キ亞州酒店(旅館)五樓ニ宿泊中ナリシ取引商人何鉄、衛其康コト劉松柏、陸廷枢(何レモ支那商人)及ヒ前記何僑ノ四名ハ所謂仇貨包運者トシテ公安局ニ送致セラレタルカ救國會ニ於テハ同月二十三日第三十三執行委員會ヲ召集シ該案ヲ討議シタル結果救國運動破壞ノ証拠充分

右及通報候也

別記第一號

弊會ハ曩ニ第二十八次執行委員會議ニ於テ凡ソ日貨ヲ運鎖スル者ハ一律ニ救國運動破壞ノ罪ヲ以テ死刑ニ處スルコトヲ決議シ既ニ貴党部ノ察核ヲ受ケタル外一般民衆ニ對シコレヲ通告セリ、今弊會ハ第三十三次執行委員會議ニヨリ何鉄、何倭、衛其康、陸廷枢等四名ノ自白ニヨリ共謀シテ日貨ヲ私運セシ救國運動ヲ破壞セル証拠確實ナルヲ認メ第二十八次會議決議ニ基キ救國運動破壞ノ罪ニ依リテ、コレヲ銃刑ニ處シ省市党部ニ呈請シ省會公安局ニ對シテ至急刑ノ執行方ヲ轉請センコトヲ決議スルニ就テハ茲ニ其ノ一件記録并ニ四名ノ口述書四部ヲ添へ貴党部ノ察核ヲ受ク、貴党部ハ速カニ公安局ニ轉飾シ至急刑ノ執行方ヲ要請シ今次事件ニ鑑ミ將來ノ救國運動ニ利センコトヲ期ス

別記二號

稟申書

本年十二月六日廣東民衆救國會第二十八次全体執行委員會

ニ於テ日本商品ヲ取扱ヒタル華商ハ救國運動ヲ破壊スルモノトシテ反革命罪ニ照シ死刑ニ処ストノ決議ヲ発表シ一般ノ注意ヲ喚起セル処十二月十七日午後救國會検査員ハ河南ヨリ駁艇ニテ日本紙ヲ運搬中ノ華商并ニ運搬華人苦力四名ヲ抑留救國會ニ拘留シ訊問ノ結果十二月六日救國會決議條項ニ該当スルモノト認メコレヲ廣州市公安局ニ送致監禁セリ

同十二月二十三日廣東民衆救國會ハ第三十三次大会ヲ開キ監禁中ノ四名ハ日本商品ヲ買入レコレヲ運搬セル証憑十分ナルヲ以テ原議ニ照拠シ死刑ニ処スヘキコトヲ決議シ廣東省市党部ニ呈請スル所アリ

十二月二十六日廣東愚公報記事ニ拠レハ廣東省市党部ハ既ニ決議原案ニ許可ヲ與ヘ同日午後四時廣州市公安局ニ於テ死刑ヲ執行ヲ為ス旨報セラル事實ノ眞偽ハ尙不明ナルモ日本商品取引キ并ニ運搬ニ関與セル華商ヲ死刑ニ処スルカ如キ決議ヲナスコトハ其主体カ民衆団体タルト政府機関タルトヲ問ハス明カニ日支通商條約ノ精神ニ違反スルノミナラス人道上ノ見地ヨリスルモ見逃シ難ク如斯暴拳ハ中國各地抗日運動ニ於テモ未タ其ノ例ヲ見ス廣東ニ於テハ大正八年五月

(付記二)

広東 昭和8年1月24日後発  
本省 昭和8年1月24日後着

第四六號

客年往電第七四四號及第七四九號ニ關シ

一月廿三日附公文ヲ以テ市長ヨリ

(一)本邦人商社出入ノ支那人仲買人ヲ救國運動破壊者ト見做シ死刑ニ處ストノ決議ヲ救國會ハ會テ爲シタル事ナキ旨 (省黨部ノ回答ニ依ル由)及

(二)日本紙取扱ノ支那人何鐵外三名ヲ死刑ニ處セルハ事實ナルモ右ハ該四名ハ貨物運搬ニ名ヲ藉リ武器ヲ運ヒテ匪賊ニ供給シ居タルコト彼ノ自白ニ依リ判明シタルヲ以テ「懲治非常令」ニ照シ處刑セルモノナル旨

回答越シタリ右不取敢

奉天、滿、天津、支、北平、青島、濟南、南京、漢口、福州、厦門、汕頭ニ轉電シ、香港ニ暗送セリ  
支ヨリ上海ニ轉報アリ度シ

四運動以來未曾有ノ重大事件ニ有之事變發生以來深刻ナル打撃ヲ蒙リタル在留邦人ハ今次事件ニヨリ事實上全ク商取引キノ断絶ヲ招来シ之ヲ放置スルニ於テハ在留邦人多年開発ノ商權ハ根底ヨリ崩壊スル事態ニ立倒ルヘク誠ニ痛恨ニ不堪候抑モ廣東民衆救國會ハ客年九月滿州事變發生直後対日經濟絶交ヲ目標トシテ設立セル廣東各界抗日救國大会ヲ本年七月改組セルモノニシテ中國政府ハ常ニ合法的民衆団体ノ愛國運動ニシテ政府ハ全ク之ニ関與スル処ナシト声明セルニ不拘今次死刑事件ヲ検討スルニ救國會ハ死刑ノ決議ヲナシ之ヲ省市政府ノ母体タル党部ニ稟請其ノ察核ヲ經、政府ノ重要機関タル公安局ヲシテ刑ノ執行ニ当ラシムル仕組ニシテ如斯ハ過去ニ於ケル中國政府ノ声明ヲ裏切り政府カ直接抗日運動ノ領導指揮ニ任シタルコトヲ立証スルモノト認メラレ申候、就テハ如斯不合法且ツ非道ナル抗日機關ノ存在ハ日支國交ノ上ニ重大ナル事態ヲ發生スル惧アルハ勿論通商ヲ不可能ナラシムルニ付貴官ニ於テ即時正式<sup>撤カ</sup>撤裁方可然御交渉相煩ハシ度廣東日本居留民会ハ議員会ヲ開キ慎重審議ノ上右及稟申候也

敬具

792 昭和7年12月31日

在南京上村總領事代理ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

国民党中央の日貨排斥の指示に関する情報に

ついて

南京 12月31日後発  
本省 昭和8年1月1日前着

第八七〇號

三中全會ニ提出セラレタル伍朝樞等ノ抗日案ハ其ノ後如何ニ處置セラレタルヤ支那側ハ一切秘密ニシ居リ判然セサル處各方面ノ情報ヲ綜合スルニ同案ハ先ツ特殊外交委員會ニ於テ審査シタル後二十一日ノ大會ヲ通過シタリトノ説事實ナルカ如ク諜報ニ依リ中央黨部ハ差當リ日貨抵制ヲ實行スヘク各地黨部ニ對シ左ノ如キ密令ヲ發シタル趣ナリ

(一)一月一日ヨリ各地共日貨總檢査ヲ實行シ發見セル日貨ハ全部沒收スルコト

(二)若シ日貨ヲ輸入スル者アル時ハ人民ハ隨時當該黨部及抗日機關ニ告發スルコト

(三)各地黨部ハ隨時人民ノ抗日ヲ指導スルト共ニ商人ニ對シ排日貨方ヲ諭告シ若シ之ニ從ハサル者アル時ハ誤國罪ト

シテ處罰スルコト  
尙當地市黨部ノ如キハ市内商人ニ對シ新年店頭ニ貼出ス對  
聯ノ代リニ激越ナル抗日排貨ノ文字ヲ列ヘタル「ポスター」

一萬枚ヲ配付セル趣ニテ右ハ既ニ各店頭ニ貼出サレ居レリ  
支、北平、滿、奉天、天津、青島、濟南、漢口、廣東、福  
州、厦門、香港へ轉電セリ

付 不敬記事關係

793 昭和7年1月(10)日 在上海村井總領事より  
犬養外務大臣宛(電報)

桜田門事件に關する民国日報の不敬記事につ  
き吳市長に陳謝ならびに処罰を要求について

上海 発  
本省 1月10日後着

第一七號

九日ノ當地各新聞ハ「ルーター」其他ノ東京通信ニ依リ不  
敬事件ノ報道ヲ掲ケタル處民国日報(黨部機關紙)ハ「韓人  
日皇ヲ刺シ未タ當ラス」トノ題ニ「不幸ニモ僅カニ他車ヲ  
炸裂セルノミニテ犯人ハ直ニ逮捕セララル」トノ添書ノ見出  
シヲ附シ掲出シタルカ右見出ハ不敬ニ亘ルモノト認メラレ  
タルニ付十日附ヲ以テ市長吳鐵城ニ對シ抗議シ民国日報ヲ  
シテ該記載ヲ訂正且陳謝セシムルト共ニ責任者ノ處罰ヲ要  
求シ置キタリ

支へ轉報セリ  
北平、奉天、天津、青島、濟南、南京、福州、漢口、廣東

二轉電セリ

794 昭和7年1月(11)日 在青島川越總領事より  
犬養外務大臣宛(電報)

民国日報不敬記事に居留民激昂の状況について

青島 発  
本省 1月11日後着

第四號

(一) 過般ノ不敬事件ニ關シ九日當地機關紙民国日報ハ「韓國  
亡ヒス義士李某云々」ナル標題ノ下ニ同事件ノ概要ヲ報道  
セル處右標題ハ甚タ不敬ナルニ付直ニ公文ヲ以テ市政府ニ  
對シ嚴重抗議ヲ申入レ引續キ交渉中ナリ

(二) 在留邦人ハ大イニ激昂シ十二日居留民大會ヲ開催對策ヲ  
協議スルコトトナリタル趣ニテ又行政委員會ハ本日協議ノ  
結果本官ニ對シ民国日報ノ廢刊、黨部ノ解散ヲモ併セ交渉  
セラレ度キ旨申出テ居レリ尙邦人中ニハ黨部襲撃ヲスラ口  
ニスル者アリ情勢穩カナラス  
公使ヨリ上海へ轉報アリタシ

支、北平、南京、天津、濟南へ轉電セリ

# 八 中国排日問題

707 昭和7年1月5日

在広東須磨總領事代理より  
犬養外務大臣宛

排日取締りに関し程広州市長に嚴重注意喚起  
について

機密公第一一號

(1月19日接受)

昭和七年一月五日

在廣東

總領事代理 須磨 彌吉郎 (印)

外務大臣 犬養 毅殿

邦人ノ生命財産保護方申入レニ關スル件

今回ノ寺尾某殺害事件ヲ機トシテ廣州市當局ニ對シ抗日運動ノ取締邦人生命財産ノ保護方等ニ關シ重ネテ嚴重申入レ置キタル次第ハ既電ノ通りナル處右市長宛公文寫別添送付ス御査閱相成度

本信寫送附先 福州、南京、厦門、汕頭

中華公使、北平參事官、奉天、天津、上海、香港

(別添)

日領第一號

昭和七年一月三日

在廣東

總領事代理 須磨 彌吉郎

廣州市長 程天固殿

拜啓陳者從來當地ニ於テハ國民政府ノ對日親善政策ノ確立等ニ依リ何等他各地ニ於ケルカ如キ不祥事モ發生セス幸ヒ今日迄先ツ以テ無事ニ經過セル處極メテ最近ニ至リ邦人ノ生命財産保護方ニ關シ貴方官憲ヨリ本總領事ニ對シ公文又ハ口頭ヲ以テセラレタル誓約ヲ覆ス事例瀕發ノ狀態ナルハ本總領事ノ寔ニ遺憾トスル處ニ有之候現ニ抗日會ニ依ル邦人貨物ノ拘留、邦人留守宅遺留品盜難事件等二次キ今回又々寺尾某殺害事件ノ發生セルアリ右等ニ就テハ貴方ニ於テモ充分責任ヲ感セラレ居ルモノト思考致候處要スルニ此ノ種事件ノ瀕發ハ主トシテ貴方取締ノ弛緩ニ基因スルモノ

ト被認候ニ付テハ此ノ際關係各方面ニ對シ邦人ノ生命財産保護方ニ關シ一層留意方嚴重飭令相成ルト共ニ排日標語等ノ如キモ民心激發ノ虞充分ナルノミナラス現ニ公安局太平分局ノ揭示板ニ別添寫眞ノ如キ排日標語ヲ貼付シアルニ至リテハ民衆取締ノ責任アル官憲スラ排日運動ヲ默認セラレ居ルモノト認ムルノ外無之候ニ付テハ此種ノ標語類ハ直ニ撤去方御手配相成リ更ニ將來モ嚴重取締方特ニ深甚ナル御注意ヲ喚起致度候此段照會旁々得貴意候 敬具

708 昭和7年1月12日

在福州田村總領事代理より  
犬養外務大臣宛(電報)

厦門抗日會の解散を林知淵に要求の旨厦門領  
事に通報について

福州 1月12日後発

本省 1月13日前着

第三〇號

本官發厦門宛電報

第二二號

往電第一七號ニ關シ

林知淵十二日午後來館ノ際大臣宛貴電第八號及第一〇號ノ次第ヲ告ケ既ニ上級行政官廳及黨部ニ於テ反日會解散ヲ斷行スルコトナリタル以上省政府ヨリノ命令カ厦門ニ於テ下級官廳及黨部ノ爲ニ勵行セラレサルカ如キハ甚々奇怪千萬ト云フヘク厦門來電ニ依ルモ反日會ノ存在ハ舊年末ヲ控ヘ一般商人ニ多大ノ苦痛ヲ與ヘ居ルノ實情ニ鑑ミ此際厦門モ當地同様ノ措置ニ出テラルルコト相互ニ取リ望マシク同シ省内ニ在リテ厦門ニ於テ之カ存在ヲ見ルニ於テハ驢テ將來當地同運動ノ再起ヲ見ルノ危險アリ斯クテハ今回折角ノ解決モ無意義トナリ彼我ノ關係一層紛糾ヲ來ス惧アルニ付何トカシテ厦門反日會ノ解散方ヲ斷行セシムル様電報方要求セルニ對シ林ハ黨政軍連席會議ニテハ單ニ福州反日會ノ解散ヲ決議セルニ止マリ厦門ノ分迄含メル譯ニハ非サルモ大体同一方針ニ出テシムル考ニテ林司令及市長ニ打電シタル處林ヨリハ別ニ解散ヲセストハ申來ラス唯困難ノ事情アル旨述ヘ來リ市長ヨリハ未タ何等回答ニ接セストノコトナリシニ付本官ハ主義上ヨリ云フモ福州厦門同一ノ狀態ヲ必要トスルヲ以テ既ニ貴官ヘハ當地ノ經過モ電報シ置キタルニ付林司令ニ於テ右ニ關シ篤ト接洽方電報スル様希望シ置

キタリ御參考迄  
支ヨリ上海へ轉報アリタシ  
大臣、支、汕頭、廣東へ轉電セリ

709 昭和7年1月13日 在広東須磨総領事代理より  
犬養外務大臣宛

今後の排日運動は党部指導の下に統制される  
傾向について

機密公第六〇號 (1月28日接受)

昭和七年一月十三日

在廣東

總領事代理 須磨 彌吉郎 (印)

外務大臣 犬養 毅殿

黨部ノ排日運動統一ニ關スル件

當方面ノ抗日運動ヲ概觀スルニ滿洲事件勃發直後ノ自發的  
無統制ノ運動ヨリ漸次他動的統制アル運動ニ轉換セントス  
ル傾向ニ在リ右ハ永漢馬路事件ニ依リ進退谷リタル當局ニ  
於テ一面民衆ニ迎合シツツ一面巧ミニ之ヲ指導スル方針ヲ  
執リタルニ依リ轉換セラレタル次第ナル處一方南京方面ノ

710 昭和7年1月14日 在南京上村領事より  
犬養外務大臣宛(電報)

行政院發布の排日取締り令について

南京 1月14日後発  
本省 1月14日後着

第三三號

漢口發閣下宛電報第一一號ニ關シ

本件通令ハ五日本官ヨリ陳友仁ニ對シ排日取締及邦人保護  
ニ關シ一層適切ナル手段ヲ取ル様申入レタル結果(大臣宛  
拙電第一五號)政府會議ノ議ヲ經テ行政院ヨリ命令スルニ  
至レルモノナルカ排日取締ニ付テハ明様ニ明令スルハ却テ  
面倒ヲ起ス虞アリ先ツ第一回ノ通令ハ此ノ程度ニテ其ノ效  
果ヲ見極ハムルコトトナリタル次第ナル旨陳覬鼎ヨリ本官  
ニ辨明セル處アリタルヲ以テ本官ハ具體的ニ一層適切ナル  
排日取締ヲ實行スル様一々事實ヲ舉ケテ其ノ注意ヲ喚起シ  
置キタリ

漢口發大臣宛電報第一一號濟南、青島、廣東、厦門、汕頭、  
蕪湖、蘇州、杭州、芝罘へ轉電セリ、公使ヨリ上海へ、濟

學生運動ノ刺戟ヲ受ケ當方面ノ學生モ馬占山援助、抗日講  
演隊組織等著シク自發的活動ヲ續ケ來レルモ右運動ニ何等  
ノ統制無ク自然運動ノ實効少キノミナラス往々社會ニ弊害  
ヲ與フル結果トナレルヲ以テ有識者間ニハ早クモ無自覺且  
無統制ナル抗日運動ニ反對スル傾向濃厚トナリ當局ニ於テ  
ハ曩ニ客年十一月各地ノ排日會ヲ抗日分會ト改メ廣東各界  
抗日救國大會(抗日大會ト略稱ス)ノ統制ニ歸屬セシメタル  
カ今般更ニ私的排日團體取消方ヲ命令セルモノノ如ク當地  
商界對日經濟實行委員會ニ於テハ市黨部民衆訓練委員會ヨ  
リ照會アリタル趣ヲ以テ一月十一日對日會ヲ取消シ今後ノ  
排日工作ハ全部各界抗日大會ニ於テ辦理スルコトトナリタ  
ル旨公表セリ

尙抗日大會ニハ市黨部民衆訓練委員會ヨリ有力黨員ヲ指導  
員トシテ派遣シ居ルヲ以テ今後ノ抗日運動ハ漸次黨部指導  
ノ下ニ統制アル工作ヲ續行スヘク從テ排日取締ニ關シ從來  
ヨリモ稍々効力ヲ舉ケ得ルヤニ思料セラル  
右報告申進ス

本信寫送附先

在華公使、北平參事官、奉天、天津、上海

南ヨリ坊子、張店、博山へ暗送ヲ乞フ

往電第一五號北平、天津、青島、濟南、沙市、漢口、九江、  
長沙、宜昌、蘇州、杭州ニ暗送セリ

支、北平、天津、青島、濟南、漢口、廣東、福州、蘇州、  
九江、沙市、宜昌、蕪湖、芝罘、厦門、汕頭へ轉電セリ  
漢口ヨリ長沙へ轉報アリタシ

711 昭和7年1月14日 在厦門三浦領事より  
犬養外務大臣宛(電報)

厦門における反日会解散の時機に關し福州総  
領事へ照會について

厦門 1月14日後発  
本省 1月14日後着

第一四號

本官發福州宛電報第二號

貴電第二二號ニ關シ

貴官段々ノ御盡力ニ依リ貴地ノ外福建省全体ニ對シ反日團  
體解散命令ノ發セラルルニ至リタルハ御同慶ノ次第ニテ當  
地トシテモ反日團體ヲ解散セシムル事ニ付テハ主義上全然

異論無キ處ナルカ當地ハ貴地ト聊カ事情ヲ異ニスル點モアリ此際福州ノ反日會カ解散ヲ命セラレ乃至ハ省政府ヨリ省内全体ニ對シ反日會ノ解散命令發セラレタリト言フヲ楯ニ無理押シニ當地ニ於テ反日會ノ解散ヲ迫ル事ハ聊カ其時期熟セサルヤニモ存セラレ又其結果如何ニ付テモ案セラルルニ付テハ差當リ貴地連席會議ノ決議ニ基ク前記命令ノ徹底方此上トモ貴官ヨリ「ブツシュ」セラルル事ト致シ度シ尙當地ノ狀況ニ付テハ大臣宛報告拙電第一五號ニ依リ御了悉相成様致シ度シ

大臣、支、上海、南京、北平、奉天、汕頭、廣東へ轉電セリ

712 昭和7年1月15日 在厦門三浦領事より  
芳沢外務大臣宛(電報)

反日団体解散問題に関し厦門においては当分  
静觀を得策とする旨意見具申

厦門 1月15日後着  
本省 1月15日後着  
第一五號

ル反感漸次増大シツツアルノミナラス多量ノ滞貨ヲ擁シテ舊年末ニ逢著シ脊ニ腹ハ代ヘラレス何トカ局面打開方折角腐心中ナル狀況ナルニ付排日貨モ此方面ヨリ漸次緩和スルノ情勢ニアリ

三然ルニ省政府ヨリ命令アリタルノ故ヲ以テ藪カラ棒ニ反日団体ノ解散ヲ命シ平地ニ波瀾ヲ起スカ如キコトハ林司令トシテ頗ル苦痛且困難トスルコトハ想像ニ難カラサル處ニシテ右ハ時局發生以來其執リ來リシ方針ヲ根柢ヨリ覆スモノニ外ナラサルト共ニ當地ニ於ケル特殊ノ事情ニ顧ミ總テ其地位ニ動搖ヲ來スコトナキヲ保セス而モ後任トシテ來ル者ニ對シ現在以上ニ理解アル取締ヲ期待スルコトハ到底困難ナリト思料スル處假ニ林司令ニ於テ省政府ヨリノ解散命令ヲ執行スル意思アリトスルモ少クトモ適當ノ機會又ハ口實ヲ捉ヘサルヘカラサル立場ニアリ故ニ此際日本側ヨリ開キ直ツテ反日団体ノ解散ヲ要求セラルレハ或ハ之ニ聽從スルヤモ知レサルモ此場合恐ラク林司令ハ自己ノ接受セル省政府ヨリノ訓令ハ棚ニ上ケテ日本側ノ壓迫ヲ高調シ厦門市民ニ對スル自己ノ立場ヲ取繕フヘキヲ以テ排日者留學生團體等ハ勿論從來排日運動ニ苦ミ居リタル商民團モ表面上ハ

(1) 福州宛拙電第二號ニ關シ

一滿洲事件突發以來當地林警備司令ハ當地特殊ノ事情モアリ兎ニ角全力ヲ擧ケテ治安維持並ニ排日運動ノ抑壓ニ努メ來レルコトハ累次ノ往電ニテ御承知ノ通りニテ曩ニ反日會對抗日會ノ確執ニ際シ遂ニ事實上前者ヲ消滅セシメ從來非法團體トシテ取扱ヒ來レル後者ヲ公認スルニ至レルモ之ニ依リ張聖才一派ノ過激分子ノ面子ヲ立テ正面衝突ヲ避クルト同時ニ徐ロニ之ヲ切崩スノ策ニ出テ居ルカ爲ニシテ現ニ其後屢々公安局長又ハ林司令自ラ張聖才等ヲ招致シテ之カ手狎付ケニ努力シ居ル事實アリ又既ニ自己藥籠中ノ者トナシタル黨部ヲ通シ當地抗日運動遂行上最モ有力分子タル厦門大學生ノ懷柔ニ努メ上海ヨリ歸來後モ引續キ之カ切崩シニ力ヲ盡シツツアル實情ナリ

三繼ツテ當地排日運動ノ狀況ヲ見ルニ客年十二月十七日ノ引廻シ事件(客年往電第一六四號)本月九日ノ強制票封事件(往電第七號)並ニ一昨十二日ノ籠入事件ハアリタルモ大体ニ於テ他ノ地方ニ比シ左シテ激烈ニ非サルコト累次報告ノ通りニテ寧ロ支那全國中最モ靜謐ナル土地ノ一ナルヤニ思料セラルル處一方一般商民側ニアリテハ前記諸事件ニ對ス

日本ノ壓迫ニ對シ憤慨ノ態度ヲ示スニ至ルヘク右ノ結果トシテ當地ニ於ケル對日感情ハ從來ヨリ遙ニ惡化スルヲ免レサルヘシ事態茲ニ至ラハ從來陰忍ヲ重ネツツアリシ臺灣人武力派ノ活動ヲ誘發スヘキハ必然ナルヲ以テ茲ニ在留民ノ安全自体ニ付憂慮スヘキ事態ヲ招來スルノ惧多分ニ存スル次第ナリ

(2) 尙又林司令ニ於テ萬一反日會解散ノ要求ニ應セス厦門ノ事態ハ他ノ土地ニ比シ決シテ不良ナラサルコト並ニ同司令從來ノ努力ヲ高調シテ反噬シ來レル場合本官トシテ省政府ヨリ命令到達シ居ル筈ナリトカ或ハ今更反日會ハ違法團體ナリトカ云フ一點張ニテ之ヲ論破屈從セシメ得ヘキヤ將又此場合福州ニ於テ退引ナラヌ重大事件發生シタル場合ノ如ク果シテ海軍側ノ支援ヲ要求又(ハ)期待シ得ヘキヤ聊疑問ナキ能ハス結局日本領事トシテ振上ケタル拳固ノ遣場ニ窮スルカ如キ破目ニ陥ルコトナキヲ保セサルヘシ

兵今日支那全土ニ行ハル排日運動ハ中央政府並ニ中央黨部ノ直接間接ノ誘導ニ依リ行ハルルモノニシテ要スルニ根本ノ原因タル滿洲問題解決セサル限り之カ絶滅ヲ期スルコト困難ト思料セラル旁問題ノ中心以外ノ土地ニ於テハ出來

得ル限リ「トラブル」ヲ起サス在留民ノ生命財産ノ安全ヲ圖リ現状維持ニ努ムルヲ以テ差當リノ目標トナス外ナシト信シ居ル次第ニテ現下ノ時局發生後當館トシテハ支那側ノ最モ恐レツツアル臺灣人武力派ノ蠢動ヲ抑壓シ比較的警備力薄キ當地ノ治安維持上ニ援助ヲ與ヘ以テ在留民ノ生命財産ノ安全ヲ計ルノ方針ニ出テタルニ幸ニモ林司令以下支那當局ニ於テ當館ノ態度ヲ能ク了解シ支那人トシテハ相當精一杯ニ努力シ居ル實情ナルニ付今後共此良好ノ關係ヲ持續シ隨時必要ノ鞭撻ト指導トヲ與ヘ他面商民側ノ實利上ヨリ來ル排日緩和運動ノ助長ニ努メ自然的ニ支那人自身ノ手ニテ排日排貨ノ運動ヲ切崩サシメ漸次此風潮ヲ日本商品ノ大量消費地タル奧地漳州泉州方面(從來排日貨運動激烈ナリシモ此程漸ク其峠ヲ越シタリト見ラル)ニ波及セシメント目論見ツツアル次第ナリ

當方面ノ實情並ニ本官ノ考ヘツツアル方針ハ大体前記ノ通ナル處右ニ關シ何等心得ヘキコトアラハ折返シ御電示相仰度シ

支、北平、奉天、南京、上海、福州、廣東、汕頭ニ轉電セリ

轉電セリ

714 昭和7年1月23日 在天津桑島總領事より  
芳沢外務大臣宛(電報)

市政府が我が方の要求に基づき日貨の検査抑留を処罰すべき旨布告について

天津 1月23日後発  
本省 1月23日後着

第三四號

往電第三一號ニ關シ

折角多少トモ排日運動緩和シ居リシ際ノコトトテ邦商側ノ困惑甚シク又支那商ニ於テモ日(貨)ノ取引ノ安全ヲ期スル爲當方ノ交渉ニ多大ノ希望ヲ掛ケ居ル狀況ニシテ連日折衝ヲ重ネタルカ抑(留)商品ハ廿一日返還シ又犯人ハ逮捕ノ上刑罰スル旨承諾シ居ルモ反日會ノ解散ニ就テハ市政府公安局トモ同會カ合法的ナラサルコトハ認め乍ラ同會ノ成立ハ黨部ニ正式ニ登記シアリ而モ全ク黨部ノ傀儡トシテ活動シ居ル事情アル爲黨部ニ遠慮シ解散實行方ニ多大ノ難色アリ尙引續キ嚴重交渉中ナリ

713 昭和7年1月20日 在南京上村領事より  
芳沢外務大臣宛(電報)

首都各界抗日救国会の対日国交断絶に関する  
通電について

南京 1月20日後発  
本省 1月20日後着

第五二號

首都各界抗日救国会ハ十九日全國各級黨部及政府並ニ各團體新聞社等ニ對シ倭寇ハ今ヤ山海關ニ迫リ平津熱河モ急ヲ告ケツツアル際政府ハ聯盟ノ鼻息ヲ窺ヒ何等爲ス所ナキモ聯盟ハ既ニ破産ヲ宣告セラレ列強ノ狐ノ尾ハ暴露セラレ日支兩國ハ絶對ニ邦交ノ餘地ナキニ付政府ハ非常手段ヲ執リ對日國交断絶ヲ行フ要アリ全國同胞ハ政府ヲ督勵シ對日絶交ヲ此上遅延セシムル勿レトノ意味ノ通電ヲ發セリ

尙南京市黨部ハ十九日中央ニ對シ(一)對日絶交ヲ實行シ(二)大軍ヲ關外ニ送り抵抗シ(三)學良ヲシテ山海關ヲ死守セシムル様上申セル趣ナリ

支、北平、奉天、天津、青島、濟南、漢口、廣東、福州ヘ

尙反日會ノ封鎖シ居ル支那商手持日貨ノ開封方ニ就テハ我方累次ノ申入ニ依リ市政府ハ之カ開封發賣ヲ許スコトニ同意シ居リシ處市黨部ニ對シ正式ニ右様意思表示ヲナシタル旨廿三日ノ新聞ニ報道アリ又日貨ヲ扣留封鎖スルカ如キハ徒ニ自國商民ヲ苦ムルノミニテ自殺的行爲ト云フヘク毫モ救國運動ニアラサルノ理由ヲ以テ爾後何人ニ限ラス日貨ノ検査扣留ヲ爲スモノハ法ニ依リ處罰スヘキ旨市政府ヨリ公安局及各區々長ニ訓令シタル由委曲ニ就テハ新聞ニ發表アリタルカ右訓達ハ當方ノ要求ニ基クモノニシテ近ク之ヲ一般ニ布告スル筈ナリ右措置カ如何ナル實效アルヤハ確カナル見込ナキモ不取敢

支ヨリ上海ヘ轉報アリタシ

支、南京、北平、青島ヘ轉電セリ

715 昭和7年1月24日 在厦門三浦領事より  
芳沢外務大臣宛(電報)

反日団体解散問題に関する林司令との応答振りについて

第二九號  
往電第二八號ニ關シ

厦門 1月24日後発  
本省 1月26日後着

廿四日林司令往訪ノ際本官ヨリ曩ニ福州ヨリ接受セル電報ニ依レハ林知淵ハ田村總領事ニ對シ厦門ニ於ケル反日團體解散ノ命令ヲ發シタル旨自ラ言明シタル由ナル力寧ロ此ノ際解散ヲ斷行シテハ如何ト述ヘタルニ林司令ハ當地ニ於テハ福州ノ如キ重大事件發生セサルニ突如解散ヲ命スルカ如キコトアラハ直ニ收拾スヘカラサル紛糾混亂ヲ招クヤ必然ナリ又林知淵ヨリハ單ニ福州反日會ノ解散ヲ通知シ來リタルニ過キスト答ヘタルヲ以テ本官ヨリ果シテ然ラハ林知淵ノ田村總領事ニ對スル言明ト符合セサルニ付其ノ旨同總領事ヘ電照差支ナキヤト推問シタルニ林司令ハ之ニ對シ福州ニ於ケル反日會ヲ解散シタルニ付厦門ニ於テモ事件發生ノ場合ハ同様反日會ヲ解散シ差支ナシト電報シ來レルノミナリト逃ケタルヲ以テ本官ハ更ニ貴司令ノ言ハルル處果シテ何レカ眞ナルヤ明カナラス將又何レニスルモ林知淵ノ言明ト相異シ居ルニ付福州總領事ニ電照シ差支ナキヤト突込ミ

抜ケ得ベキ模様

(一)數日來邦人紡績製品ニ弗々引合ヲ寄セ定期ニ於テハ今日當限リ百五十六兩臺ニ對シ先物二兩以上ヲ落シタル等間屋筋排貨終息ヲ見越セル風アリ

加工綿布、砂糖、紙、石炭等支那側關係者寄々協議シ動きヲ見セントシツツアルガ實際取引ハ依然皆無ニテ抗日團ノ脅威モ變リナシ

(二)要スルニ支那側ハ目下ノ處時局ニ對シ樂悲相半バセルモ金融界ヲ中心トシ商人側トシテ内々排日緩和運動モ擡頭シ居ル有様ニテ市場一般ニ落着キ居レリ

717 昭和7年1月28日

在天津桑島總領事より  
芳沢外務大臣宛(電報)

排日貨の取締りを周天津市長および王河北省

主席に嚴重申入れについて

天津 1月28日後発  
本省 1月29日後着

第四三號

往電第四一號ニ關シ

タルニ林司令ハ非常ニ昂奮シ乍ラモ言葉ヲ濁シ明答ヲ與ヘス兎ニ角其ノ中ニハ滿洲問題モ解決シ反日團體モ自然ニ消滅スヘキニ付夫レ迄ハ自分ノ保護取締リニ信賴アリタキ旨繰返シ述ヘ居タリ  
冒頭電報ノ通り轉電セリ

716 昭和7年1月27日

在中国横竹大使館商務參事官より  
芳沢外務大臣宛(電報)

排日緩和の噂もあるが取引きは實際皆無の状

況について

上海 発  
本省 1月27日後着

商第八號

(一)公債ハ去ル二十五日以來受渡休會中

爲替ハ海外銀價軟調ニ傾キ居リ當地賣越シ金三千万圓位ヲ擁スル事トテ對日爲替モ今ヤ反撥氣運ニアリナガラ時局懸念ニ押サレ百一兩、金塊六百七十兩ト軟化シ時局極惡ノ場合ニ於ケル公債並ニ金融市場ニ對スル心配濃厚ニテ取引警戒氣味、尤モ此ノ儘推移セバ舊曆年關ハ曲リナリニモ切

往電第三一號拘留事件犯人ノ逮捕モ見サル間ニ本件發生シタルヲ以テ不取敢反日會ノ封鎖方嚴重抗議要求シ尙廿八日

周市長ノ來訪ヲ求メ排日貨運動ノ彈壓方ニ付談合シタル處周ハ反日會カ黨部ノ直轄ニ屬スル爲即時之ヲ解散セシムル事ハ到底不可能ナルモ其實際工作ノ禁止ニ付テハ多大ノ困難モ(脱)充分盡ス考ニシテ現市黨部員劉不同ハ旨ヲ含メテ

北平ニ去ラシメ又反日會ノ巨頭(多分市黨部員劉宸章及錢家棟ナルヘシ)ハ自分ニ將來同會ヲシテ一切ノ工作ヲ爲サシメサル旨昨廿七日誓約シ居リ(此點極秘)尙反日會ニハ昨日ヨリ私服ノ巡警ヲ派シ監視セシメ實際上封鎖同様ノ状態

ニ在ルヲ以テ今後日貨検査抑留事件ハ發生セサルヘシ尙萬一事故起ラハ犯人ハ法院ニ追訴スル方針ナリトノ事ニ付本官ハ之ヲ諒承ノ上更ニ取締ノ徹底ヲ期スル爲往電第三四號

日貨検査拘留禁止ノ布告ヲ發スルコト並ニ反日會ノ監視ヲ此上トモ嚴重ニスル事ヲ要求シタルニ周ハ之ヲ承諾セリ(因ニ本朝以來使用支那人)ニ旨ヲ含メ事ニ日貨ヲ積込ミ支那街ヲ引廻ハサセ居ル邦商アル處検査若ハ抑留等ノ事無シ)右様ノ事情ニテ支那側ノ取締モ相當嚴重トナレルカ如ク當地ノ關スル限リ事態ハ逐次好轉シ行ク見込ナルカ北平

ヲ初メ奥地方面ニ於テハ尙抑留ノ虞アルヲ以テ本官ハ引續  
キ王樹常ヲ往訪ノ上河北省各縣知事ニ對シ排日貨運動ノ取  
締ヲ命シ且一般ニ之カ周知方取計ハレ度キ旨申入レタル處  
王ハ快諾シ早速實行スヘキ旨回答セリ  
支ヨリ上海へ轉報アリタシ  
支、北平、南京、青島へ轉電セリ

718 昭和7年1月29日 在青島川越總領事より  
芳沢外務大臣宛(電報)

青島における対日貿易活況の原因について

青島 1月29日後発  
本省 1月30日前着

第三〇號  
一、其後當方面排貨狀況ハ當市政府及濟南省政府側ノ取締ニ  
依リ表面平靜裏面ニ於テモ反日會等ノ策動漸次下火トナ  
リタルカ一方本邦ノ金輪再禁ニ依ル銀爲替騰貴及舊正前  
ノ實需擡頭ニテ本邦品ノ當港輸入ハ最近著シク旺盛トナ  
リ昨年滿洲事變後即チ九月下旬ヨリ十二月迄ノ三社定期  
船ニ依ル邦品輸入高ハ二萬一百噸ニシテ前年同期ニ比シ

乃至四月モノ迄(一ヶ月製産高一萬五千俵)契約出來居リ  
綿布モ亦四月乃至五月モノ迄(月製産高五千俵)賣約濟ミ  
ナルガ

最近上海紡績閉工懸念モアリ舊正後ノ需要見越シニテ綿  
糸、綿布共相場目先強調ヲ呈シ居レリ

四、前記最近ニ於ケル當港對日貿易活況ノ他ノ一因トシテ推  
測セラルル處ハ當方面ガ天津上海ニ比シ排貨運動少ク平  
穩ニ推移シ居リ取引ノ確實性ヲ期待シ居ル爲當省南北省  
境及當省背後地タル河南省等從來上海及天津又ハ漢口等  
ノ經濟圈内ニ在リ或ハ右等諸港ト當港トノ共同市場タリ  
シ地方カ最近物資ノ搬出及購入ヲ當方面ニ求メ來レル結  
果當港ノ奥地方ニ於テ有スル市場乃至經濟圏カ著シク擴  
大セラレタル點ニシテ右事態ハ本邦商ニ於テ當方面ヲ通  
ジ土產品ノ註文又ハ邦品ノ賣込ミヲ策シ來レル事ト相持  
チ當港貿易ノ發展ヲ順致セシメ之ヲ當地紡績製品ニ對シ  
テ見ルモ前陳ノ如キ奥地向賣行キノ旺盛ハ從來天津ヲ相  
手トセル河南省ノ依頼筋ガ濟南ニ出動シ來リタル等當地  
紡績ニ對スル奥地ニ於ケル需要範圍擴大セルニ起因スル  
處大ナルベシト推察セラルル次第ニテ右事態ハ當地ノ將

一萬八千六百噸即チ四割八分ヲ減シタルモ本年一月ハ一  
躍一萬五百噸ニ達シ前年同月ニ比シ四千九百噸ヲ激増ス  
ルニ至リ邦品ノ輸入貿易復活ノ兆候顯著ナルモノアリ最  
近ニ於ケル主ナル輸入邦品ハ砂糖、麥粉、棉布、昆布、  
鹽魚、人造絹絲及雜貨ニシテ就中加工綿布ノ一月中ニ於  
ケル入荷五千俵ニ及ヒ又人造絹絲ノ商内相當盛ナルハ注  
目ニ價ス

二、又客年九月下旬後十二月迄ノ三社定期船ニ依ル當港對日  
輸出ハ三萬三千二百噸ニシテ前年同期ニ比シ却テ七千噸  
即チ二割七分ヲ増加シ居ル處更ニ一月ニハ一萬三千噸ノ  
輸出アリ前同月ニ比シ一千四百噸ヲ増加セルガ右ハ奥地  
物資ノ出廻リ増加ト相俟ツテ麩、棉實、落花生粕、生菓  
葉煙草等ノ對日輸出活況ヲ呈シタル爲ニシテ特ニ十二月  
以降麩、棉實等ノ大量輸出行ハレ居リ本邦向ケ定期船ハ  
最近各船トモ滿船ニテ一月末臨時船ノ廻航ヲ見ルニ至レ  
リ

三、當地邦人紡績ハ引續キ平常通り操業シ居リ客年十二月來  
上海綿糸モ當方面「ダンピング」一萬五千俵ニ達シ居ル  
ニモ拘ラズ當地紡績綿糸ノ當方面賣行亦旺盛ニシテ三月

來ニトリ極メテ重視ノ價值アリト考ヘラル  
支、北平、天津、濟南、漢口、廣東へ轉電セリ  
支ヨリ上海へ轉報アリタシ  
芝罘へ暗送セリ

719 昭和7年2月12日 在漢口坂根總領事より  
芳沢外務大臣宛(電報)

何成瀋湖北省主席が日貨ボイコットの禁止を  
市党部に申渡しについて

漢口 2月12日後発  
本省 2月12日後着

第一〇七號  
往電第六八號ニ關シ  
客月末武漢反日救國會等ハ解散ヲ命セラレタルニ拘ラス本  
月早々漢口市工界救國會ナル名稱ヲ以テ之カ復活ヲ計リ日  
貨抵制辦法ヲ協議決定シ又連日新聞紙上ニ常務委員會議ノ  
討論決定事項ヲ掲載シ尙奸商ニ對スル罰金賦課及未登記日  
貨ノ沒收ヲ事實行ヒタルカノ如ク新聞ニ宣傳シ居ル處右ハ  
官憲ノ態度ヲ之ニ依リテ瀕踏ミシ若シ默過セララルル場合ニ

ハ再七日貨抵制ノ實行ニ移ラントスル準備行動ナリト認め  
 何成濬ハ昨十一日市黨部役員ヲ招致シ團體ニ依ル日貨抵制  
 ノ實行ハ上海ニ於ケルカ如ク武漢ノ治安ニ累ヲ及ホス虞ア  
 ルヲ以テ名目ノ如何ヲ問ハス一切之ヲ許ササルヘキ旨嚴重  
 申渡シタル趣ニシテ何ヨリ右ノ次第揚埃一ヲ通シテ本官ニ  
 通報越セリ  
 冒頭往電ノ通轉電暗送セリ

720 昭和7年2月12日 在天津桑島總領事より  
 芳沢外務大臣宛

天津における日貨排斥の対日貿易に及ぼす影響について

公信第一〇一號 (接受日不明)

昭和七年二月十二日

在天津總領事 桑島 主計

外務大臣 芳澤 謙吉殿

排貨運動並天津事變ノ對日貿易ニ及セル影響

本件ニ關シ別紙ノ通報告ス御査閱相成度シ

本信寫送付先 在中公使 北平 上海 奉天 青島 漢

ヨリ顯ハレ始メ(前年同月ニ比シ三割四分減)十一、十二ノ  
 兩月最モ甚シク(十一月ハ前年ニ比シ七割二分減、十二月ハ  
 約九割減)一月ハ半減以上ノ減退(五割四分減)ヲ示シ居レ  
 リ

前記三會社取扱貨物ヲ合併セル客年九月乃至本年一月ノ輸  
 出入高左表ノ通り

|       |       |        |       |     |
|-------|-------|--------|-------|-----|
| 對日輸入高 | 六、〇三噸 | 二〇、六四噸 | 毛、六三噸 | 四六% |
| 對日輸出高 | 一三、四五 | 一三、五三  | 一三、〇九 | 九%  |
| 對日輸出入 | 一八、五八 | 二、五七   | 六、七五  | 三七% |
| 總高    |       |        |       |     |

次ニ右五ヶ月間ニ於ケル各月輸出入高消長表ヲ示ス

三會社取扱貨物合併各月輸出入高消長表(單位噸)

| 輸 入 | 昭和六年 |      | 比較<br>増(+)<br>減(-) | 昭和六年 |      | 比較<br>増(+)<br>減(-) |
|-----|------|------|--------------------|------|------|--------------------|
|     | 前年   | 本年   |                    | 前年   | 本年   |                    |
| 十 月 | 三、七五 | 三、七五 | (-)                | 三、〇五 | 三、〇五 | (+)                |
| 九 月 | 三、九三 | 三、九三 | (+)                | 三、九四 | 三、〇二 | (+)                |
| 八 月 | 三、七五 | 三、七五 | (-)                | 三、〇五 | 三、〇五 | (+)                |

口 廣東 濟南 南京 上海商務參事官 記

一、排貨運動及天津事變ノ對日貿易ニ及セル影響  
 當地ノ排日貨運動ハ客年七月下旬ヨリ擡頭シ八月ヨリ九月  
 半マテヲ工作準備期トシ九月下旬以降具體化シタルカ十一  
 月八日天津事變勃發シ次テ同廿六日第二次事變ノ發生アリ  
 併セテ對日貿易ニ多大ノ影響ヲ與ヘタル處今其ノ打撃ノ趨  
 勢ヲ察知センカ爲メ大阪商船、近海郵船及東興洋行ノ三船  
 會社ノ取扱貨物統計ヲ基礎トシ調査スルニ(海關ニテハ未  
 タ此種統計材料ナシ)影響ノ最モ甚大ナリシハ輸入貿易ニ  
 テ客年九月乃至本年一月ノ五ヶ月間ニ於ケル本邦ヨリノ輸  
 入高ハ六萬三千餘噸ニ過キス前年同期ニ比スレハ五萬七千  
 餘噸ノ激減ナリ又對日輸出ニ於テハ十二萬三千餘噸ニシテ  
 前年同期ト大差ナク一萬二千餘噸ノ減少即チ約九分減ナリ  
 而シテ輸出入總高ニ於テハ十八萬六千餘噸ニシテ前年同期  
 ニ比スレハ六萬九千餘噸ノ減少即チ二割七分減トナル  
 右輸入貿易ノ激減ハ一方金爲替昂騰、一般購買力ノ減退、  
 白河泥塞ニモ幾分因ル處アルヘキモ主ナル原因ハ排日貨並  
 ニ天津事變ニシテ月別輸出入高消長表ニ依レハ減少ハ十月

|     |      |      |     |      |        |     |       |
|-----|------|------|-----|------|--------|-----|-------|
| 十一月 | 八、〇三 | 二、九三 | (-) | 三、三三 | 二七、八四  | (-) | 五、三〇  |
| 十二月 | 二、八六 | 二、七〇 | (-) | 四、四五 | 二、〇、五二 | (-) | 〇、二四〇 |
| 合 計 | 三、〇三 | 三、〇三 | (-) | 三、〇三 | 三、〇三   | (-) | 三、〇三  |

ニ封鎖日貨ノ開封並ニ其ノ總額

當館ノ屢次嚴重ナル抗議及折衝ノ結果市政府並ニ公安局ハ  
 共ニ一月下旬封鎖日貨ハ商人カ自由ニ開封ノ上販賣シ得ル  
 コト今後排日團體ハ運搬中ノ日貨ヲ検査阻止スルコトヲ得  
 サルコト並ニ無賴ノ徒カ反日團體ノ名義ヲ假借シテ日貨運  
 搬ヲ阻止スル者アルトキハ拘引處罰スルコト等一般ニ周知  
 セシメタル爲中國日貨商ハ早速手持チ日貨ヲ開封シ又商人  
 自動對日經濟絶交會ノ検査員カ抑留シ市商會ニ於テ保管シ  
 居タル日貨ハ二月一日ヨリ夫々返還セラレ又市内荷動モ自  
 由トナレリ尙天津抗日救國聯合會ニ於テ抑留シ同會ニ保管  
 中ノ日貨(百數十件ニシテ價格一萬元ト稱セラレ主ニ小賣  
 商人ノ所有品ナリト云フ)ニ付テハ未タ返還シ居ラサル由  
 ナルモ同會ハ目下發還方法ニ付考慮中ナル趣ナリ各中國日  
 貨商店内ニ於テ反日團體ヨリ封鎖セラレシ日貨ノ總額ニ付  
 テハ的確ナル數字判明シ難キモ當地十七行同業會中ノ主ナ

ル商團體タル綿糸布同業組合代表並ニ市商會側ヨリ得タル情報ヲ綜合シ考察スルニ先ツ二千萬元内外ト觀大差ナキカ如ク商品ハ主トシテ綿糸布、金物、海産物、雜貨等ナルカ如シ

三、邦人取扱商品ノ滞貨  
排貨運動並ニ天津事變ニ因ル天津邦商取扱商品ノ滞貨ハ大体千五百萬元見當ト認メラルル處其ノ中主ナルモノヲ擧クレハ左ノ如シ

船會社關係倉庫内約五、八五〇、〇〇〇元  
大中商社在庫 約六、〇〇〇、〇〇〇  
工場關係製品 約一、一五〇、〇〇〇

備考 右ノ外小賣商店在荷並ニ工場製造原料等計百萬元  
以上アル見込

尙參考ノ爲メ上記船會社關係倉庫内滞貨ノ内譯ヲ掲クレハ左ノ如シ(二月二十八日現在)

| 品目  | 數量(噸) | 價格(銀弗)    |
|-----|-------|-----------|
| 綿糸布 | 一、五二六 | 二、三二〇、四〇二 |
| 白米  | 一、三六四 | 一、五〇五、五一八 |
| 砂糖  | 三、一五九 | 六九七、八〇〇   |

扱ヒ居ルノ故ヲ以テ毆打セラレ本官ノ援助ヲ依頼越セルニ付早速警察署長ニ面會取締方ヲ希望シ置キタルカ更ニ最近邦品ヲ取扱フ支那商ニ對シ相當激烈ナル脅迫狀ヲ送付セル聞込アル而已ナラス十五日夜一支那綿布商カ店頭ニ「コールト」ヲ塗布セラレタル事件發生セリ依テ往電第一二號ノ如ク支那總領事カ此ノ上當地支那人ニ對シ排日貨ヲ煽動スルカ如キ事アリテハ事態ヲ一層險惡ニ導ク惧アリト思考セラレタルニ依リ十八日本官「バイテンゾルフ」ニ出張總務長官ニ面會ノ上貴電合第三九八號始メ累次ノ貴電ニ基キ上海出兵ノ已ムヲ得サル理由及右ハ全然居留民保護ニ關スル地方的事件ナル事等ヲ種々説明シ同時ニ前記ノ事實ヲ指摘シテ再應蘭印政府ノ注意ヲ促シ政府ヨリ支那總領事ニ對シ煽動カマシキ言動ヲ慎マシムル様警告方希望シ且ツ排日貨運動ニ對スル一層ノ取締ヲ依頼セル處總務長官ハ先日受領セル本官ノ書面ヲ「バタヴィア」檢事總長ニ送り其ノ意見ヲ求メ居レルカ煽動ハ面白カラサルニ付適當ナル措置ヲ講スヘシトテ本官ノ希望ヲ快諾セリ尙當地一般取引ニ關シテハ最近綿布類ノ賣行甚タ旺盛ナルカ多クハ現物取引ニテ先物取引少キ處ヨリ察スレハ右ハ從來綿布輸入手控ノ爲

|       |        |           |
|-------|--------|-----------|
| 麥粉    | 五、一六六  | 六一一、五四七   |
| 洋紙類   | 七六八    | 二四九、六三三   |
| 一般雜貨  | 三四二    | 二三一、九八五   |
| 麻袋    | 六一四    | 一〇二、五二六   |
| 金物類   | 一一五    | 七七、一七五    |
| 皮類    | 九      | 二八、七八九    |
| 工業藥品類 | 二九     | 一五、四五〇    |
| 自轉車材料 | 一〇     | 四、四〇〇     |
| 計     | 二四、一〇二 | 五、八四五、二二五 |

721

昭和7年2月19日

在バタヴィア三宅哲一郎(總領事より)  
芳沢外務大臣宛(電報)

バタヴィアにおける排日運動に關し總務長官  
に取締り方要求について

バタヴィア 2月19日後発  
本省 2月19日後着

第一五號

上海事變及滿洲獨立ノ報道ニ刺戟セラレ當地支那人ノ行動次第二險惡トナリ去ル十日當地一小支那人行商日本品ヲ取

「ストツク」減少シ居ル結果將來ノ「ボイコット」ヲ見越シテノ輸入ト觀測セラル大豆其ノ他ノ「イツ」品ニ付テハ取引殆ト無シ  
蘭、スラバヤ、メダン、新嘉坡へ暗送セリ

722

昭和7年3月1日

在中国横竹大使館商務參事官より  
芳沢外務大臣宛(電報)

上海各団体より市政府に罷市中止を請願について

上海 3月1日後発  
本省 3月1日後着

商第一九號

(一)數日前支那側綿糸布、石炭、製糸工場等八十餘團體ヨリ市政府ニ對シ罷市ハ經濟ノ基礎ヲ破壊シ稅收ヲ減少シ却テ國難ヲ増加スル故對日持久策トシテ寧ロ速ニ勸止センコトニ盡力方請願中ナリシカ去ル二十九日會議ヲ開キ今日ヨリ安全區域ノ商店及工場ノ開業ヲ一般ニ勸告シタスクテ市中商店弗々開業シツツアルモ廣東系ノ百貨店等ノ態度未タ決セサル模様

(二)昨日聯盟ニ對スル我國ノ休戰提議説入報シ同時ニ米國ノ

經濟封鎖不参加決定ノ入電ニ依リ前線ニ於テハ一日來相當激烈ナル戰鬪進行中ナルニ拘ハラス市場人氣緩和ニ向ヒ思惑筋ノ圓貨買填モ手傳ヒ今日對日爲替ハ九六、七兩ト昨日ヨリ三、四兩方ノ急反撥ヲ見セ金塊モ六二三兩ト昂騰シ一般ニ和平問題ニ多大ノ關心ヲ持ツテ居ルコトヲ表示シテ居ル

723 昭和七年三月四日 在芝罘内田領事より 芳沢外務大臣宛

撫順炭排斥運動防止に関する内田滿鉄總裁との往復書信転達について

機密第五一號 (4月11日接受)

昭和七年三月四日

在芝罘

領事 内田 五郎 (印)

外務大臣 芳澤 謙吉殿

撫順炭排斥運動ニ關スル件

本件ニ關シ別紙甲號寫ノ通り滿鐵總裁ヨリ申出アリタルニ付別紙乙號寫ノ通り回答致シ置キタルニ付何等御參考迄報

敬具

(別紙乙号)

諸方機密第一七號

昭和七年三月二日

在芝罘

領事 内田 五郎

南滿洲鐵道株式會社

總裁 伯爵 内田 康哉殿

撫順炭排斥運動ニ關スル件

本件ニ關シ二月二十四日附滿鐵總外三一第八號ノ一一貴信御來示ノ趣敬承撫順炭不買運動ノミナラス一般排日防止ニ付テハ當館ニ於テモ當初ヨリ重大視シ支那官憲ニ對スル抗議其他諸種ノ手段ヲ講シ結局客年末ヨリ反日救國會ハ殆ント影ヲ没シ一月末以來看板ヲ撤去シ事實閉鎖ノ形ト成リ支那公安局ニ於テハ撫順炭輸送船會社ニ對シ撫順炭搬入差支ナキ旨通達スル程度迄進ミタルモ今猶輸入ヲ見ルニ到ラサルハ寔ニ遺憾ニ堪エサル處ニ有之候  
元來撫順炭ノ當地輸入取扱方法ハ

告ス

本信寫送附先 奉天總領事代理

(別紙甲号)

滿鐵總外三一第八號ノ一一

昭和七年二月二十四日

南滿洲鐵道株式會社

總裁 伯爵 内田 康哉

芝罘領事

内田 五郎殿

撫順炭排斥運動ニ關スル抗議依頼ノ件

拜啓貴地ニ於ケル反日會又ハ國貨維持會ノ撫順炭移入ニ對スル諸種ノ妨害運動ニ對シテハ既ニ貴官ヨリ屢々官憲側ニ對シ取締方御要求ヲ煩シタル趣感謝ニ堪ヘサル所ニ御座候然ルニ反日諸團體ノ諸運動ハ其後潛行的ニ益々深刻化シ今日ニ於テハ撫順炭ノ貴地移出ハ事實上全ク杜絶シ居ル悲境ニアリ御多忙中甚タ恐縮ノ至リニハ御座候へ共右運動ニ對スル嚴重取締方改メテ官憲側ニ御抗議ノ上本運動ノ根絶ト共ニ撫順炭ノ輸入ニ支障ナキ様御配慮相煩度此段及御依頼候

敬具

一、撫順炭下請販賣商ハ全部支那商ナルコト

二、撫順炭輸送船ハ支那船及准支那船(福壽丸ハ日本籍ナルモ支那人資本ヲ多分ニ含ム)ナルコト

三、右輸炭船ノ取扱店ハ何レモ支那商ナルコト

四、石炭ハ港内船腹渡ニテ輸炭船芝罘入港ト同時ニ支那商ノ手ニ渡ル取引方法ナルコト

五、三井ハ單ニ輸出扱ノミノ形ナルコト

等ノ事由介在スル處今次ノ排日ハ日本人ヲ直接妨害セス日本品ヲ取扱フ支那商ヲ壓迫スル方法ヲ採リ居ル爲メ前記ノ如ク撫順炭ノ取扱ハ事實支那人任カセノ形ヲ採リ居ル必然ノ結果トシテ撫順炭輸送船代理店及撫順炭販賣店タル支那人ハ開平炭北票炭取扱商ノ策動ニ依ル撫順炭排斥ノ聲ニ脅エ現實ノ阻止ナキニ拘ラス撫順炭ノ輸入ヲ拋棄シ居ル次第ナルカ

一、當地方支那人ハ性質溫柔ニシテ排日團ノ小聲ニモ恐ヲ懷

ク小心者ノミニシテ商賣ノ爲メ排日空氣ヲ打破スル元氣

ナキコト

二、市場狹小片田舎ニシテ各商ノ行動ハ直チニ人目ニ觸ル、

コト

三開平炭ノ勢力優勢ナルコト  
 以上ノ理由ニ依リ表面排日團閉鎖後ニ於テモ日本炭ヲ扱ヒ世間ノ指彈ヲ受ケンコトヲ恐レ撫順炭ニ買寄ラス殊ニ本年ハ氣候比較的溫暖ナル爲メ劣質ノ支那炭ニテモ間ニ合ヒ得ル等ノ關係モアリ今猶撫順炭輸入ニ到リ得サル次第ニ候翻テ撫順炭排斥ノ挽回策ニ付テハ現在ノ支那人任セノ取引方法ヲ改メ日本人又ハ外人扱ノ取引方法ニ變更スルコト一法タルヘク夫レカ爲メニハ

一、輸炭船ニハ日本船ヲ使用シ同船ノ取扱店モ邦商トスルコト

二、日本商名儀ノ貯炭場ヲ設クルコト

三、下請販賣店モ少クトモ表面上日本商タラシムルコト

ノ方法ニ依リ名實共ニ日本人扱トセハ之ニ對スル排日團ノ妨害アラハ當館ニ於テモ充分保護ノ方法モアリ相當販路恢復ノ見込アルヤニ思考セラル、ニ付何分ノ御講究ヲ希望致シ度ク此段回答旁々申進候

~~~~~

敬具

止ヲ試ミタルモ(平日ニ於ケル爆竹ハ禁セラレ居ルモノナリ)群衆ハ却ツテ興奮シ近クノ邦人商店日出藥房(店主、鹽田厚)前ニ密集シテ全店内ニ在ル者ニ對シテ侮蔑ノ態度ヲ示シ爆竹ヲ店内ニ投込マントスルガ如キ舉動アルニ至リタルニ依リ鹽田ハ電話ニテ急ヲ所轄警察署ニ告ゲ警官十數名ノ現場急派ヲ見タルガ群衆ハ多數ヲ恃ミテ容易ニ解散ノ命ニ應セス遂ニ警官隊ト群衆トノ間ニ小競合ヲ生シ警官中多ク少ノ負傷者ヲモ見ルニ至リタルガ偶々皇帝及皇后ノ齒簿通過ノ時間差迫リタル際ニテ警官隊ハ消防「ホース」ヲ利用シ幸ヒ大事ナキニ及ンテ漸ク之レヲ離散セシメ得タル趣ナリ其際檢束者百數十名ヲ出セル由ナルガ其ノ多數ハ單ニ爆竹ヲ掲ゲタル爲ナルモノノ如ク首魁ヲシキ者十名ヲ殘シテ爾餘ハ深く今後ヲ戒メテ釋放セラレタリ、右ノ外伊藤洋行、山口洋行等尙ホ一、二邦人商店前ニモ若干群集ノ集合ヲ見タル由ナルガ日出藥房前ノ如キ椿事ハ出來セザリシ模様ナリ、尙ホ市内他ノ方面ニ於テモ二、三ヶ所多少ノ爆竹騒ギアリタル模様ナルモ格別ノコトナク夜半ニ至ラスシテ市内ハ全く靜穩ニ歸スルヲ得タリ

右事件突發ト共ニ當館ニ於テハ不取敢藤井部長ヲシテ事件

地附近ノ邦人ヲ巡訪セシメ事實調査セシメタルニ在留邦人ニ對スル暴行沙汰等皆無ニシテ一時多少ノ恐怖ヲ感シタル以外何等實害ヲ受ケタルモノナカリキ

然ルニ英領馬來方面ニ於テモ同日類似ノ形勢アリタル趣ノ新聞報道モアリ此際本件ノ真相突留メ旁々併セテ將來ニ對スル警察側ノ方針ヲモ承知シ置ク爲メ七日館員ヲ警察統監ノ許ニ遣ハシタルガ同統監ハ五日事件ニ關スル諸新聞紙ノ報道(別添乙號)ヲ一々肯定シタル後館員ノ質問ニ答ヘ現在迄取調ノ結果ニ徴スルニ右一件ハ何等計畫的ト稱スヘキ性質ヲ帶ビス全ク上海電報ニ刺激セラレタル偶發的椿事ニシテ從ツテ支那本土方面ヨリ指導者若クハ職業的煽動者流ノ潛入シタル形跡ナシ但シ平素溫順ナル彼等支那人ガ警察官憲ノ取締上ノ嚴命ニ抗拒ノ意ヲ表シ之ニ對シ反抗的行動ニ出テタルハ當國警察史上未曾有ノ新事實ニシテ加フルニ被拘禁者ノ大部分ガ苦力階級ノ浮浪徒輩ナルニ鑑ミルモ此際警察側トシテ斷乎タル處置ニ出ツル必要ヲ感シ居リ場合ニ依リテハ檢束者中其ノ情重キ者十名ハ追放處分ニモ處スヘキ用意アリト述ヘタル趣ナルガ館員ヨリ更ニ滿洲上海方面ニ於ケル時局ノ推移若クハ聯盟總會ニ於ケル事態ノ發展次

724 昭和7年3月10日 在シヤム国矢田部(保吉)公使より
 芳沢外務大臣宛

バンコックにおける華僑の排日示威運動取締
 について

公第三九號 (4月5日接受)

昭和七年三月十日 在暹羅國

特命全權公使 矢田部 保吉(印)

外務大臣 芳澤 謙吉殿

盤谷ニ於ケル華僑示威運動取締ニ關スル件

本件ニ關シテハ既ニ其ノ大要電報致シ置キタル處先般來頻々トシテ流布セラルル上海電報ノ支那側優勢ノ宣傳ハ在留華僑ヲ誤ルコト甚シク最近彼等ノ氣勢頓ニ揚リ來レルヤノ觀アリタル處本月五日后當地漢字紙ガ別添甲號(省略)ノ如キ號外ヲ發行シ日本軍潰滅、白川、菱刈、兩司令官戰死等ノ虛電ヲ傳フルヤ華僑商舖ハ一齋(齊カ)ニ國旗ヲ揚ゲ殊ニ Charoen Krung Roadト稱スル當地目抜キノ商店街方面ニ於テ多數支那人街上ニ爆竹ヲ弄シ土地柄忽チ數百ニ上ル浮浪徒輩ノ蟻集ヲ見タル爲メ附近警戒中ノ警官ハ時節柄之レガ制

第二テハ再ビ類似事件ヲ繰返シ或ヒハ不祥事ノ發生ナキヤヲ俱ル尤モ我方トシテハ市内及地方ノ在留邦人ニ對シテハ此際特ニ自重シテ事態ヲ靜觀シ苟クモ華僑ノ神經ヲ苛立タシムルガ如キコト無キ様戒告スル方針ナルガ警察當局ニ於テモ今後共有效且ツ機敏ナル保護ヲ與ヘラレタシトノ希望ヲ申入レタルニ對シ統監ハ其ノ最善ヲ盡スヘキ旨ヲ繰返シ約束セル由ナリ因ニ同事件後警察側ハ從來ヨリ公使館及館員官舎ヲ始メ一般邦人住所ニ配備ノ警官ヲ増員スル等大イニ警戒ヲ嚴ニスル處アリ、尙當方聞込ニ依レハ萬一不隱ノ形勢アル場合ハ命令ニ下市内警備ノ軍隊ヲ出動セシムルノ手筈モ成リ其ノ配備計畫モ整ヒ居ル趣ナリ地方ニ於テモ亦同様ナリト云フ

惟フニ華僑排日ノコトタル之レヲ當國ヨリ見レバ百害アツテ一利無ク其ノ國策上ヨリ看ルモ之ヲ彈壓セサルヘカラザル立場ニアルモノノ如ク此ノ點我方トシテハ大ニ心強ク感セララル所ナリ

別紙新聞關係記事切抜相添ヘ此段報告申進ス
本信寫送付先

在中華民國公使、在新嘉坡、在バタビヤ、在西貢

黨ニ支配サルルニ至リ場内ノ整理並ニ警備ニ當リタル糾察隊ノ如キモ殆ント左傾的勞働者等ヲ以テ組織サレ又大會ノ決議中ニモ公然共產黨ノ「スローガン」ヲ掲ケ居レリ。群衆ハ開會前ヨリ蝟集シツツアリタルカ既ニ開會前、上海特別市工人運動委員會カ「撲滅中國共產黨」現南京政府擁護」等ノ傳單多數ヲ攜帶入場シタル處左傾的勞働者等カ之ヲ發見シ該傳單ヲ奪ツテ焼却シ剩サヘ暴行ヲ加ヘ重輕傷者各一名ヲ出シタリ、此ノ時取締ノ爲出張中ノ公安局巡警ハ反動傳單ヲ所持セル一學生王漢清ナルモノヲ逮捕シタル處群衆ハ之ヲ奪還セントシテ場内ハ再ヒ混亂セルカ午前十時半ニ至リ漸ク開會セラレタリ。

從來共產黨カ反日民衆運動ニ對シ潛行的ニ策動シツツアリタルハ事實ナルモ今回ノ如ク共產黨的態度ヲ公然表面ニ現ハスニ至リタルハ特ニ注意スヘキ傾向ナリ。

三、參加團體ハ上海韓人反帝同盟、上海台灣反帝同盟、中國左翼作家聯盟、中國文化總同盟、中華留日學生會及邦人紡績喜和、同興紗廠ノ各工會ノ勞働者及學生等百餘團體約二千名ナリシカ午前十時半主席團(交通大學抗日會及民衆反日救國聯合會等六團體)ニ依リ開會ヲ宣シタル頃

各公館長

725 昭和7年3月17日 在上海村井總領事より
芳沢外務大臣宛

反日救国連合会主催の反日市民大会における
共産党の活動および韓国独立党のピラ散布に
ついて

機密第二六三號 (3月24日接受)

昭和七年三月十七日

在上海

總領事 村井 倉松 (印)

外務大臣 芳澤 謙吉殿

反日市民大会ノ狀況ニ關スル件

一月十七日當地南市西門公共体育场ニ於テ開催サレタル上海民衆反日救國聯合會(既報)主催ノ反日市民大会ニ關シテハ不取敢電報セル處ナルカ右拙電補足旁々該大會ノ狀況左ニ

一、該大會ハ主トシテ改組派ニ依リ準備サレタルモノノ如クナル處其ノ實際狀況ハ會場及「デモ」ノ指導等全ク共產

ハ群衆益々増加シ約一萬餘ト註セラレタリ、該大會ハ「民衆ハ自動的ニ武装シテ起チ對日宣戰セヨ」ヲ「スローガン」トシ二十餘名ノ辯士交々起チ對日宣戰ヲ叫ビ反國民政府熱ヲ煽リ又福州事件ニ關スル演説ハ遂ニ群衆中ヨリ「福建省主席ヲ銃殺シロ」ト叫ハシムルニ至リ益々氣勢ヲ擧ケ尙邦人紡績喜和工場女工ノ演説ハ一層氣勢ヲ副ヘ午後一時終了セリ。尙ホ辯士中鮮人一名アリタル由ナリ。

右大會ノ決議事項中主ナルモノ次ノ如シ。

(一) 政府ノ東三省出賣ニ反對シ如何ナル密約協定モ承認セス。

(二) 政府ノ反日民衆屠殺ニ反對ス。

(三) 沒收日貨ヲ競賣シテ罷工失業工人ヲ救済ス。

(四) 民衆ノ實力ヲ以テ上海市抗日會ヲ接收ス。

(五) 各界ハ眞正ナル義勇軍ヲ組織シテ對日宣戰ス。

(六) 示威運動ヲ行ヒ市政府公安局ヲ包圍ス。

(七) 土地革命擁護、

(八) 「ソウイェト、ロシア」擁護、

(九) 中華「ソウイェト」共和國擁護、

(+)中国共産黨及紅軍擁護、

三、大會終了後午後一時過キヨリ群衆ハ示威遊行ニ移リ「打倒日本帝國主義」「打倒南京政府」及赤色國際歌等ヲ叫ヒツツ方斜路ヲ經テ市政府ニ殺到シ「被捕學生ヲ釋放セヨ」トテ侵入セントシタルモ門ヲ閉シ警備司令部及公安局ノ武装軍警ヲ以テ警戒シ居タル爲闖入スルヲ得サリシカ表門ノ巡警立番所ヲ破壊スル等侮リ難キ形勢ニアリタルヲ以テ遂ニ屋上ニ据ヘ付ケタル機關銃ヨリ空砲ヲ發射シテ退散セシメタル處群衆ハ直チニ同政府前廣場ニ於テ臨時緊急大會ヲ開キ更メテ來ル二十四日(日曜)更ニ市民大會ヲ舉行スル旨決議ノ上一萬餘ノ群衆ハ再ヒ遊行ヲ續ケ途中商店等ニ掲ケアリタル民國旗ヲ引卸シ青天白日ノ部分ヲ破リ赤地ノ部分ノミヲ振翳シテ共産黨ノ「スローガン」ヲ叫ビツツ外交部駐滬辦事處ニ到リ標札及巡警見張所等ヲ破壊シ更ニ市黨部ニ赴キ窓「ガラス」ヲ破壊シタル上再ヒ公共体育场ニ到リテ午後四時半頃解散セリ

四、該大會ニ對シ公安局、松滬警備司令部及佛工部局當局ニ於テハ前夜ヨリ特別警戒ヲ爲シ中國側ニ於テハ各要所ニ
尙該會場ニ於テ撤布サレタル標語傳單(別添)等ハ三十種類以上ナルカ共産黨系各團體ノ發出セルモノ多數ヲ占メ居レリ(昭和七年一月二十日起草)
右御参考迄報告ス

本信寫送付先

- 在華公使 北平 哈爾濱 奉天 天津
- 濟南 青島 漢口 廣東 香港 南京

726 昭和7年3月18日 通商局第三課起案高裁案

南洋方面における啓蒙活動強化のための南洋協会への資金援助に関する高裁案

付記一 五月十日付蜂須賀(正詔)南洋協会会頭より武

富(敏彦)通商局長宛発第六〇七号

南洋方面における排日防遏のための啓蒙活動

実施に關し援助方要請

二 八月十七日付武富通商局長より蜂須賀南洋協

会会頭宛半公信

右啓蒙活動への費用支出について

武装軍警ヲ派シ又佛租界ニ於テハ華街トノ境界線道路ハ路ント全部鐵門ヲ以テ交通ヲ遮斷セリ。共同租界當局ニ於テモ當日特ニ警戒シ當館附近ニハ邦人巡查ヲ増派シ尙「ラヂオ」自動車ヲモ配備シテ警戒ヲ嚴ニセリ。又當館ニ於テモ警察全員ヲ以テ大會ノ狀況視察並ニ警戒ヲ爲シタリ。

五、民衆反日救國聯合會ニ於テハ十七日ヲ期シ總罷業ヲ實行セント計畫シタル模様ナリシカ右計畫ニ關シテハ市商會側各團體多數ノ反對アリタル爲遂ニ實現セス。

六、該大會ニ際シ華街西門、方斜路附近一帶ノ各商店ハ示威遊行隊ノ暴行等ヲ慮リ正午頃ヨリ午後五時頃迄何レモ閉店休業シ又華街及兩租界ノ電車「バス」等モ西門附近ヲ通路トセルモノハ何レモ午前十時ヨリ午後三時過迄運行ヲ中止セルカ前記市政府其他ニ對スル暴行ノ外商店及交通機關等ニハ何等ノ事故ヲ起サス市内一般ハ平常通りナリキ。

七、該大會ニ參加セル韓國獨立黨ハ會場ニ於テ「李奉昌ノ日本 皇帝狙撃事件ニ對スル韓國獨立黨ノ宣言」ト題スル不敬極マル字句ヲ連ネタル傳單ヲ撤布(別報ノ答)セリ。

(欄外記入)

目下南洋(比律賓、蘭領東印度、馬來半島等)在留邦人總數約三萬五千其ノ大半ハ本邦トノ貿易關係者乃至小商人等ニシテ本邦ヨリノ輸出總額年々約一億五千萬円ニ達シ他ノ一半ノ在留者ノ大部分ハ護謨、「マニラ」麻等熱帶農企業關係者ニシテ其投資總額約八千万円ナル処未ダ對外的言論機關ヲ有スルニ至ラズ、然ルニ在南洋支那人數ニ至テハ無慮六百万ト称セラレ彼等ノ間ニ有力ナル言論機關ヲ有スルハ勿論外字紙ト雖彼等ヲ顧客トスル關係上支那本部ヨリノ「ニュース」ヲ多載スル傾向アリ今次滿洲及上海事變ニ際シテモ誇大無稽ノ情報ヲ流傳シ爲ニ第三者タル外国官民迄モ動モスレバ我方ノ正當ナル立場ニ関シ誤解ヲ抱クヲ免レズ、素ヨリ在外公館ニ於テハ極力我方ノ立場ヲ闡明シ誤解ノ防遏ニ鋭意努力シツ、アリト雖此種ノ活動ニ就テハ官民ノ協力ヲ最モ有效トシ幸ニ民間關係業者等ノ團體トシテ南洋協會、南洋栽培協會ヲ始メ南洋各地ニモ相当各種ノ團體アリテ外国官民トノ接觸乃至我立場闡明ニ便宜ノ手段アルニ鑑ミ一層其ノ活動ヲ助成シ以テ排日ヲ防遏シ其ノ他官民ノ我方ニ對スル諒解、態度等ヲ善導シ併テ今後邦人ノ通商及移民植民事業ノ發展ニ累ヲ来サシメザル様工夫スルコト肝要ナ

り、依テ此際右民間團體中最モ適當ト認メラルル南洋協會ヲシテ如上目的ノ為ニ一層活動セシムル為メ不取敢金三千圓ヲ適當ナル費目ヨリ支出補助相成様致度
右仰御高裁

(附屬書)

昨年九月滿洲事件勃發以來既ニ半年ヲ經過セル処其間我邦ノ態度ガ常ニ自衛權発動ノ範圍ヲ超ヘズ始終公正ヲ保チタルハ云フ迄モナク在外公館又我立場ニ就テ妥當ナル諒解ヲ求ムベク努力セルニ拘ラズ往々諸国ノ官民ガ偏頗ナル意見ヲ抱懷シテ我邦ニ不利ナル態度ヲ示シタルコト一再ナラザルハ説明ノ要ナキ処在外支那人約六百万人中其大部分ノ居住スル南洋方面ニ於テハ特ニ著シク此感ヲ深クスルモノアリ、

彼等華僑ハ或ハ當該地住民數ノ過半ヲ占メ(新嘉坡、或ハ經濟生活ノ全般ニ亘リテ絶大ナル勢力ヲ有シ(暹羅、佛領印度支那、馬來半島、或ハ仲介商業ニ於テ壓倒的勢力ヲ振ヒ(蘭領印度、比律賓)、或ハ人種關係ニ依リテ社会的ニモ威大ナル潛勢力ヲ有シ(佛領印度支那、暹羅)、或ハ又市民權

ル、所ナリ、又蘭人、英人、佛人、米人等ノ經營スル南洋諸地方ノ外字紙ハ其広告料収入ノ少カラザル部分ヲ支那人ニ仰ガザルベカラザル關係上營業政策ヨリ云フモ親支的記事ヲ多クスル傾向ナシト云フ可ラズ、

翻ツテ我在南洋邦人ノ現状ヲ華僑ノ夫ニ對比センカ、其數、其勢力、其機關、其便宜到底彼ニ匹敵スル能ハズ、之レ我在外公館ノ活動ニ拘ラズ尚支那側ノ宣傳ガ優勢ナル一理由ナリト思考セラル、

南洋諸地方ニ於ケル輿論及官民ノ具體的的態度、措置ヲ判断スルニハ當該地方ヲ領有スル各本國ノ夫ヲ併セ考慮スル必要アリ又我ニ不利ナル状態ハ必ズシモ支那側ノ宣傳上手、我方ノ宣傳不足ニノミ帰スベキモノニ非ズシテ當該國民ノ認識不足、歴史的排日態度等ニ帰スベキモノモ有之ベキ処、兎毛角今日迄ニ表レタル我方ニ不利ナル事態又ハ將來不利トナルベク懸念セラルル事態ニシテ此際我方宣傳ノ拡大強化ニ依リ之ガ改善又ハ防止ノ必要ヲ感ゼシムルモノハ次ノ如シ、

一、南洋中我移民ノ最モ多キ比律賓ハ最近原則トシテ邦人ノ「ダバオ」ヘノ直接渡航ヲ認メス總テ「マニラ」經由ノ

ノ與ヘラレ居ル地方(蘭領印度)ニ於テハ中央議會、州會、市會等ニ有力ナル代表者ヲ有シ、諸官廳ニ勤務スルモノモ少カラズ、言論界ニ於テハ各地ニ多數ノ新聞(支那語ノミナラズ外國語ノモノモ多シ)ヲ有スルノミナラズ、尚母國トノ政治的連絡ハ外國ニ於ケル支那革命運動資金ノ最大供給者タリシ關係上甚ダ密接ニシテ各地ノ國民黨支部ノ活躍ガ頗ル盛ナルハ馬來半島總督ガ遂ニ之ガ解散ヲ命ズルノ止ムヲ得ザルニ至リシニ見ルモ明ナルベシ、各地ニ於ケル夥シキ數ノ總商會、同鄉人会、同業組合等ガ母國トノ連絡機關、對外宣傳機關トシテ活動スルハ云フ迄モナシ、尚彼等ハ殆ンド總テ永住者ナルヲ以テ各地各様ノ土語又ハ統治階級ノ國語ニ通曉練達セリ

斯ノ如キ勢力ト機關ト便宜トヲ有スル彼等ガ全國人ノミナラズ當該地土人及統治階級ニ對シ支那ニ有利ニシテ我邦ニ不利ナル宣傳ヲ為シ又夫ガ相當ノ效果ヲ収ムベキハ疑ナキ所ニシテ現ニ新嘉坡、香港等ノ英字新聞ハ讀者ノ大部分ガ支那人ナル關係モアリ主トシテ支那側ノ時局「ニウス」ヲ掲載スト云ハルル処ナルガ右ハ暹羅ノ英字紙、佛領印度支那ノ佛字紙ニ就テモ云ハレ得ルコトニハ非ズヤト思考セラ

コトト為シタリ、我方ノ交渉ニ依リ豫メ帝國總領事ヨリ「マニラ」税関長ニ通告セル者ハ「ダバオ」直航ヲ認めラル、ニ至レルカ從前ニ比シ手續煩瑣トナレリ

二、和蘭國防大臣ガ最近蘭領印度ヲ視察セル結果蘭印政府ハ「マカッサ」ニ「ボルネオ」東海岸(石油關係)、「セレベス」、「ニウギニア」ノ全部ヲ包括スル警備司令部ヲ新設スト仄聞ス、

右ハ別段本邦ニ對スル惡意ノ具體的表現ニハ非ザルベキモ和蘭人ノ警戒氣分ハ充分之ヲ窺フニ足ルベシ、

三、新嘉坡ノ英國官憲ハ我邦人ノ保護ニ極力注意シ、又爪哇ノ和蘭官憲ハ本邦人ノ出入スル支那料理店ニマデモ巡查ヲ配備シ居レリト云フ、

右ハ善惡ニ様ニ解釈シ得ベキモ少クトモ爪哇(瓜カ)ニ於テハ(二)ト同ジク蘭人ノ警戒氣分ヲ反影スルモノニシテ必シモ好意ノミヨリ來ルモノニハ非ザルベク、多分ニ危懼ノ念ヲ含メルモノト見ルコトヲ得可シ、

四、比律賓ニ於ケル「ダバオ」港直接渡航禁止問題ハ前記ノ通ナルガ若シ事態ヲ放任シ猜疑心、警戒氣分ノ赴ク儘ニ委ヌル時ハ一九一九年以來尖锐化セル土地法改正問題ハ

一層不利トナリ、更ニ先年傳ヘラレタル「ダバオ」港閉鎖問題等ノ再燃ヲ保シ難ク、自然ノ条件ニ於テ過去ニ於テ然リシ如ク將來ニ於テモ南洋第一ノ邦人移住地ト信ゼラル、「ミンダナオ」島ニ対スル邦人發展ハ一頓挫ヲ来ス虞レ多シ、斯ノ如クンバ折角実現セル「ダバオ」領事分館ノ昇格モ其意義ヲ減損スルニ至ルベシ、

五、南洋ハ「ミンダナオ」ヲ初メトシ蘭領印度其他邦人小規模農業移民ノ發展シ得ベキ地方多キ処今回ノ事變ヲ動機トシテ若シ一般ニ排日、嫌日、恐日感情ノ赴ク所ニ委ネムカ此等小農移民ノ進出ハ必然的ニ直接間接或ハ禁止、或ハ抑壓、或ハ阻止セラルル場合多カルベシ

六、貿易及栽培企業ノ發展ト併行シテ漁業方面ニ於ケル邦人ノ南方發展ハ今後最モ有望ト思考セラルル処若シ支那側ノ宣傳ト当該統治国民ノ恐日感情ニ委ヌル時ハ漁業方面ノ發展ノ可能性ハ大ニ限局セラルル虞レアリ、就中沿岸漁業ノ有望ナル蘭領印度ニ於テハ從來トモ漁業權下附ノ遅延セルモノ少カラザル処若シ時局ニ依ル感情悪化ノ場合ハ折角許可セラルベカリシモノモ拒絶却下セラレ將來日蘭合辦其他ノ方法ニ依リ大發展ヲ期待セラルル鯉、鮪^{マゴロ}要アリ、

而シテ右宣傳ハ当該地方在住統治国官民及土人ニ対シテ行フノミナラズ進ンデ在南華僑ニ事態ノ真相ヲ傳ヘテ今後ノ輕舉妄動ヲ防止スルコトヲ以テ理想トスベキモノナル処之ニ当ルベキ民間關係トシテハ南洋協會ヲ最モ適當ト思考ス、全協會ハ実業界知名ノ人士ヲ役員トシ、南洋各地ニ商品陳列所(新嘉坡、「スラバヤ」、「メダン」)、支部(「バタビヤ」、「マニラ」、「ダバオ」、新嘉坡、「メダン」、通信員(佛領印度支那、暹羅等)ヲ有シ、我商權ノ發展ニ相当活躍シ居リ、当該地方ノ官民ト接觸少カラザルヲ以テ、宣傳網ハ廣ク統一のニ張り得ル便宜ト又当該地人民ニ傾聴セラルル可能性ヲ有ス、

宣傳ノ方法ハ過般本邦國際聯盟協會ガ石井會頭其他役員ノ連名ヲ以テ英國ニ対シテ行ヒタル例ニ倣ヒ南洋協會主要役

業ノ如キモ實現至難トナルヲ保シ難シ

七、南洋中「ニウギニア」ハ地理的ニ我裏南洋ニ近接シ而モ最モ未開拓ノ状態ニシテ本地方ニ対スル邦人ノ發展ハ最モ注目ニ價スルモノノ一ニシテ或ハ漁業ニ、或ハ農業ニ、或ハ鉱業ニ、其開發ハ我邦人ノ努力ニ俟ツモノ多ク、「マノクワリ」ニ就テハ南洋興發会社ノ進出其他ヲ契機トシテ將來ハ合港ヲ是非共上陸港ニ指定セシムル様蘭印政府ニ交渉ノ必要ヲ生ズベシト思考セラルル処之又我方ニ於テ蘭人側ノ誤解一掃ニ努力スル所ナクンバ遂ニ目的完徹至難トナルコトヲ虞レシムルモノアリ、

八、其他我邦人ノ發展ヲ恐ルルノ余リ關稅増徴、關稅同盟、特惠關稅、為替「ダムピング」稅率ノ設定論等ノ起ルル虞レモ輕視スルヲ許サズ、

南洋ニ於ケル邦人ノ發展狀況ハ之ヲ華僑ニ比スレバ貧弱ナルヲ免レズト雖モ而モ在留民約三万五千、輸出額約一億五千万圓、投資額約八千万圓ニシテ之ヲ支那ヲ除ケル他地方ニ対スル邦人發展ニ対比スレバ移民數ニ於テハ南米、北米ニ及バズ、貿易額ニ於テハ米國ニ及バズト雖モ投資額ニ於テハ主座ヲ占ムルノミナラズ移民、投資及貿易ガ三者揃ッ員連名ノ「パンフレット」ヲ諸國語ヲ以テ作成配布スルモ一法ナルベク、在南洋南協職員ヲシテ時局關係資料ヲ蒐集セシムルト共ニ新聞雜誌寄稿、有力者訪問等ヲ行ハシムルモ一法ナルベク具體策ハ追テ南協ト協議ノ上決定スルコトト致度、

右宣傳ニ要スル補助金ハ陳列所又ハ支部所在地一ヶ所當リ二百圓トシテ「マニラ」、「ダバオ」、新嘉坡、「スラバヤ」、「バタビヤ」、「メダン」ノ六ヶ所計千二百圓、主要通信員所在地一ヶ所當リ百圓トシテ「サイゴン」、「ハノイ」、「バンコック」ノ三ヶ所計三百圓、印刷費其他雜費千五百圓、總計三千圓トシ適當ナル予算項目中ヨリ支出ノコトト致度、

參 考

(一) 本支給金ノ費途ハ大体左ノ通り協議済ナリ

(イ) 商業実習生費補充金壹千円也

(ロ) 一般事情宣傳費 金壹千円也

(ハ) 困窮移民救助費 金壹千円也

(ニ) 商業実習生費トシテ別途金貳千円ノ補助金支給セラル、手筈ナル処右ヲ以テシテハ豫定計畫ニ齟齬ヲ来スヲ以テ